

# 牛乳乳製品に関する食生活動向調査 2013

(公表版)

---

2014年1月



一般社団法人 Jミルク

## 調査の概要(以下の内容で2012年度より開始)

	第一次調査	第二次調査
調査手法	インターネットを活用した 消費者パネルに対する年1回のアンケート調査	
対象者	15～60代の男女	3～18才の子どもを持つ主婦 子供の年齢分布について、第一次調査後確認し ひどい偏りが無い場合は、割付を行わない
サンプル数	10,000サンプル	600サンプル
実施時期	毎年10月	毎年11月
割付	総務省統計局の22年の人口構成データなどを参考に 実際の性別、年代、地域の構成比に近似させる。	

1.	<u>牛乳類の飲用(利用)頻度とその変化</u>	<u>P4</u>
2.	<u>直近の牛乳飲用量の変化とその「理由」と代替食品</u>	<u>P10</u>
3.	<u>牛乳類の購入状況と利用の方法</u>	<u>P21</u>
4.	<u>牛乳を「大切」と思う意識と「3～18歳の子を持つ母親」における「子供に牛乳を飲ませたいと思う」気持ちとその変化</u>	<u>P28</u>
5.	<u>牛乳の国産優先意識</u>	<u>P34</u>
6.	<u>牛乳の上限受容価格(受容価格帯)と受容価格への影響要因</u>	<u>P42</u>
7.	<u>「牛乳に関する話題」への接触状況</u>	<u>P51</u>
8.	<u>牛乳が「自分にとって大切」と思う意識の変化理由</u>	<u>P59</u>
9.	<u>牛乳の「4大重点訴求機能」への認知状況と健康意識とその変化</u>	<u>P67</u>
10.	<u>「3～18歳の子を持つ母親」における牛乳の「4大重点訴求機能」への認知状況と健康意識とその変化</u>	<u>P81</u>
11.	<u>「3～18歳の子を持つ母親」における子供に牛乳を飲ませたいと思う気持ちの変化理由</u>	<u>P87</u>
12.	<u>「3～18歳の子を持つ母親」における牛乳の「4大重点訴求機能」認知状況とその変化</u>	<u>P92</u>
13.	<u>「3～18歳の子を持つ母親」における牛乳の「4大重点訴求機能」に直結する健康意識とその変化</u>	<u>P100</u>
14.	<u>「3～18歳の子を持つ母親」の「牛乳・乳製品／食品や食生活」に関する情報への接触状況</u>	<u>P108</u>
15.	<u>ビッグママの「情報接触」の特徴</u>	<u>P112</u>
16.	<u>牛乳を用いた料理</u>	<u>P128</u>
17.	<u>「乳糖不耐」の症状への自覚状況</u>	<u>P137</u>
18.	<u>「牛乳の日」への認知状況</u>	<u>P142</u>

1

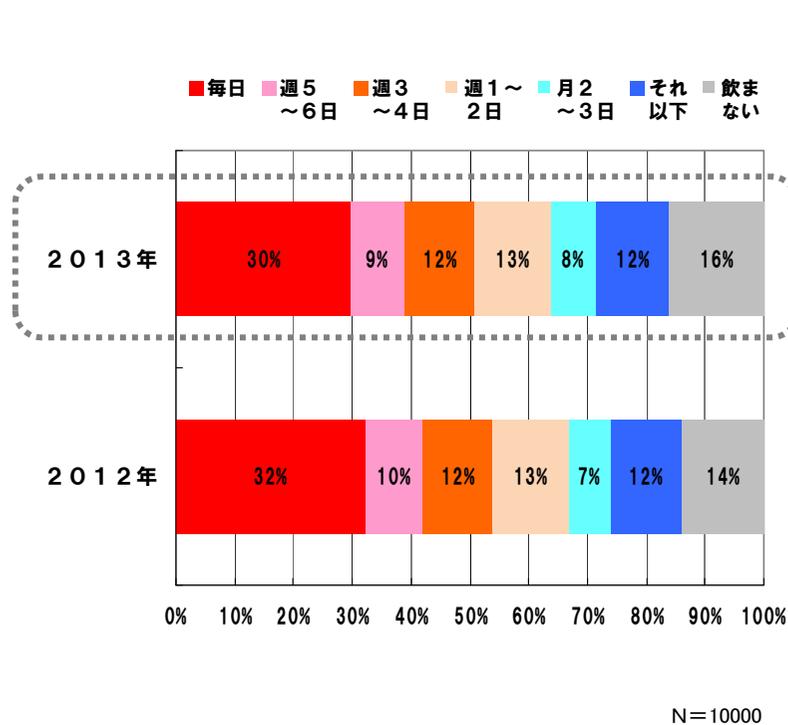
**牛乳類の飲用(利用)頻度とその変化**

### 牛乳類飲用(利用)の頻度は、昨年から微減。 女性、年齢が高いほどより飲まれている牛乳。進む、二極化構造。

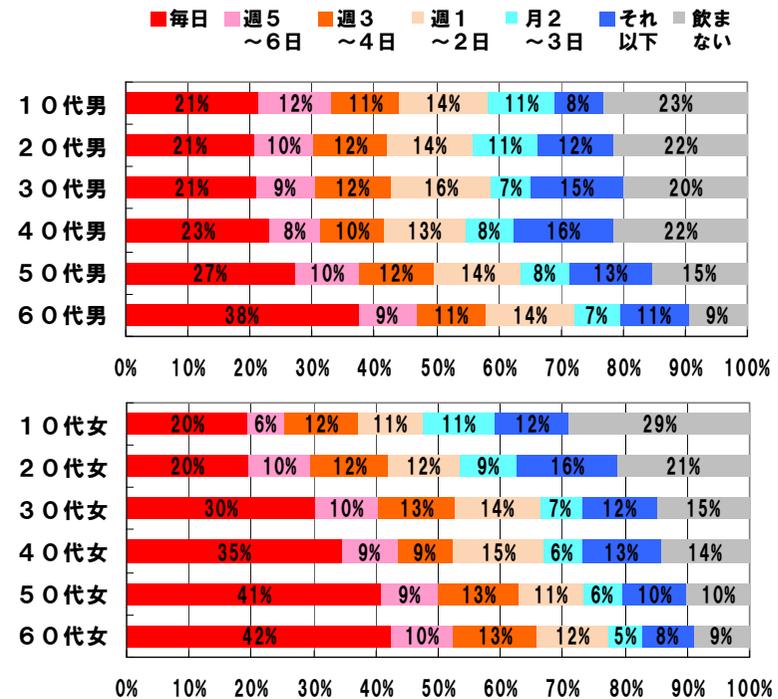
- 生活者一般の牛乳類飲用(利用)頻度は、前年から微減。2013年の牛乳類飲用(利用)頻度は、毎日が30% (昨年32%)、週1~6日が34% (昨年35%)、週1日未満が36% (昨年33%)となっている。《→P. 6》
- 男女別では女性の頻度が高く、全体的に年齢が高いほど頻度が高い。《→P. 6》
- 生活者一般における牛乳飲用の増減傾向をみると、2013年は増加が15% (前年17%)、減少が25 (前年20%)で、前年よりも減少傾向が強まっている。なかでも女性10代は減少傾向が強い。《→P. 8》  
(前年との飲用頻度を比較すると男性10代、女性10~20代で実際に減少。《→P. 7》)
- 牛乳類の飲用(利用)頻度が多い人ほど、牛乳飲用も増加。一方、牛乳類の飲用(利用)頻度が少ない人ほど、牛乳飲用も減少。現状、牛乳類の飲用(利用)は二極化が進んでいる。《→P. 9》

## 現在の牛乳類飲用（利用）頻度

いま現在、あなたご自身は牛乳類をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。  
以下のなかから、あなたに最もあてはまるものをひとつだけお答えください。



性年代別

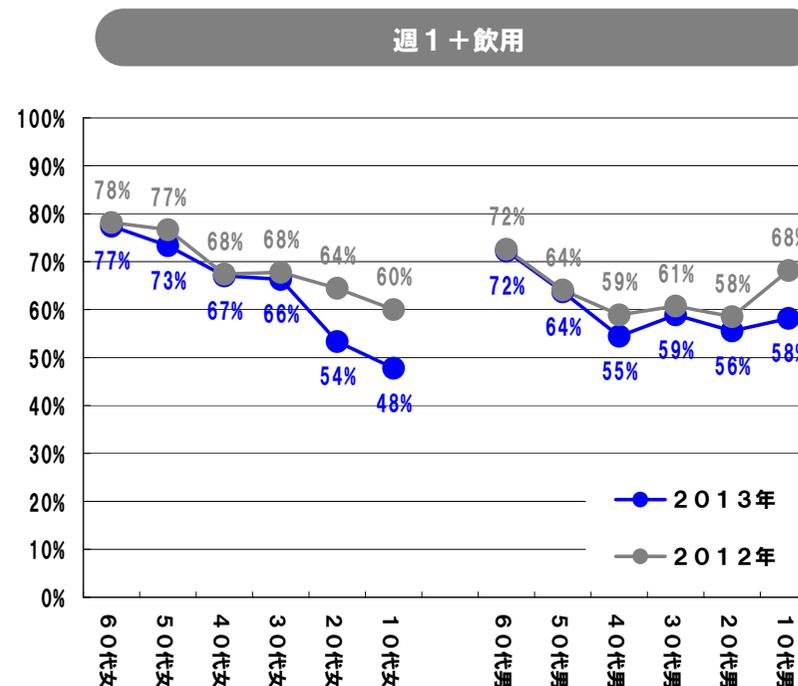
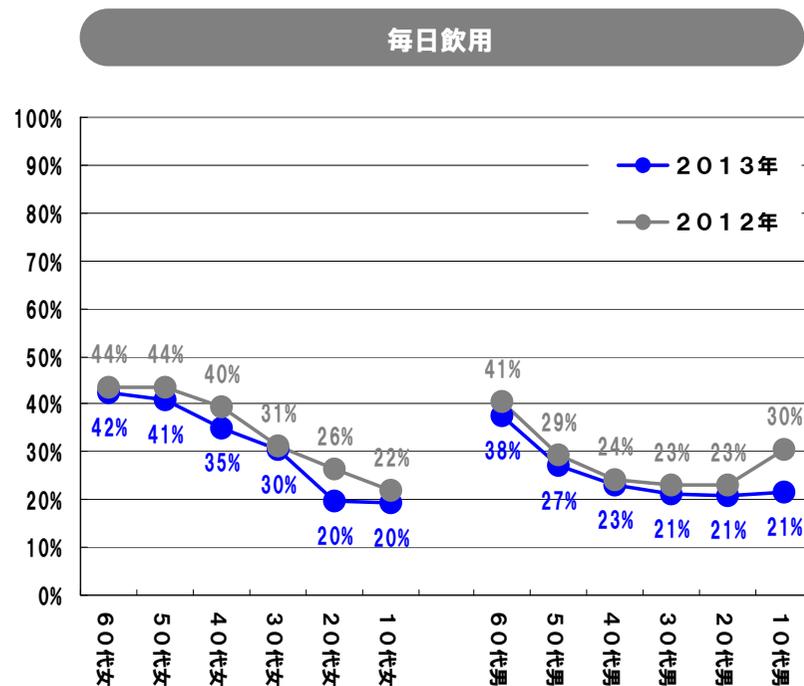


10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**2013年の生活者一般の牛乳類飲用（利用）頻度は  
毎日が30%、週1~6日が34%、週1日未満が36%。  
前年に比べて、高頻度層が微減傾向にある。  
男女別では女性の頻度が高く、  
10代男以外、男女共に年齢が高いほど頻度が高い。**

## 性年代別／牛乳類飲用（利用）頻度の、2013年／2012年比較

いま現在、あなたご自身は牛乳類をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。  
以下のなかから、あなたに最もあてはまるものをひとつだけお答えください。

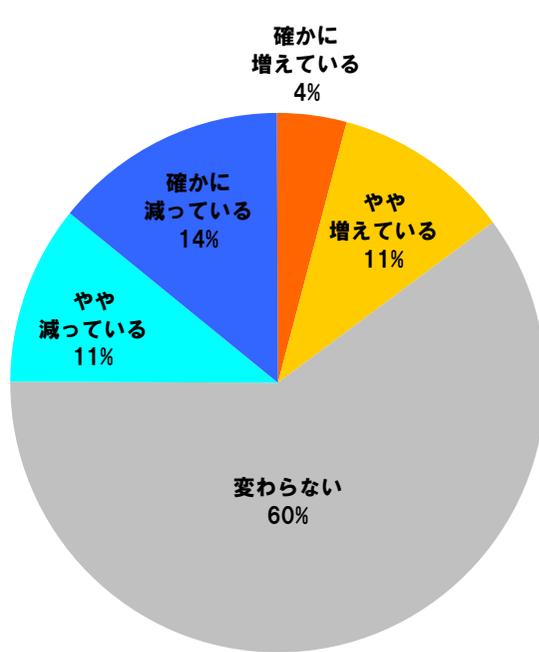


10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

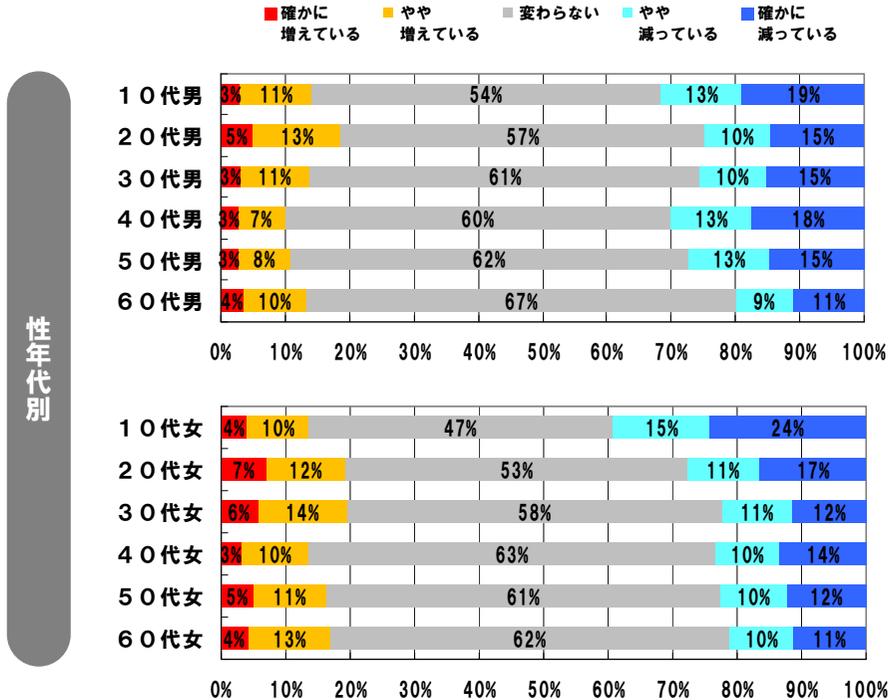
性年代別の牛乳類飲用（利用）頻度を、2013年と2012年で比較すると、特に10代男女（次いで20代女）において、高頻度層が目減りしている。

# 牛乳飲用の変化

最近のあなた自身が、「牛乳」を飲む量や回数は、以前に比べて、増えたり減ったりしていますか。



N=10000



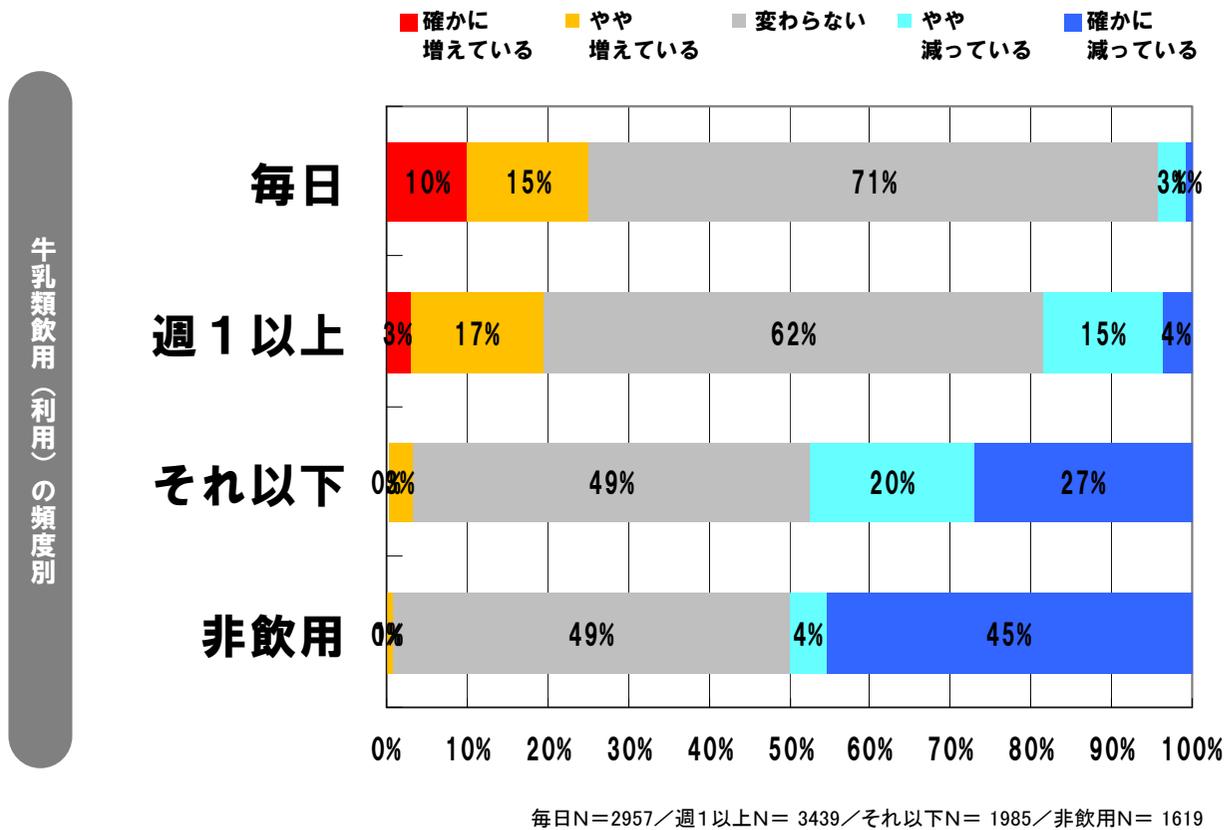
10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**生活者一般における牛乳飲用の増減は、  
 増加が15%、減少が25%で、全体としては減少傾向。  
 増加者には目立つ傾向がなく、  
 その一方で、減少者は女性10代に特に目立つ。**

(※本調査において10代は15~19才)

## 現在の牛乳類飲用（利用）頻度 × 牛乳飲用の変化

最近のあなた自身が、「牛乳」を飲む量や回数は、以前に比べて、増えたり減ったりしていますか。



牛乳類の飲用（利用）頻度が多い人ほど、牛乳飲用も増加。  
 牛乳類の飲用（利用）頻度が少ない人ほど、牛乳飲用が減少。  
 この傾向は2012年も同様で、  
 牛乳類の飲用（利用）は二極化が進んでいる。

2

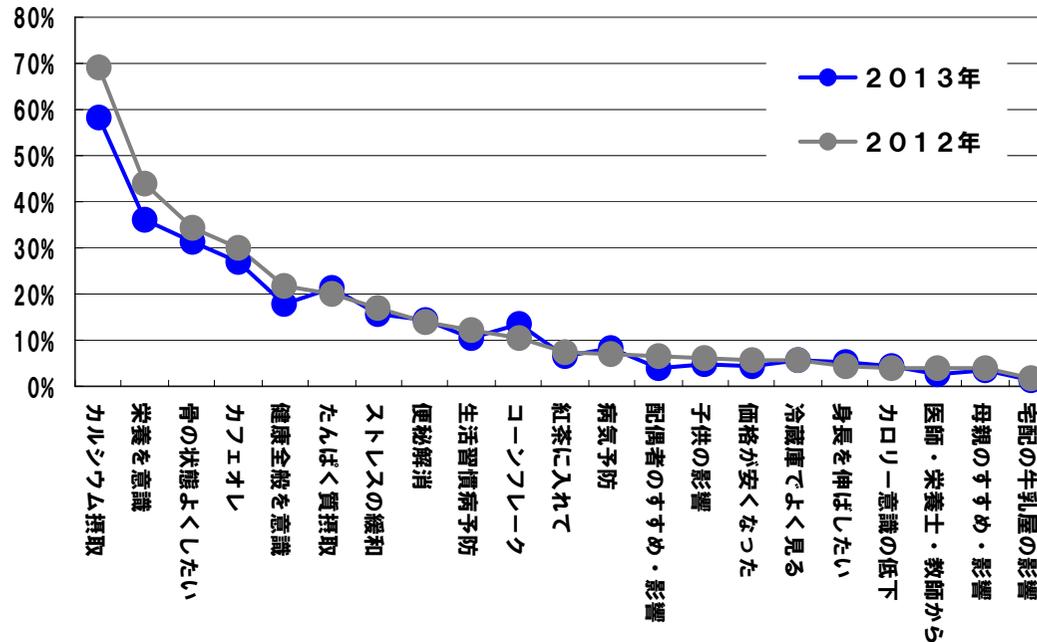
直近の牛乳飲用量の変化とその「理由」と代替食品

**最近、牛乳飲用が増えた理由は、もっぱらカルシウム関連。  
その一方で、牛乳飲用が減った理由として「価格の上昇」が大きく台頭。**

- 生活者一般(全体)において「牛乳を飲む量や回数」が増えた理由は前年と変化なく、トップ3は、1. **カルシウム**摂取、2. **栄養**を意識、3. **骨の状態**をよくしたい。  
《→P. 12》
- 重要な生活者ターゲットである母親において「牛乳を飲む量や回数」が増えた理由は、上記トップ3に加えて、昨年同様に「**カフェオレ**」と「**子供の影響**」が特徴的に多く、「**ストレスの緩和**」「**コーンフレーク**」「**紅茶に入れて**」も目立つ。《→P. 13》
- 生活者一般(全体)において「牛乳を飲む量や回数」が減った理由トップ3は、1. **下痢予防**、2. **価格の上昇**、3. **味の好み**が変化(2012年は、1. 下痢予防、2. 栄養脂肪過多、3. 食事全体量の低下)。特に、「**価格の上昇**」への反応が顕著に強まっているのが特徴。《→P. 14》
- 「牛乳を飲む量や回数」が減った人のうち、4割が別の食品摂取を意識的に増やしていて、そのトップ5は、1. **ヨーグルト**、2. **豆乳**、3. **緑茶**、4. **野菜/トマトジュース**、5. **コーヒー**となっている。その中で、ヨーグルトは50-60代男女(特に女性)、豆乳は女性全世代、緑茶は男性全世代と10代女性、野菜/トマトジュースは50代男性、コーヒーは男性30-50代、加えて紅茶は10代女性が多い。  
《→P. 16~18》

## 飲用量増加の理由／2013－2012比較

最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、以前に比べて増えているのは、どんな理由や事情からだと思いますか。  
以下のなかから、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。



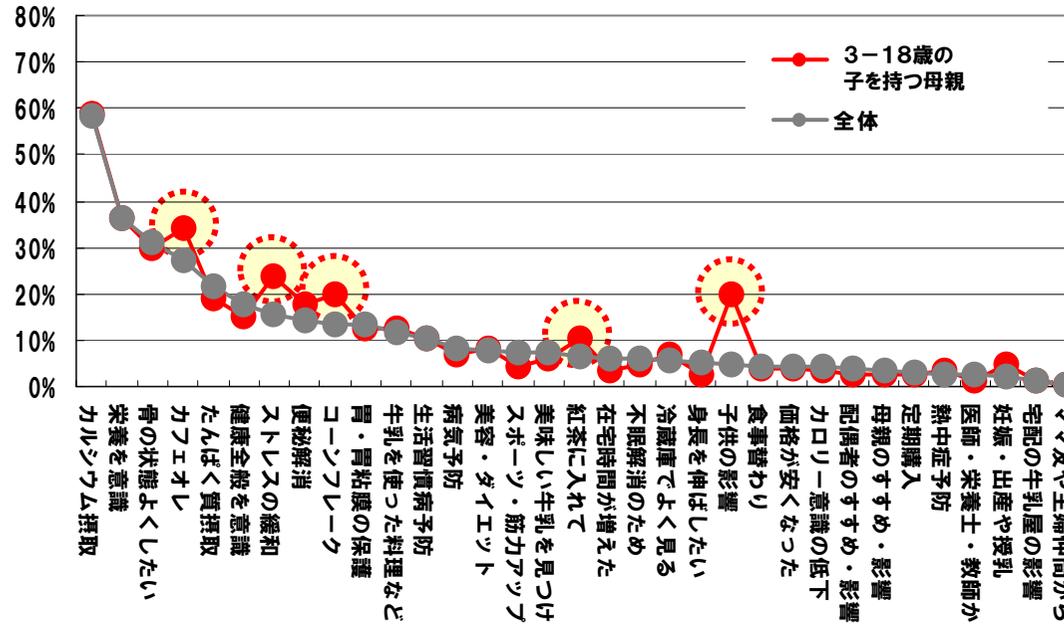
2013N=1498  
2012N=1729

生活者一般（全体）において  
「牛乳を飲む量や回数」が増えた理由は昨年と大きく変わらず、トップ3は以下。

1. カルシウム摂取、
2. 栄養を意識、
3. 骨の状態をよくしたい

## 飲用量増加の理由／全体－母親

最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、以前に比べて増えているのは、どんな理由や事情からだと思えますか。  
以下のなかから、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。

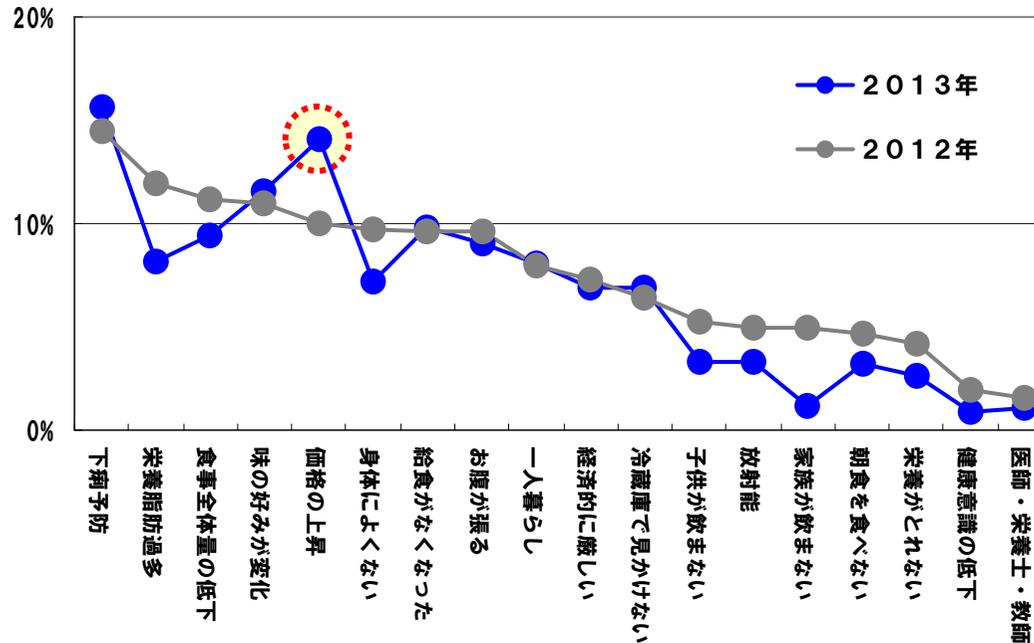


子持ち母親N = 184  
全体N = 1498

「Jミルクの重要な生活者ターゲットである「3～18歳の子を持つ母親」において  
「牛乳を飲む量や回数」が増えた理由は、全体のトップ3に加えて  
2012年と同様に「カフェオレ」と「子供の影響」が特徴的に多く、  
2013年は「ストレスの緩和」「コーンフレーク」「紅茶に入れて」も目立つ。

## 飲用量減少の理由／2013－2012比較

最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、以前に比べて減っているのは、どんな理由や事情からだと思えますか。  
以下のなかから、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。



2013N=2505  
2012N=1971

2013年の生活者一般（全体）で、「牛乳を飲む量や回数」が減った理由は、増えた理由に比べて、昨年からの変化が大きく、トップ3は以下。

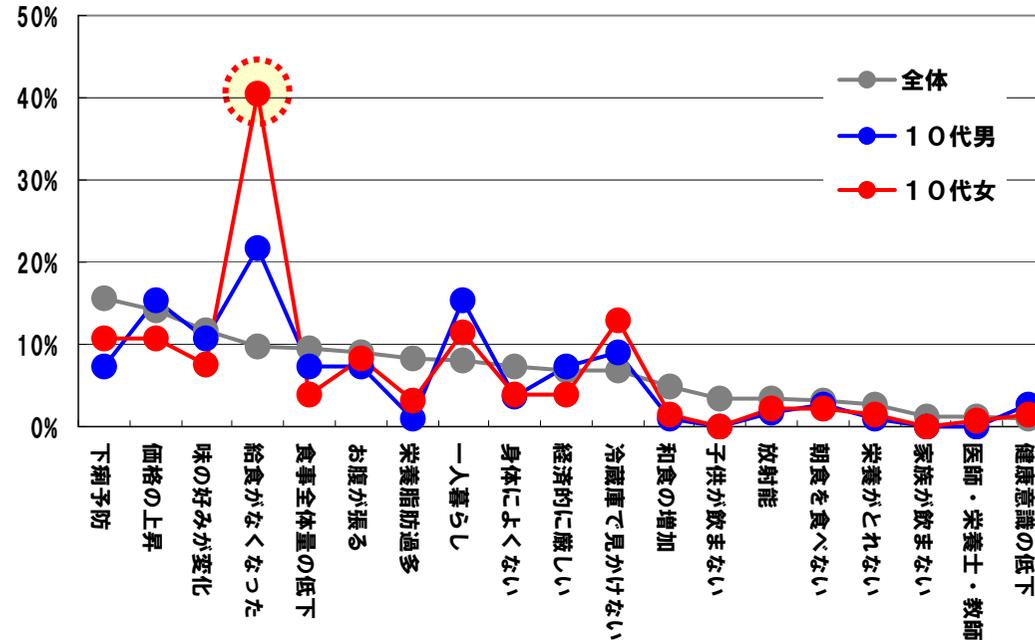
1. 下痢予防、2. 価格の上昇、3. 味の好みが変わり

(昨年度のトップ3は、1. 下痢予防、2. 栄養脂肪過多、3. 食事全体量の低下)

その中でも「価格の上昇」は、2012年に比べて反応が顕著に強まっている。

## 飲用量減少の理由／10代男女の場合

最近のあなた自身の「牛乳」を飲む量や回数が、以前に比べて減っているのは、どんな理由や事情からだと思いますか。  
以下のなかから、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。



全体N = 2505  
10代男N = 111  
10代女N = 131

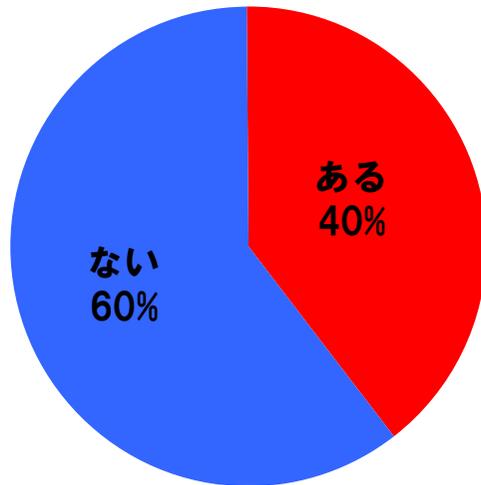
「牛乳を飲む量や回数」の減少が、他世代と比べて際立つ10代女性は、理由として「給食がなくなった」をあげる比率が特に高い。

同様の状況にあるはずの10代男性と比べても、その比率は際立って高く、その背景にどのような状況や理由があるのかについて、今後の明らかにするとともに、対策の検討と開発が重要。

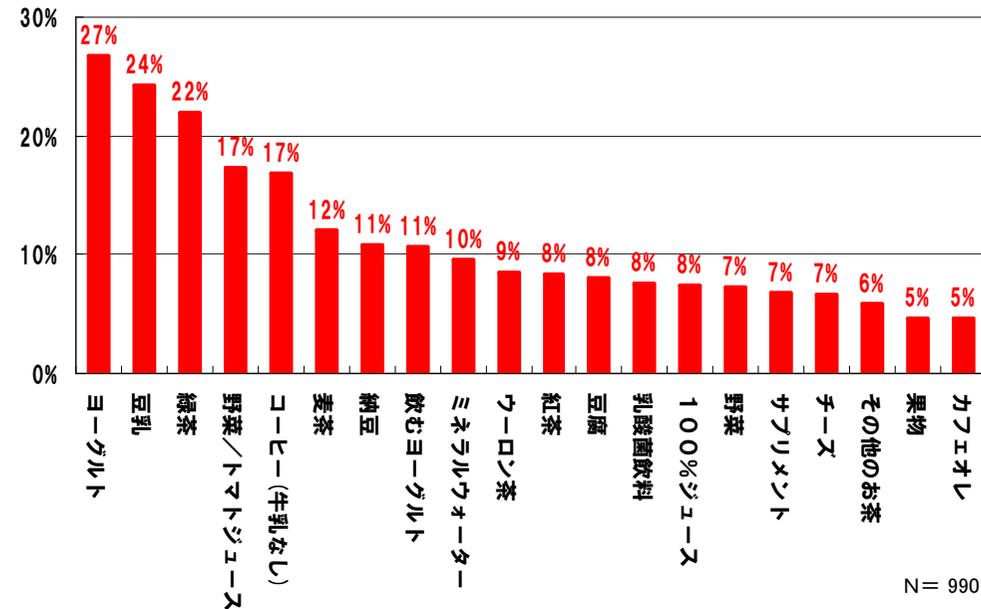
## 牛乳飲用減少の代わりに増えた食品

今現在のあなたは、「牛乳」を飲んだり利用する量や回数が、以前に比べて減っているとのことですが、牛乳を減らす代わりに、飲んだり食べたりするのを増やしている飲み物や食品が何かございますか。

今現在のあなたが牛乳を減らす代わりに、飲んだり食べたりするのを増やしている飲み物や食品は何ですか。



N = 2505



N = 990

生活者一般（全体）において、  
「牛乳を飲む量や回数」が減ったひとのうちの4割は、  
牛乳の代わりに飲んだり食べたりすることが増えた飲み物や食品がある。

牛乳の代わりに摂取が増えた飲み物や食品のトップ3は以下。

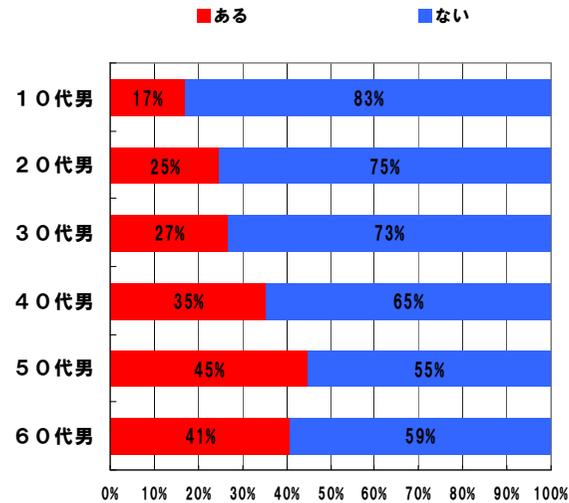
1. ヨーグルト、
2. 豆乳、
3. 緑茶

(その他にも、野菜ジュース、コーヒーが目立つ。)

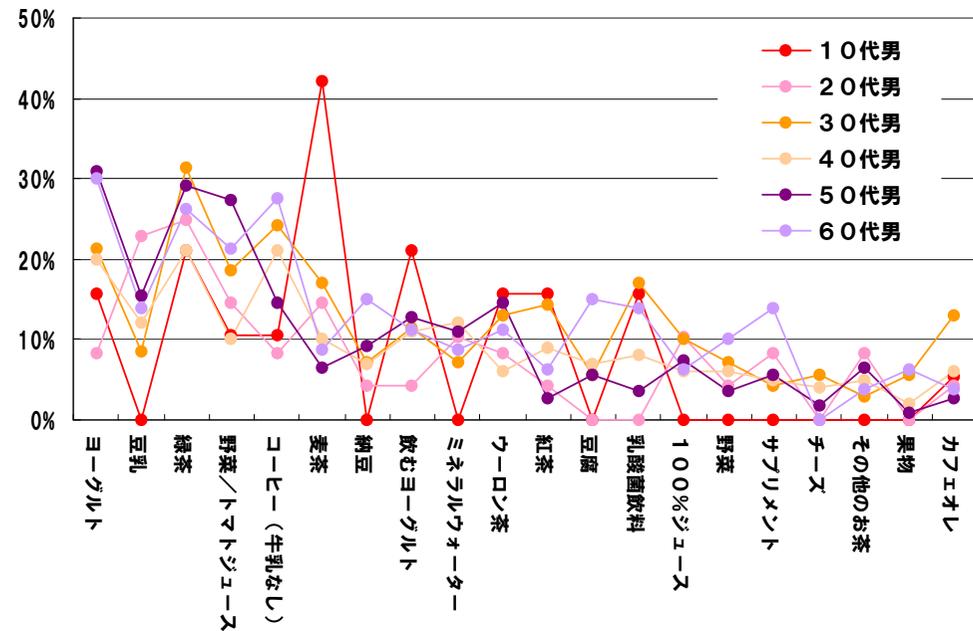
## 牛乳飲用減少の代わりに増えた食品(男性年代別)

今現在のあなたは、「牛乳」を飲んだり利用する量や回数が、以前に比べて減っているとのことですが、牛乳を減らす代わりに、飲んだり食べたりするのを増やしている飲み物や食品が何かございますか。

今現在のあなたが牛乳を減らす代わりに、飲んだり食べたりするのを増やしている飲み物や食品は何ですか。



10代男N= 111 / 20代男N= 193 / 30代男N= 262  
40代男N= 283 / 50代男N=246 / 60代男N= 196



10代男N= 19 / 20代男N= 48 / 30代男N= 70  
40代男N= 100 / 50代男N=110 / 60代男N= 80

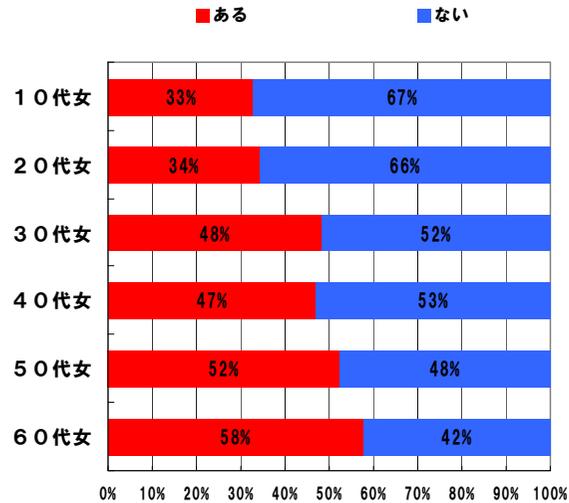
**男性についていえば、高い年齢層ほど「牛乳を飲む量や回数」が減る代わりに飲んだり食べたりすることが増えた飲み物や食品がある比率が高い。**

**牛乳の代わりに摂取が増えた飲み物や食品の種類の特徴を世代別に見ると  
ヨーグルトは50～60代、緑茶は男性全世代、  
野菜/トマトジュースは50代男性、コーヒーは男性30～50代に多い。**

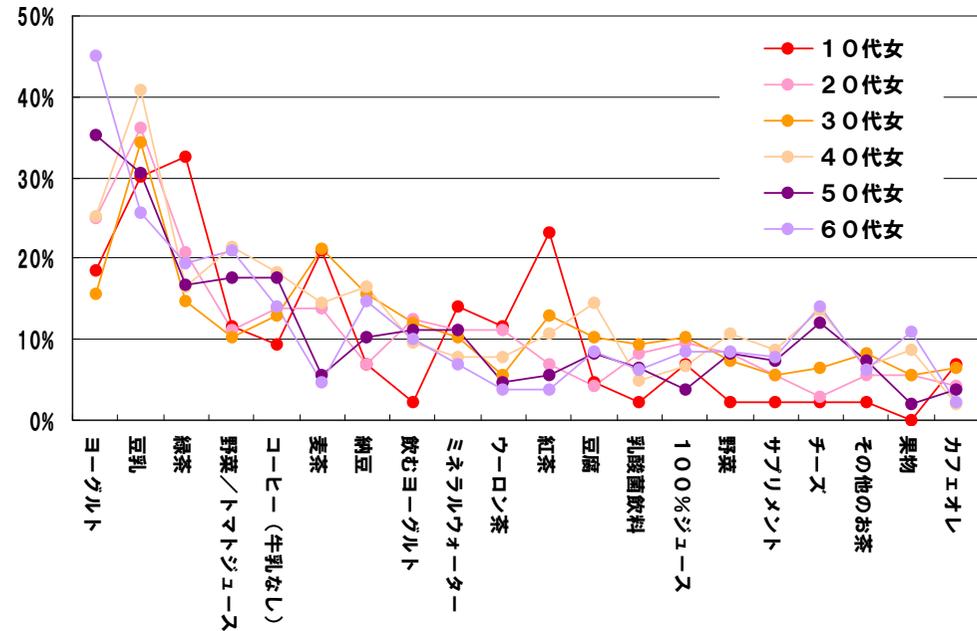
## 牛乳飲用減少の代わりに増えた食品(女性年代別)

今現在のあなたは、「牛乳」を飲んだり利用する量や回数が、以前に比べて減っているとのことですが、牛乳を減らす代わりに、飲んだり食べたりするのを増やしている飲み物や食品が何かございますか。

今現在のあなたが牛乳を減らす代わりに、飲んだり食べたりするのを増やしている飲み物や食品は何ですか。



10代女N=131/20代女N= 210/30代女N= 223  
40代女N= 219/50代女N= 207/60代女N= 224



10代女N= 43/20代女N= 72/30代女N= 108  
40代女N=103/50代女N= 108/60代女N= 129

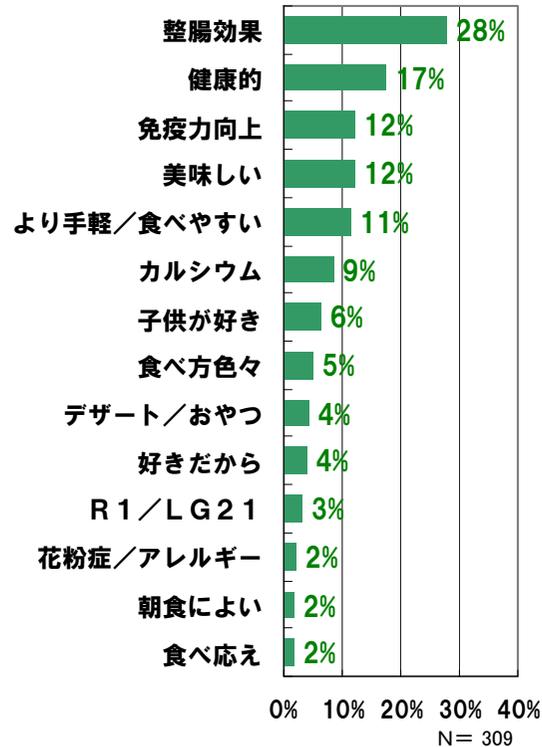
**女性についていえば、高年齢層ほど「牛乳を飲む量や回数」が減る代わりに飲んだり食べたりすることが増えた飲み物や食品があるという比率が高い。**

**牛乳の代わりに摂取が増えた飲み物や食品の種類の特徴を世代別に見ると  
ヨーグルトは50～60代、豆乳は女性全世代、  
緑茶は10代女性、加えて紅茶も10代女性が多い。**

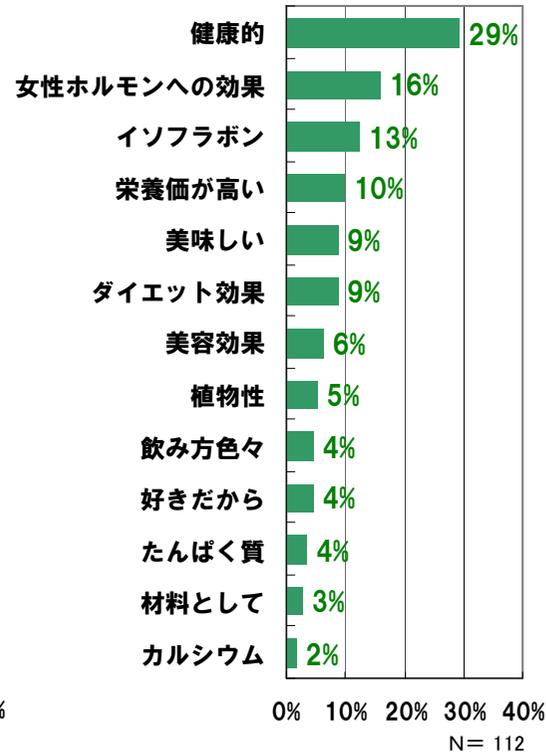
# 牛乳の代替となる食品の選択理由①

あなたが牛乳を飲む代わりに、\*\*\*\*を食べる／利用することが以前に比べて増えているのは何故だと思いますか。

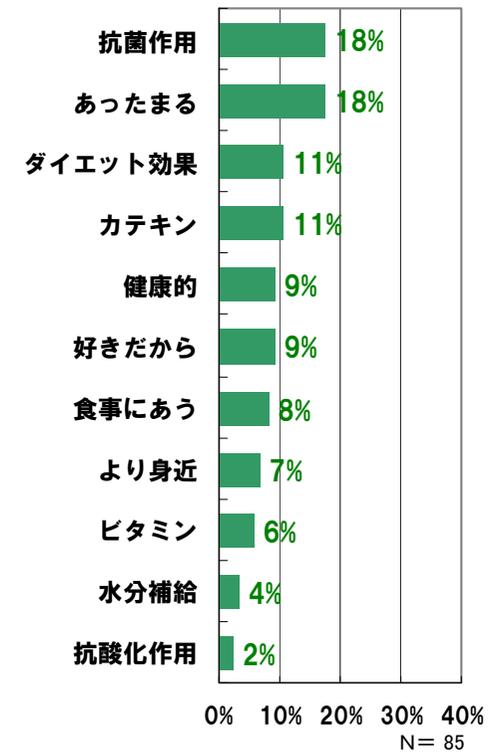
## ヨーグルト



## 豆乳



## 緑茶



ヨーグルトの増加理由のトップ3は、 1. 整腸効果、2. 健康的、3. 免疫力向上

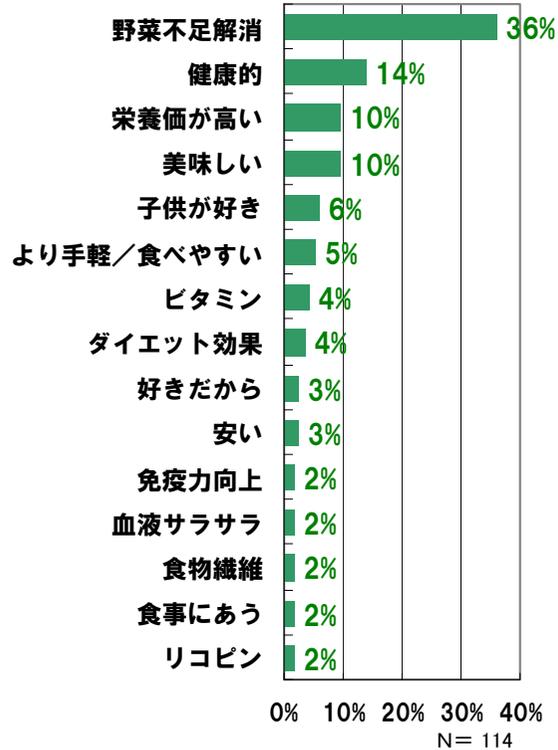
豆乳の増加理由のトップ3は、 1. 健康的、2. 女性ホルモンへの効果、3. イソフラボン

緑茶の増加理由のトップ3は、 1. 抗菌作用、2. あったまる、3. ダイエット効果

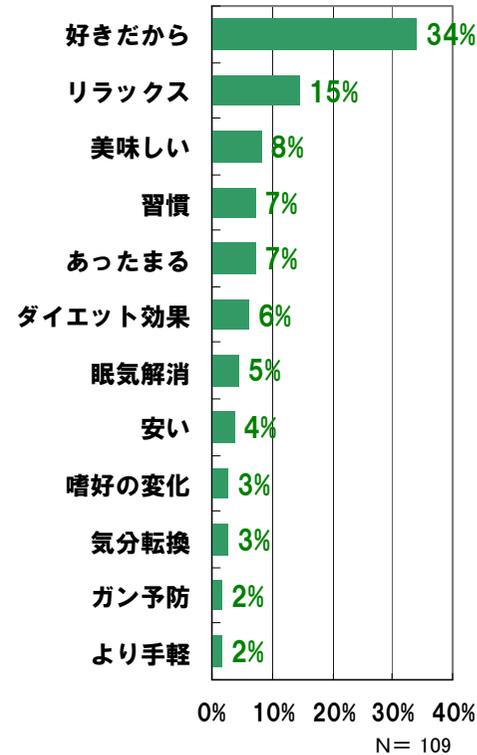
## 牛乳の代替となる食品の選択理由②

あなたが牛乳を飲む代わりに、\*\*\*\*を食べる／利用することが以前に比べて増えているのは何故だと思いますか。

### 野菜／トマトジュース



### コーヒー（牛乳なし）



**野菜／トマトジュースの増加理由のトップ3は、  
1. 野菜不足解消、2. 健康的、3. 栄養価が高い**

**コーヒー(牛乳なし)の増加理由のトップ3は、  
1. 好きだから、2. リラックス、3. 美味しい**

3

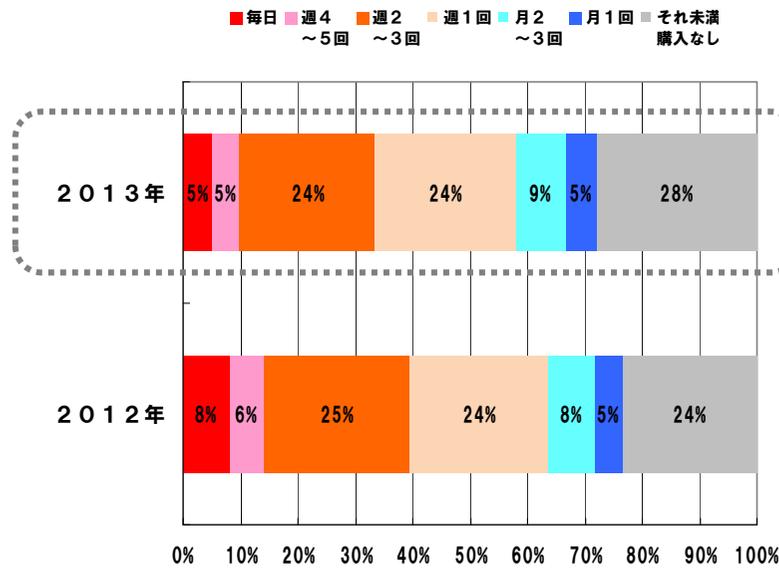
牛乳類の購入状況と利用の方法

## 購入頻度が昨年から微減(1回当たりの購入量はほぼ変わらず)。 牛乳をよく飲む人と女性30-40代は「ませ飲み」多い。

- 生活者一般の牛乳類飲用(利用)頻度が前年から微減しているのに付随して、牛乳類の購入頻度も昨年から微減している。2013年の牛乳類購入頻度は週1回以上が58%(前年は63%)。ほぼ毎日5%(前年は8%)。牛乳類の飲用(利用)頻度が高いほど「牛乳類の購入頻度」は当然高い。  
《→P. 22》
- 牛乳類の1回あたり購入量は前年とほぼ変わらず、6割強が「1リットル」。牛乳類の飲用(利用)頻度が高いほど「牛乳類の1回あたり購入量」は多い。《→P. 23》
- 牛乳類を購入する場所は、前年と同様に「スーパーマーケット」が大勢を占める。  
《→P. 24》
- 牛乳類の飲用・利用方法をみると、飲用(利用)頻度が高いひとと、母親が多く含まれる女性30~40代は「他の飲み物に混ぜる」という人が特徴的に多く、年齢が低い人ほど「他の食べ物にかける」という人が多い(特に男性)。  
《→P. 25、26》

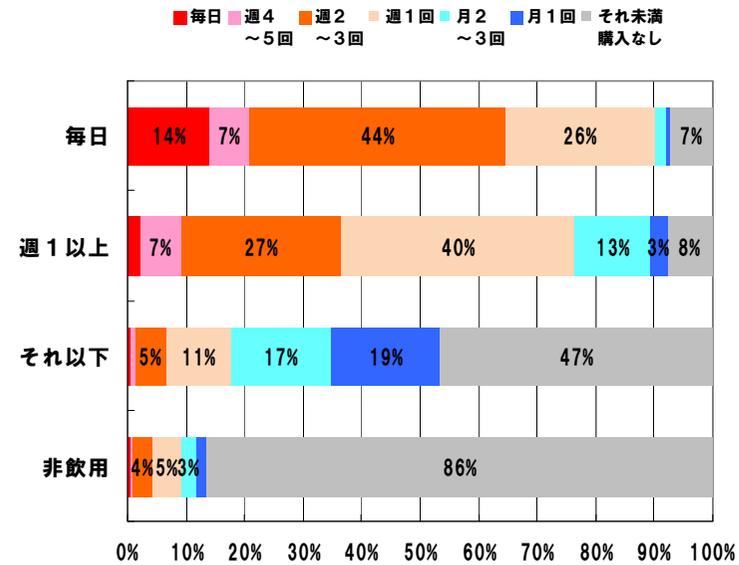
# 牛乳類の購入頻度／牛乳類飲用・利用頻度別

あなたご自身は普段、家族で飲むためのものも含めて、どれくらい牛乳類を購入していますか。



N=10000

牛乳類の飲用・利用頻度別

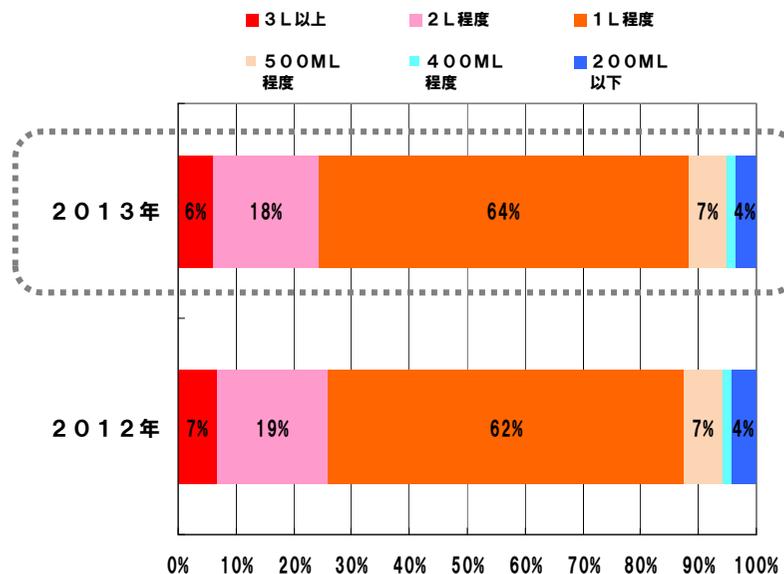


毎日N=2957／週1以上N= 3439／それ以下N= 1985／非飲用N= 1619

**「牛乳類の購入頻度」は週1回以上が6割弱。**  
**牛乳類の飲用（利用）頻度と同じく、前年に比べて、高頻度層が微減傾向にある。**  
**牛乳類の飲用（利用）頻度が高いほど「牛乳類の購入頻度」は当然高くなる。**

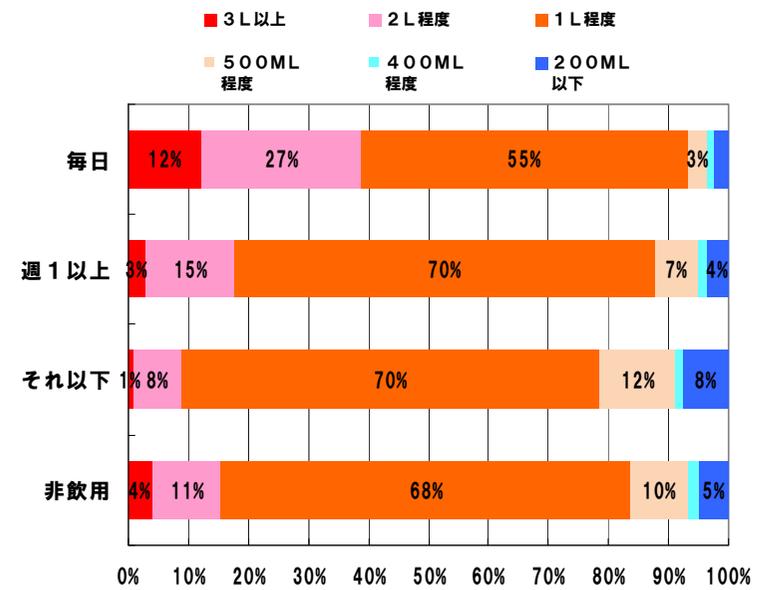
## 牛乳類の一回あたり購入量／牛乳類飲用・利用頻度別

あなたが普段、牛乳類を購入する際の、1回あたりの購入量(だいたいの平均)をお知らせください。



N=10000

牛乳類の飲用・利用頻度別



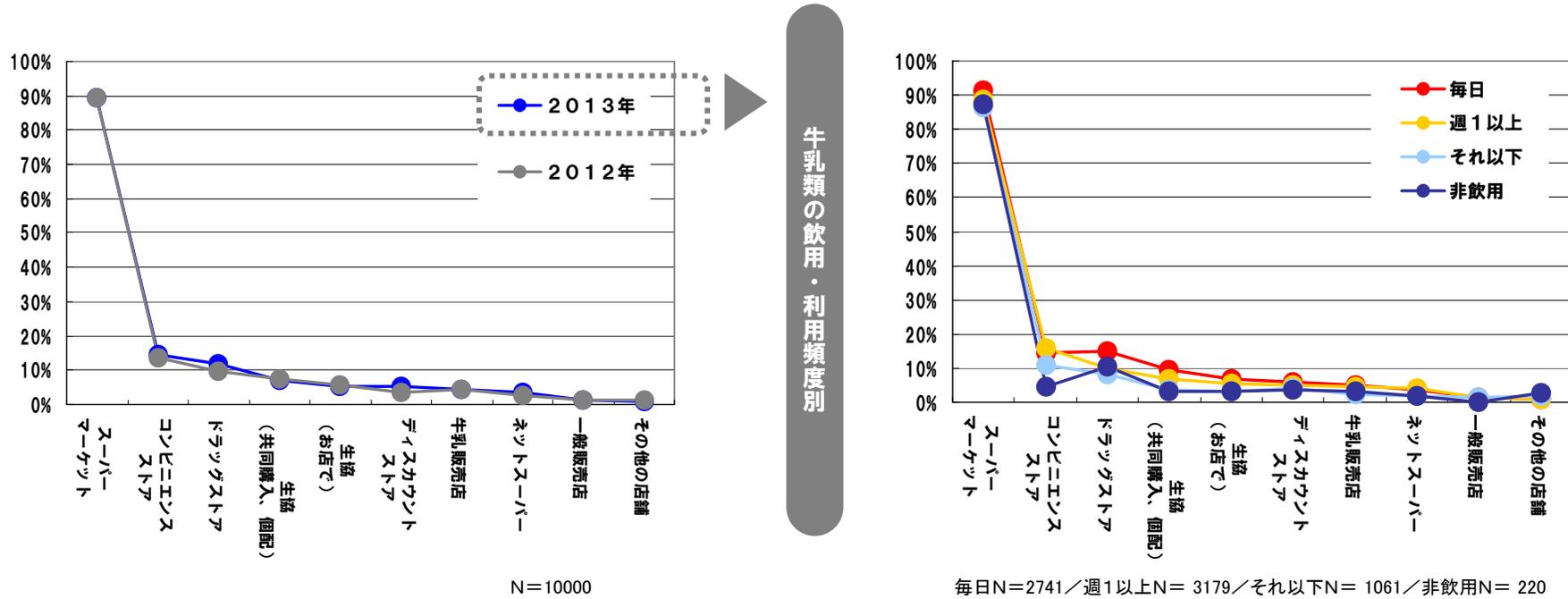
毎日N=2741／週1以上N= 3179／それ以下N= 1061／非飲用N= 220

**「牛乳類の1回あたり購入量」は2012年とほぼ変わらず、6割強が「1リットル」。**

**牛乳類の飲用(利用)頻度が高いほど「牛乳類の1回あたり購入量」は多くなっている。**

## 牛乳類の購入場所／牛乳類飲用・利用頻度別

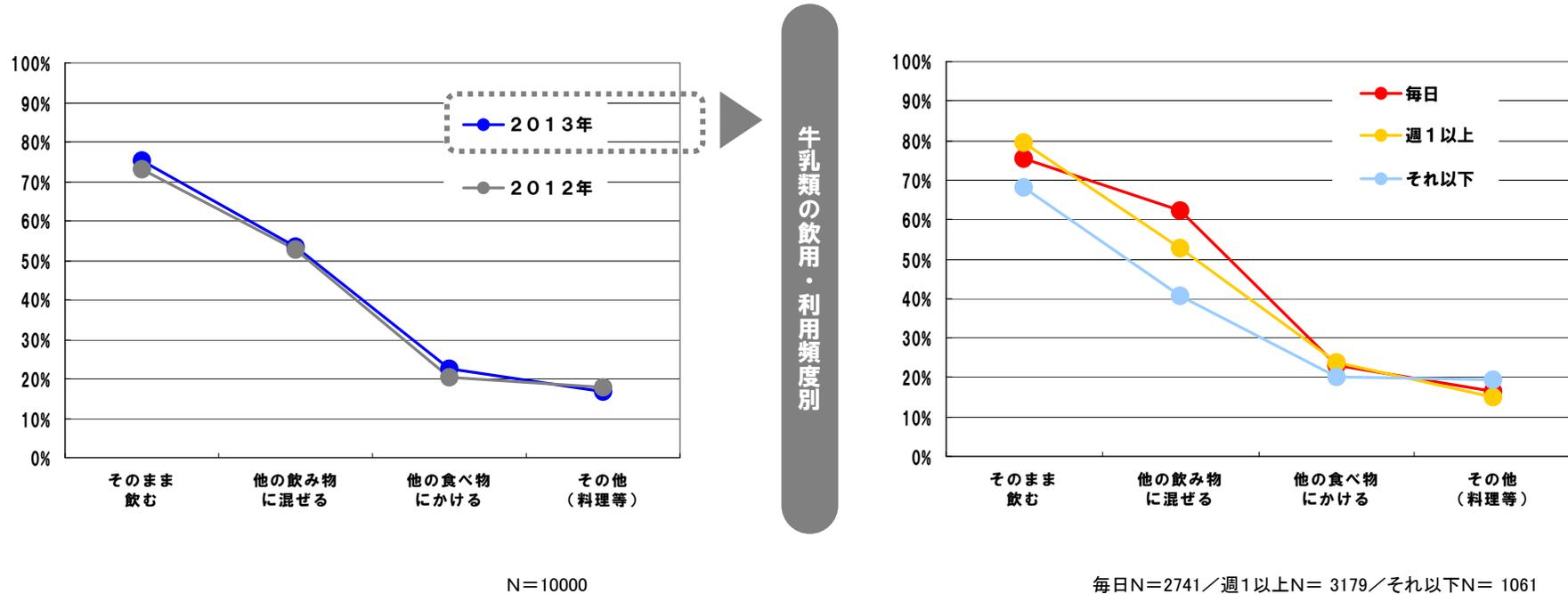
あなたが牛乳類を購入する際に、この一ヶ月で利用したことがある購入場所をお知らせください。



**「牛乳類を購入する場所」は前年と変わらず、**  
**「スーパーマーケット」が大勢を占める。**  
**(牛乳類の飲用(利用)頻度の高低によっても、ほとんど変わらない。)**

## 牛乳類の利用方法／牛乳類飲用・利用頻度別

いま現在、あなたが牛乳類を利用するときの方法をお知らせください。

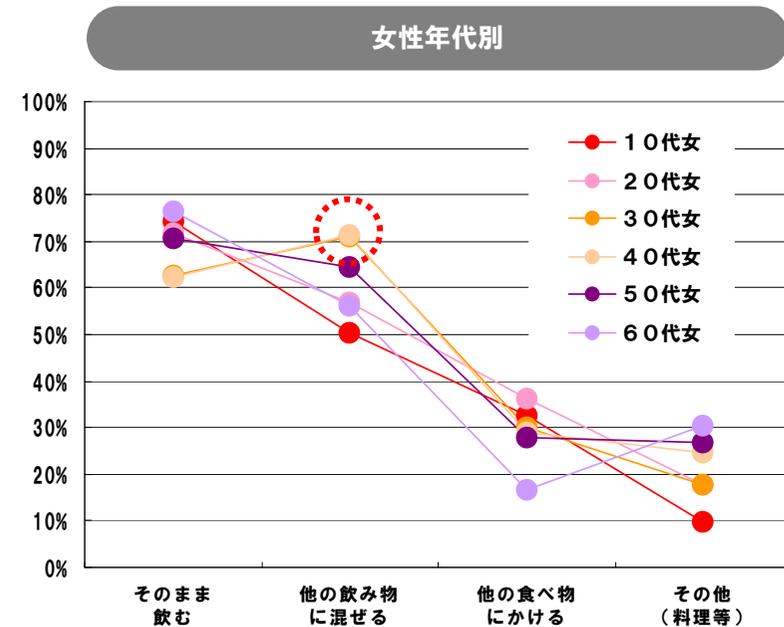
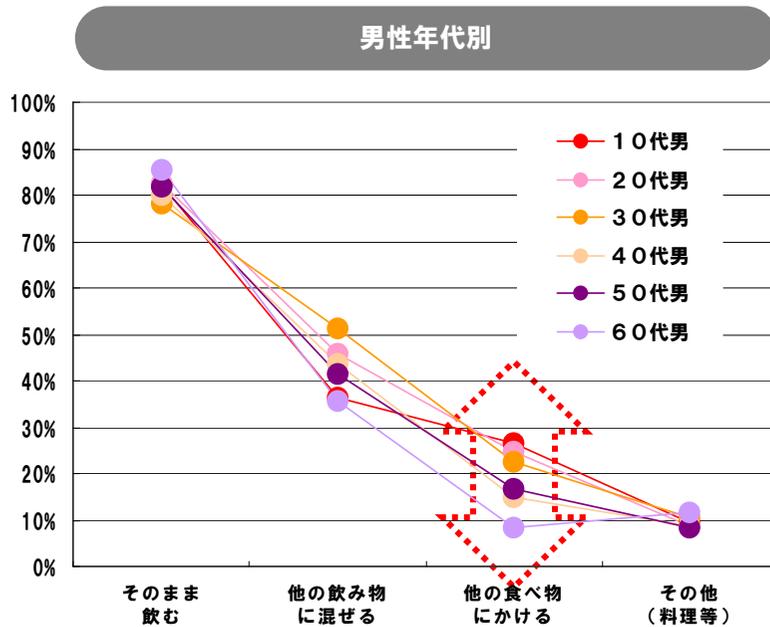


「牛乳類の利用方法」は前年と変わらず、  
「そのまま飲む」と「他の飲み物に混ぜる」が多い。

牛乳類の飲用（利用）頻度が高いひとほど  
「他の飲み物に混ぜる」という人が多い。

# 牛乳類の利用方法／性年代別

いま現在、あなたが牛乳類を利用するときの方法をお知らせください。



10代男N= 269 / 20代男N= 614 / 30代男N= 822 / 40代男N= 739 / 50代男N= 768 / 60代男N= 896  
 10代女N= 237 / 20代女N= 596 / 30代女N= 854 / 40代女N= 805 / 50代女N= 822 / 60代女N= 959

**男性は年齢が低いほど「他の食べ物にかける」という人が多い。  
 女性30代40代は、「他の飲み物に混ぜる」という人が特徴的に多い。**

## 4

牛乳を「大切」と思う意識と  
「3-18歳の子を持つ母親」における「子供に牛乳を飲ませたいと思う気持ち」とその変化

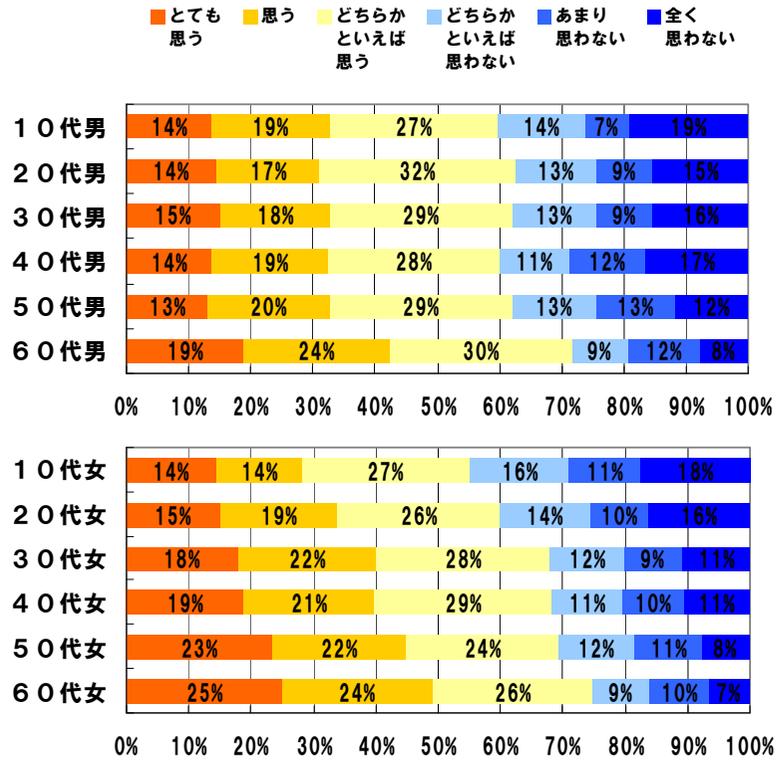
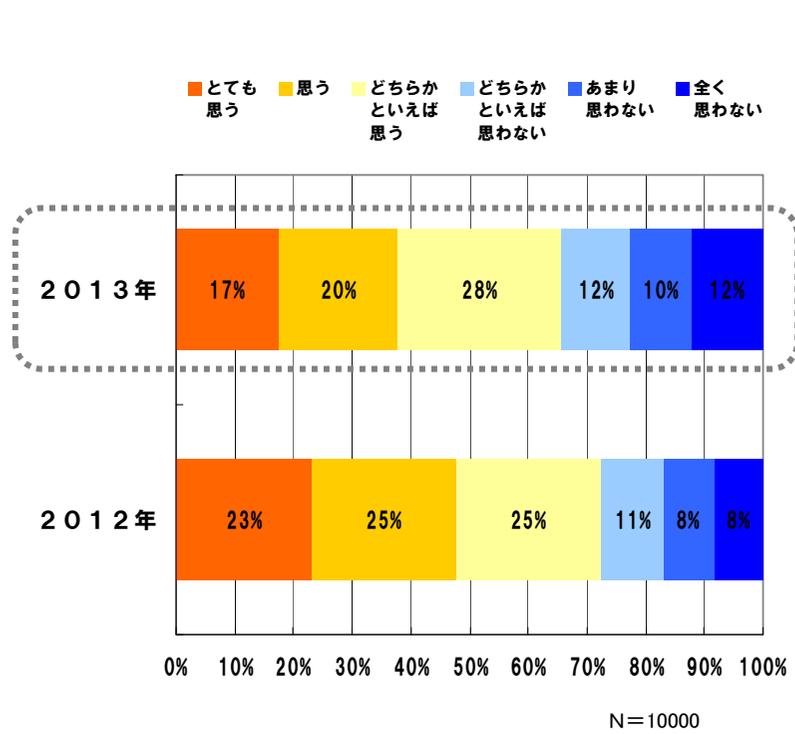
(あらゆる牛乳関与の基礎にあると考えられる)

生活者一般の「自分にとって大切」と思う意識が、前年よりも明らかに減少。

- 生活者一般の牛乳を「自分にとって大切」と思う意識は、2012年よりも明らかに減少。「大切に思う」意識の全体は66% (前年は73%) で、特に、「特に大切に思う」という比率の減少が目立つ。《→P. 30》
- 「大切に思う」意識の比率は男性よりも女性の方が高く、年上ほどやや高い。牛乳を「自分にとって大切」と思う気持ちと、牛乳類の飲用(利用)頻度は強く関係している。《→P. 30、31》
- 母親の牛乳を「子供／家族にとって大切」と思う比率は、前年と変わらず84%。ただし、その中で「とても思う」の意識の比率はやや高まっている。《→P. 32》
- 母親の「子供に牛乳を多く飲んでもらいたい」と思う意識の比率は、「ほぼ毎日」が72%で、前年と大きく変わらない(前年は70%)。《→P. 33》
- 母親においては「自分にとって大切」の意識以上に「子供／家族にとって大切」の意識が強い。「自分にとって大切」という意識と「子供／家族にとって大切」という意識は強く関係していて、「子供／家族にとって大切」という意識は、「子供に牛乳を多く飲んでもらいたい」の意識と強く関係している。《→P. 32、33》

# 自分自身にとって大切の意識

あなたは「牛乳」のことを、「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と、どれくらい思いますか。



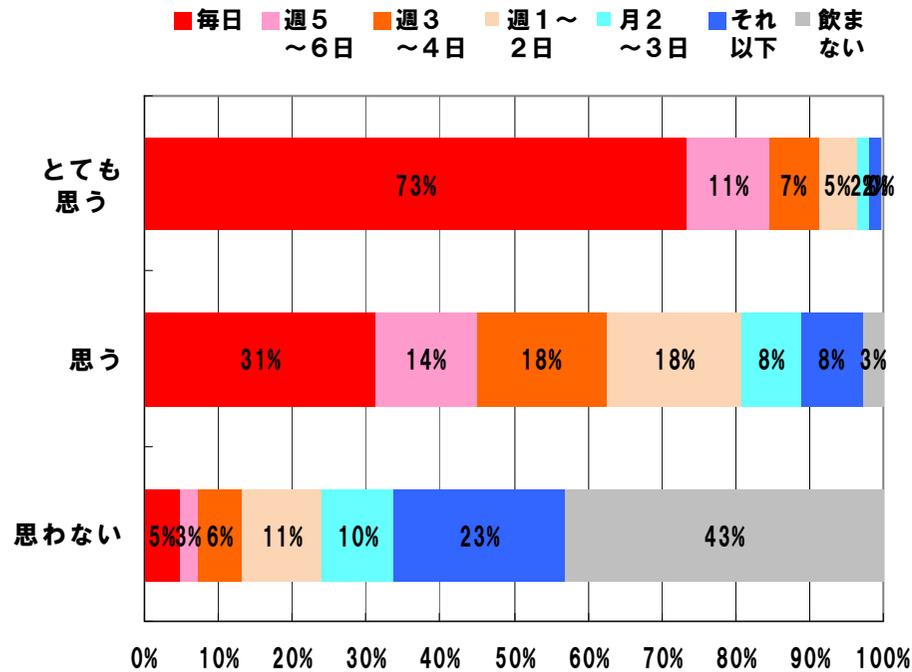
10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**牛乳を「自分にとって大切」という比率を持つのは全体の7割弱。  
 前年に比べて、明確に「大切」と思うひとの比率が10%程度減少。  
 男女別に見ると、女性の方がその意識は強めで、女性は年上ほど意識が強い。  
 男性は60代が特徴的にその意識が強い。**

# 「自分自身にとって大切な意識」と「現在の牛乳類飲用（利用）頻度」

いま現在、あなたご自身は牛乳類をどれくらいの割合で飲んだり、利用していますか。  
以下のなかから、あなたに最もあてはまるものをひとつだけお答えください。

自分自身にとって大切



とても思うN= 1743 / 思うN= 4817 / 思わないN= 3440

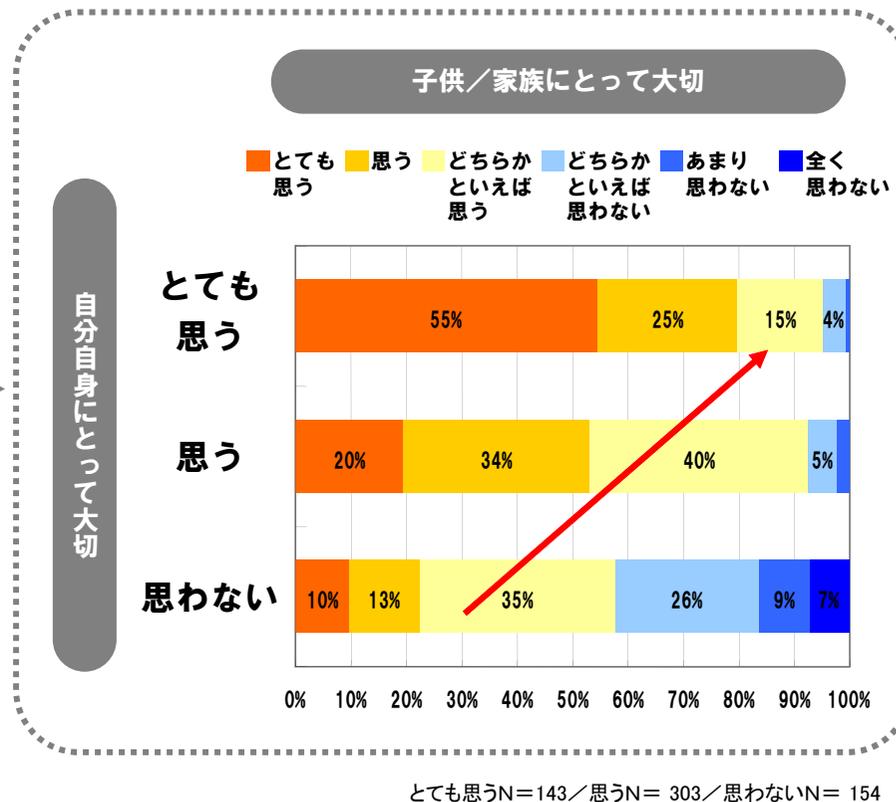
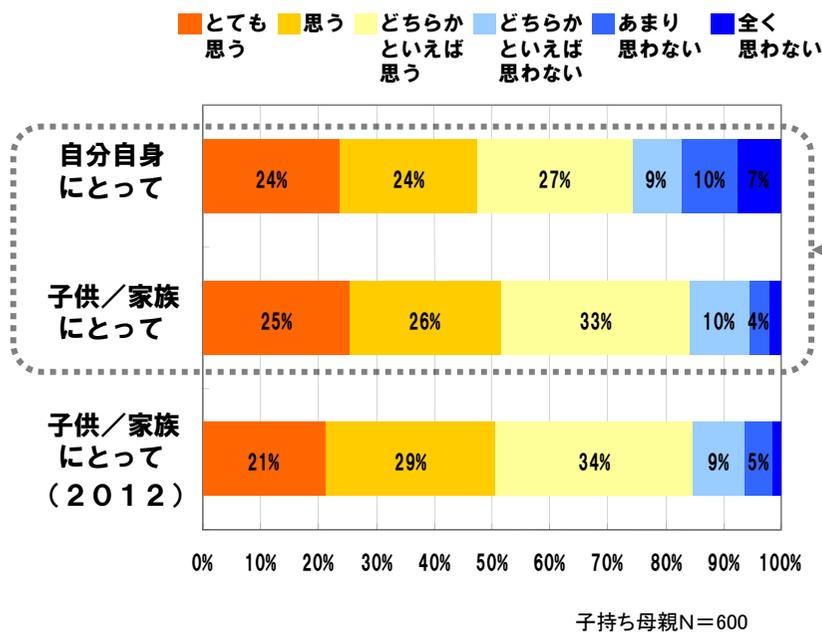
**牛乳を「自分にとって大切」と思う気持ちと、  
牛乳類の飲用（利用）頻度は強く関係している。**

## 母親における2つの大切意識

自分自身  
子供／家族

あなたは「牛乳」のことを、「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と、どれくらい思いますか。

あなたは「牛乳」のことを、「あなたの子供／家族にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と、どれくらい思いますか。

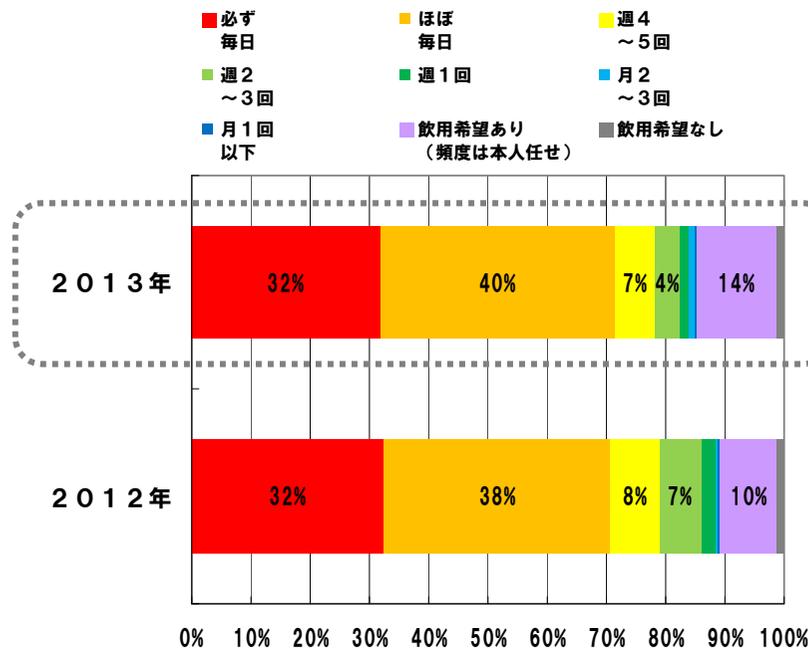


「ミルクの生活者ターゲットである「3～18歳の子を持つ母親」において、「子供(家族)にとって大切」と思う比率は、「自分にとって大切」の比率より高い。「子供(家族)にとって大切」と思う比率は、2012年に比べてやや高くなっている。また、「自分にとって大切」と思う意識と「子供(家族)にとって大切」と思う意識は強く関係。

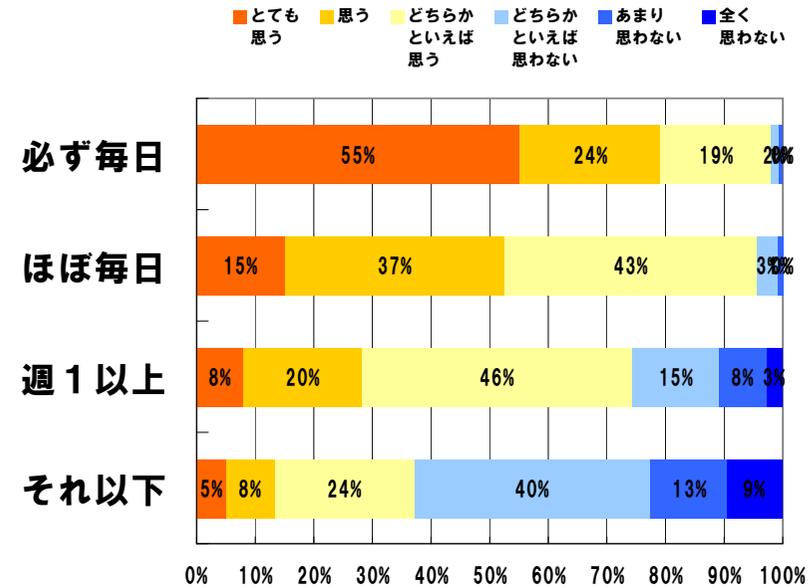
# 母親が「子供に希望する牛乳飲用頻度」と「子供(家族)にとって大切意識」

いま現在、あなたは「牛乳」を自分のお子様、  
どれくらい飲んでもらいたいと思いますか。

あなたは「牛乳」のことを、「あなたの子供／家族にとって、なくては  
ならない大切な食べ物(飲み物)である」と、どれくらい思いますか。



牛乳を子供に飲んでもらいたい頻度



子持ち母親N=600

必ず毎日N=191/ほぼ毎日N=238/週1以上N=74/それ以下N=97

**「子供に牛乳を多く飲んでもらいたい」と思う比率は、前年と大きく変わらない。**  
**」ミルクの生活者ターゲットである「3~18歳の子を持つ母親」において、**  
**「子供(家族)にとって大切」と思ってもらうことが**  
**「子供に牛乳を多く飲んでもらいたい」と思う気持ちにつながっていることがわかる。**

5

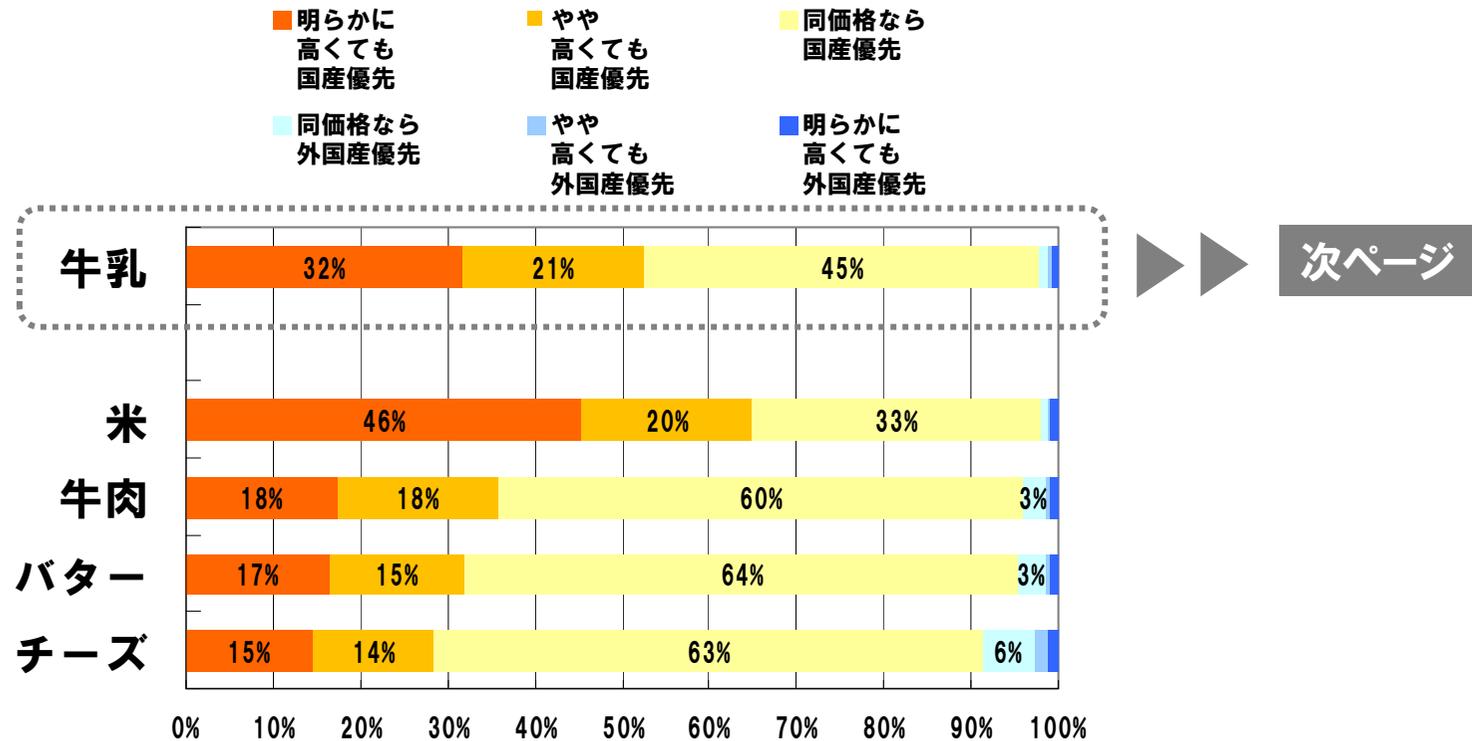
牛乳の国産優先意識

**牛乳の「国産優先意識」は強い。  
男性よりも女性において、また男女ともに年齢が高いほど、強くなっている。**

- 牛乳は「米」に次いで強い「国産優先意識」(国産品を優先して選択する意識)を持たれている。《→P. 36 》
- 牛乳の「国産優先意識」は、男性よりも女性において強く、男女ともに年齢が高いほど強くなっている。また牛乳類の飲用(利用)頻度が高いほど強くなっている。《→P. 37、38 》
- 牛乳は「国産優先意識」が圧倒的に高いものの、地域別に見ると、アジア産(特に中国産)に対する許容意識(国産に拘らず他の地域や国の食品の選択を許容する意識)はとても弱く、オセアニア産と欧米産に対する許容意識はアジア産に比べやや強くなっている。《→P. 39 》
- その一方で、バターやチーズのオセアニア産と欧米産に対する許容意識は、牛乳よりも強くなっている。《→P. 40、41 》

# 牛乳の国産優先意識

あなたご自身は、以下にあげたいいくつかの食品を選択するにあたり、その生産国についてどう思われますか。



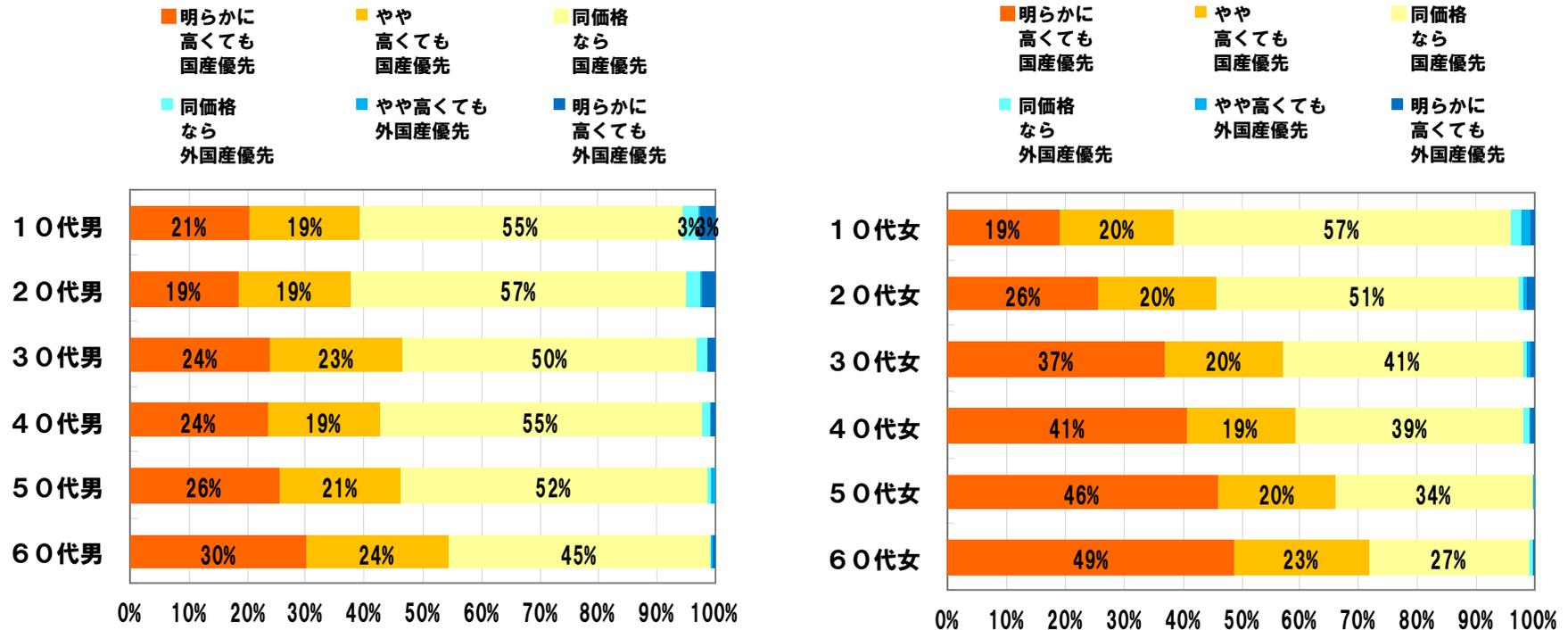
次ページ

N=1000

**牛乳は「米」に次いで強い「国産優先意識」を持たれており、  
価格が高くても国産を優先する人の比率は55%、  
同価格なら国産を優先する人の比率は45%であった。**

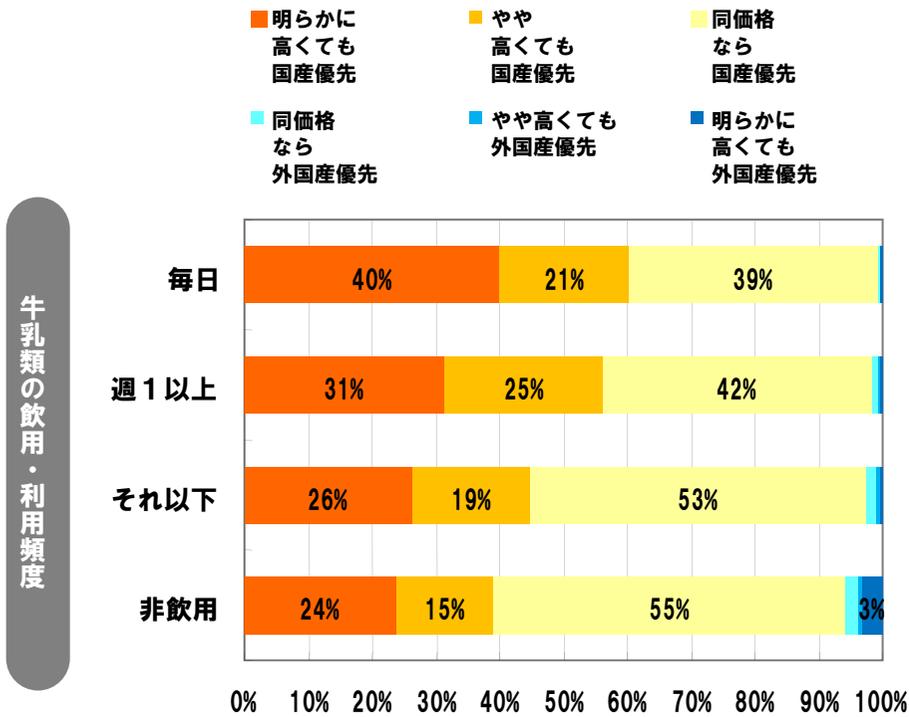
# 牛乳の国産優先意識／性年代別

あなたご自身は、以下にあげたいいくつかの食品を選択するにあたり、その生産国についてどう思われますか。



10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**男性よりも女性において、牛乳の「国産優先意識」は強くなっている。**  
**男性は、年齢が高い方が牛乳の「国産優先意識」がやや強くなっている。**  
**女性は、年齢が高い方が牛乳の「国産優先意識」が明らかに強くなっている。**

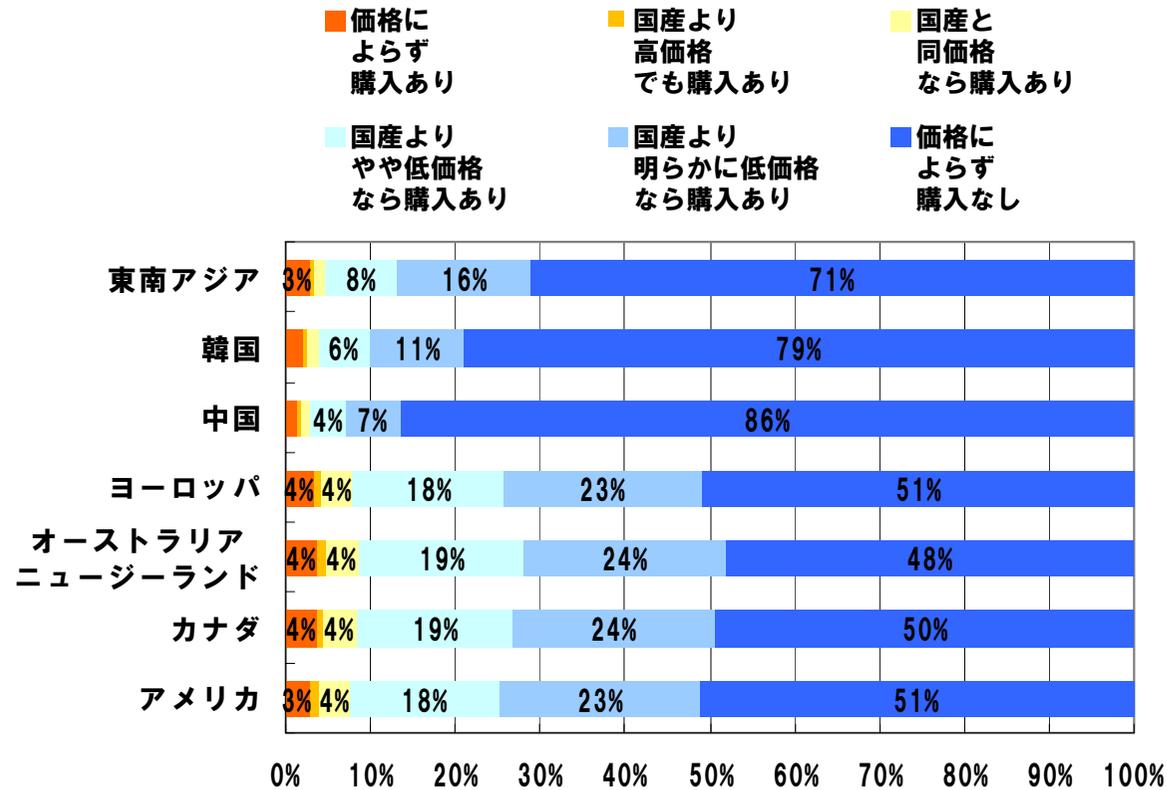


毎日N=2957／週1以上N= 3439／それ以下N= 1985／非飲用N= 1619

**牛乳の飲用頻度が高い人ほど、  
牛乳の「国産優先意識」が強くなっている。**

# 外国産牛乳に対する許容意識

あなたご自身は、以下の生産国でつくられた「牛乳」について、どう思われますか。

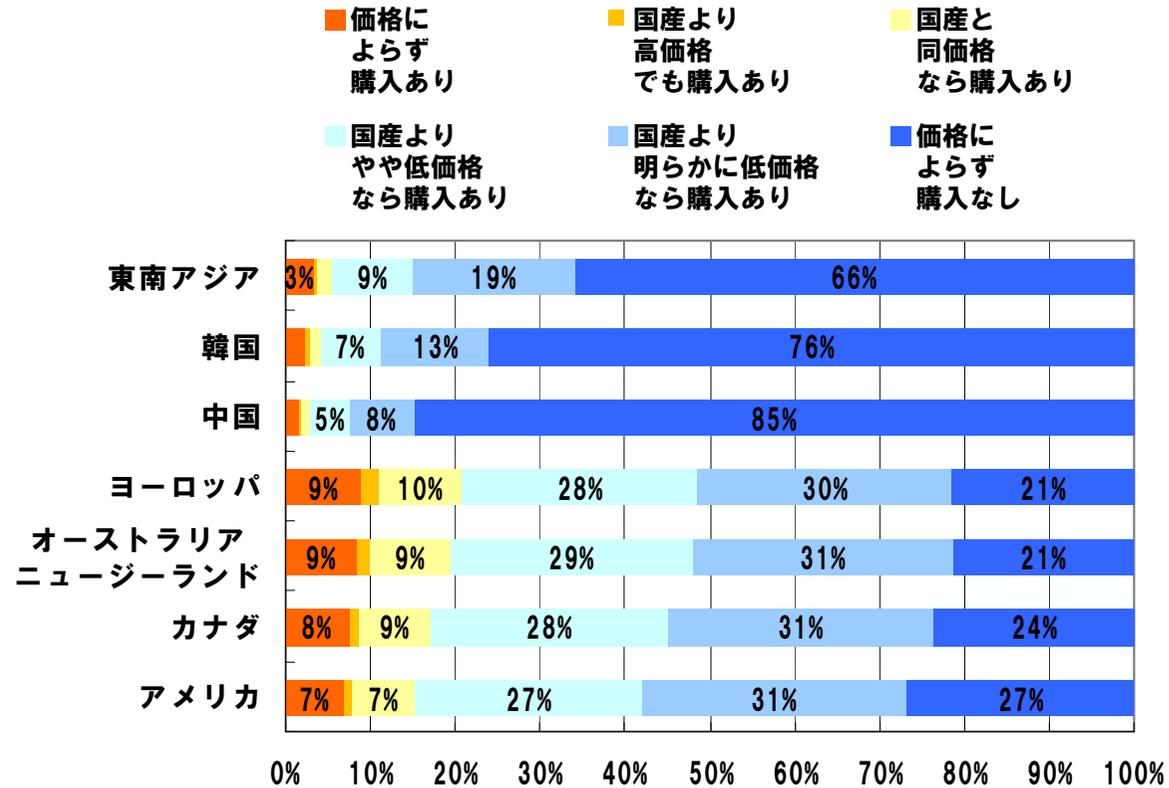


N=1000

**牛乳はオセアニア産と欧米産に対する許容意識が比較的強い。**  
**その一方で、**  
**アジア産（特に中国産）に対する許容意識がとても弱い。**

## 外国産バターに対する許容意識

あなたご自身は、以下の生産国でつくられた「バター」について、どう思われますか。



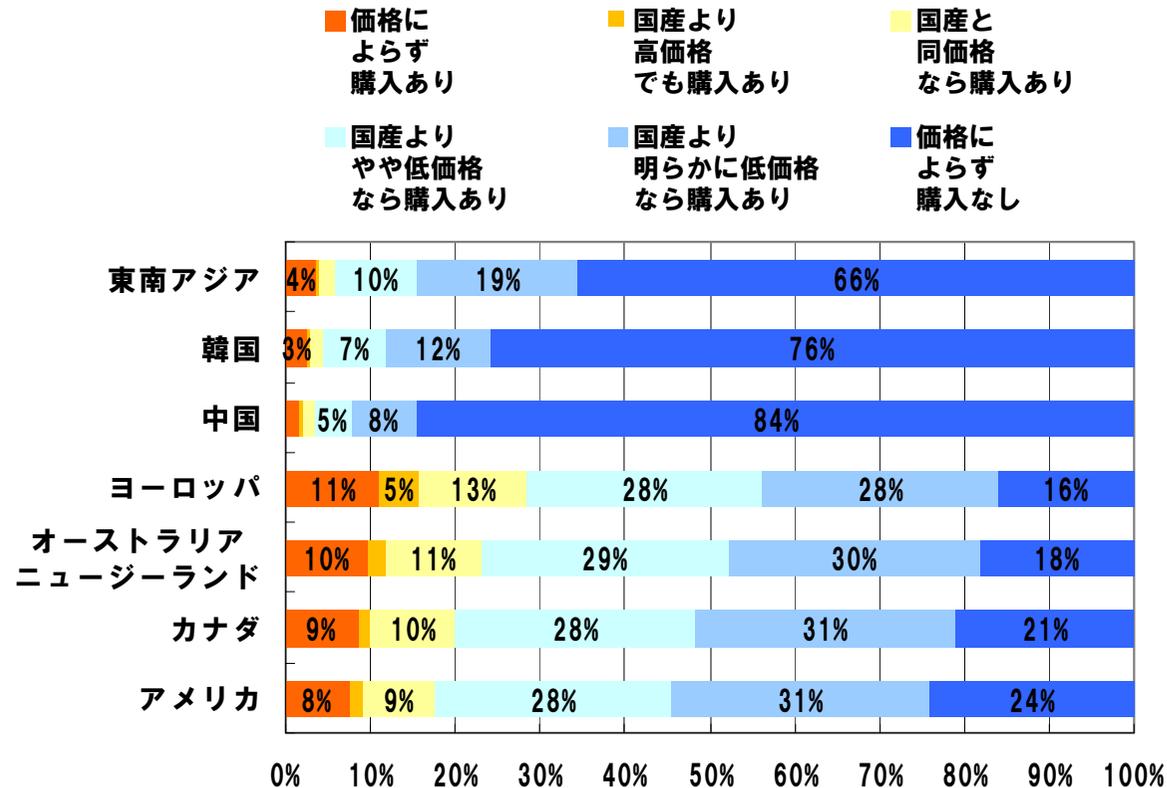
N=1000

**バターもオセアニア産と欧米産に対する許容意識が比較的強い。  
（牛乳のそれと比べて明らかに許容意識が強い）**

**それに対して、アジア産（特に中国産）に対する許容意識がとても弱い。  
（牛乳のそれと比べてほぼ同程度）**

## 外国産チーズに対する許容意識

あなたご自身は、以下の生産国でつくられた「チーズ」について、どう思われますか。



N=1000

**チーズもオセアニア産と欧米産に対する許容意識が比較的強い。  
 (牛乳のそれと比べて明らかに許容意識が強い／特にヨーロッパ産)**  
**それに対して、アジア産(特に中国産)に対する許容意識がとても弱い。  
 (牛乳のそれと比べてほぼ同程度)**

6

牛乳の上限受容価格(受容価格帯)と影響要因

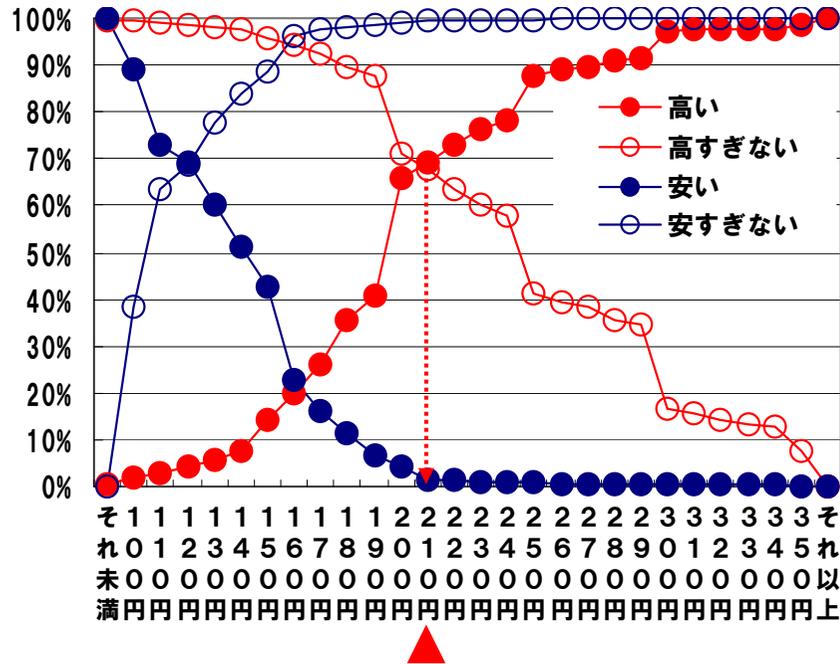
**生活者一般の意識における牛乳の上限価格は210円程度。  
「酪農家への共感意識」と「牛乳に関する国産優先意識」はそれを高める。**

- 「生活者一般」と「3-18歳の子を持つ母親」における牛乳1リットルパックの上限価格は、伝統的な受容価格帯分析によると、それぞれ210円と200円になっている。  
注:ここでいう「牛乳」は生活者が牛乳と認識している「一般牛乳」(牛乳・加工乳・成分調整牛乳・白物乳飲料の全て)と考えられる。
- 多くの(全体の2/3程度の人)の「生活者一般」と「3-18歳の子を持つ母親」のそれぞれが「高いと感じ始める価格」はどちらも200円であり、「高すぎるので買わなくなる価格」は290円と250円になっている。したがって、200円~290円・250円間の価格帯は「良いものであれば買っても良いと感じる価格」と解釈される。《→P. 44、45》
- 生活者一般の牛乳の上限価格意識を高めるのは「酪農家への共感意識」と「牛乳に関する国産優先意識」。《→P. 46》
- 最近、Jミルクの生活者ターゲットである「3-18歳の子を持つ母親」において、「酪農家への共感意識」が強まったひとは、酪農家が直面している「大変さを認識」したことが最大の理由。  
《→P. 47、48》
- 最近、「3-18歳の子を持つ母親」において、「牛乳に関する国産優先意識」が強まったひとの理由としては、「国産(牛乳)への安心感・信頼感UP」と、その裏にある「外国産品への不信感」が大きく、次いで「TPP」の議論や「酪農家への応援意識」がある。《→P. 49、50》

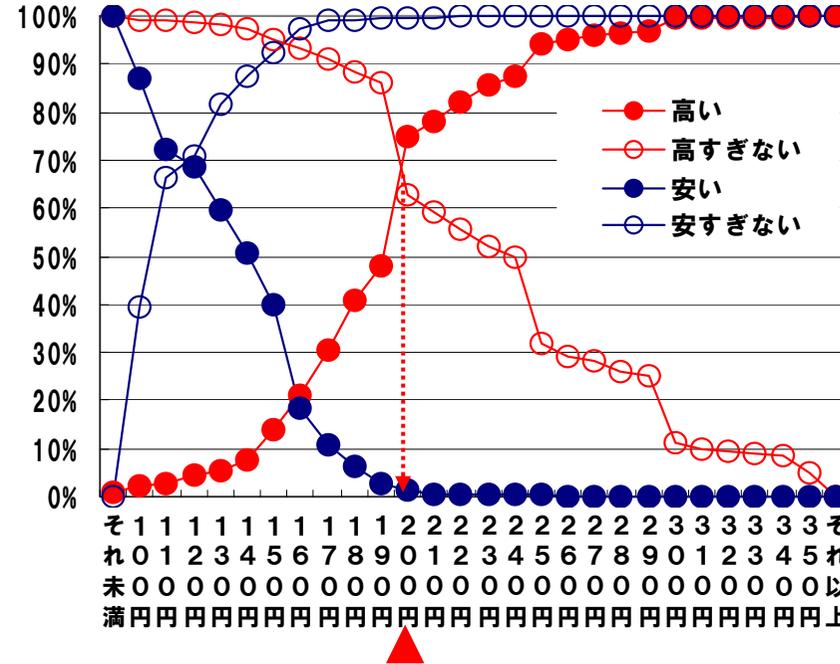
## 上限価格意識の分析①（伝統的な受容価格帯分析による）

1リットルパックの牛乳類について伺います、あなたがそれを買うときに、「高い」と感じはじめる価格をお知らせください。  
 1リットルパックの牛乳類について伺います、あなたがそれを買うときに、いくら品質が良くても高すぎるので買わなくなる価格をお知らせください。  
 1リットルパックの牛乳類について伺います、あなたがそれを買うときに、「安い」と感じはじめる価格をお知らせください。  
 1リットルパックの牛乳類について伺います、あなたがそれを買うときに、安すぎて品質に不安を感じはじめる価格をお知らせください。

**全体**



**母親**



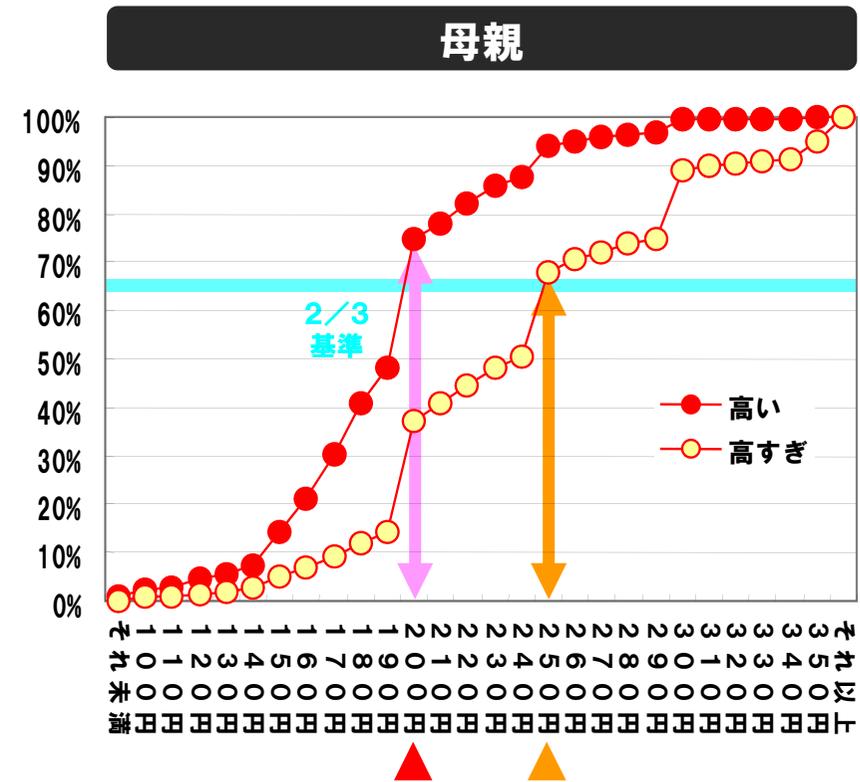
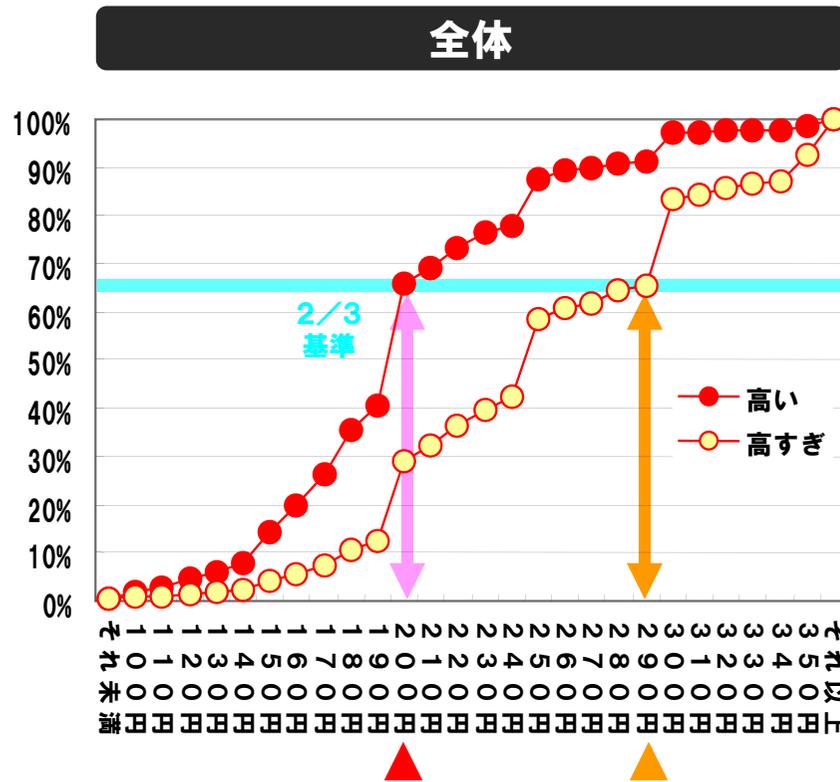
全体N = 7201 / 生活者ターゲットN = 905

伝統的な受容価格帯分析(PSM分析)によると、生活者一般の牛乳1リットルパックに関して受容できる上限価格(受容価格)は210円。3-18歳の子供を持つ母親の牛乳類1リットルパックに関して受容できる上限価格(受容価格)は200円となっている。

なお、ここでいう「牛乳」は生活者が牛乳と認識している「一般牛乳」(牛乳・加工乳・成分調整牛乳・白物乳飲料の全て)であるので、それらの価格帯を念頭に解釈することが必要である。

## 上限価格意識の分析②（社会的総意を形成する2/3程度の人々の水準）

1リットルパックの牛乳類について伺います、あなたがそれを買うときに、「高い」と感じはじめる価格をお知らせください。  
 1リットルパックの牛乳類について伺います、あなたがそれを買うときに、いくら品質が良くても高すぎるので買わなくなる価格をお知らせください。



全体N= 7201 / 生活者ターゲットN= 905

多くの生活者が「高いと感じ始める価格」は200円程度であり、「高すぎるので買わなくなる価格」は290円程度である。また、3-18歳の子供を持つ母親の多くの場合で「高いと感じ始める価格」は200円程度で生活者一般と同水準であるが、「高すぎるので買わなくなる価格」は250円程度となっている。

なお、「高すぎると感じ始める価格」と「高すぎるので買わなくなる価格」の間の価格帯は、品質などを通して、生活者が「良いと思えば買って良いと感じている価格」となる。

- 牛乳を「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物（飲み物）である」と思う人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は210円(120-210円)
- 牛乳を「自分自身にとってなくてはならない大切な食べ物（飲み物）である」と思わない人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は210円(110-210円)

- 牛乳に「よい思い出」がある人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、210円(120-210円)
- 牛乳に「よい思い出」がないひとにおける牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、200円(120-200円)
- 牛乳に「よくない思い出」があるひとにおける牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、210円(120-210円)
- 牛乳に「よくない思い出」がないひとにおける牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、210円(120-210円)

- 牛乳を「美味しい」と思うひとにおける牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、210(120-210円)
- 牛乳を「美味しい」と思わないひとにおける牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、200円(120-200円)

- 「酪農家」に対して「誠実さ」の印象を感じる人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、**210円**(120-210円)
- 「酪農家」に対して「誠実さ」の印象を感じない人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、**195円**(110-195円)

- 「酪農家」に対して「親しみ」の気持ちを感じる人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、**210円**(120-210円)
- 「酪農家」に対して「親しみ」の気持ちを感じない人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、**200円**(120-200円)

- 「酪農家」に対して「感謝」の気持ちを感じる人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、**210円**(130-210円)
- 「酪農家」に対して「感謝」の気持ちを感じない人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、**195円**(110-195円)

- 「牛乳は値段が高くても国産を優先」と思っている人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、**220円**(130-220円)
- 「牛乳は同価格なら国産を優先」と思っている人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、**195円**(110-195円)

- 牛乳の「骨改善機能」を確かに認識している人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、210円(125-210円)
- 牛乳の「骨改善機能」をなんとなく認識している人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、200円(115-200円)

- 牛乳の「リラックス安眠機能」を認識している人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、210円(120-210円)
- 牛乳の「リラックス安眠機能」を認識していない人ひとにおける牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、205円(120-205円)

- 牛乳の「生活習慣病予防機能」を認識している人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、210円(120-210円)
- 牛乳の「生活習慣病予防機能」を認識していない人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、200円(120-200円)

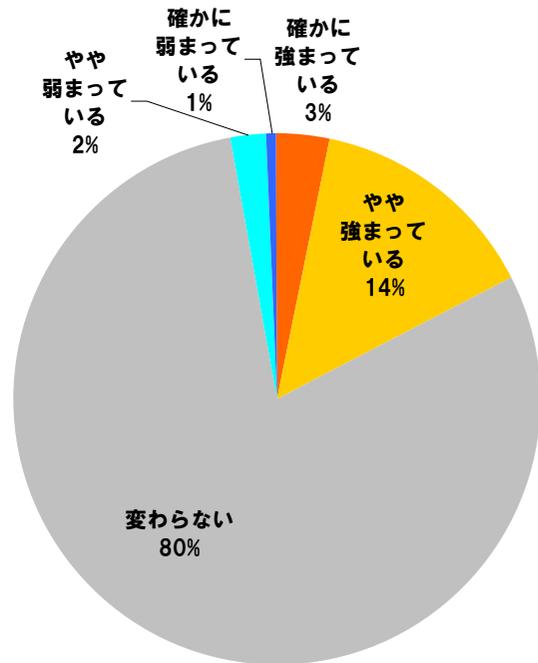
- 牛乳の「免疫強化機能」を認識している人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、210円(120-210円)
- 牛乳の「免疫強化機能」を認識していない人における牛乳の上限受容価格(受容価格帯)は、205円(120-205円)

- 牛乳の上限受容価格に特に影響を与えるのは「酪農家への共感意識」と「牛乳に関する国産優先意識」で、前者は10~15円、後者は25円程度、上限受容価格を高めている。
- 「酪農家」への共感を強めたり、牛乳の「国産優先意識」を強めるための取り組みが、牛乳の高価格に対する受容性を高める可能性が強い。
- 牛乳の「良い思い出」「美味しさ」「栄養健康機能の認知状況」も、上限受容価格に影響を与えている。

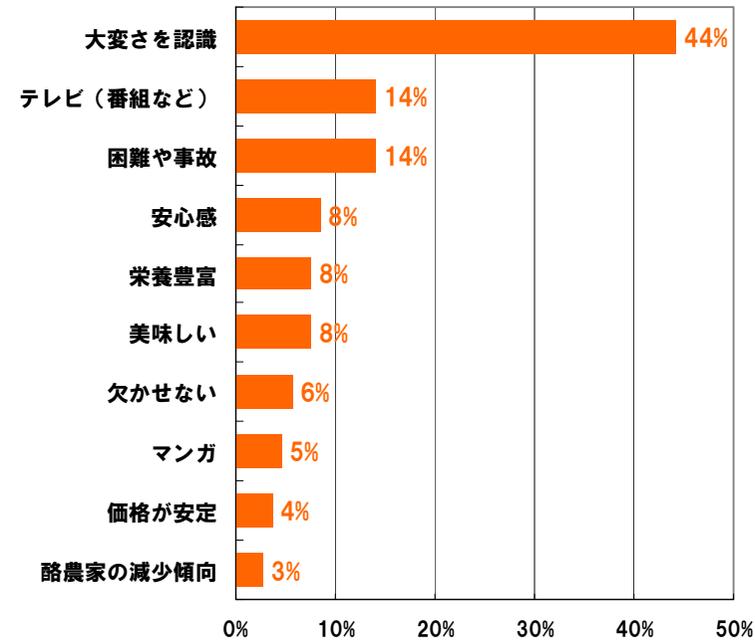
## 酪農家に対する共感意識の変化／主婦のみ

最近、あなたの「酪農家」に対する「誠実さ」の印象や「感謝／親しみ」の気持ちは、以前に比べて強まったり弱まったりしていますか。

最近、あなたの「酪農家」に対する「誠実さ」の印象や「感謝／親しみ」の気持ちは、以前に比べて強まっている理由や事情についてお知らせください。



N=600



強まっているN= 106

**現在、Jミルクの生活者ターゲットである「3～18歳の子を持つ母親」において、牛乳の上限受容価格に影響を与える「酪農家への共感意識」は強まる傾向にある。**

**「酪農家への共感意識」が強まるのは、酪農家が直面している「大変さを認識」したことが最大の理由。**

■ 大変さを認識

- |            |   |
|------------|---|
| 30代 会社員公務員 | いつもそれは思います。農家の方って天候に影響されて不安定な生活だったりするけれど私たちのために大切につくってくださっていることをいつも頭において食を楽しみたいです。  |
| 30代 専業主婦   | 牛乳を生産すること自体大変なことで、乳牛のえさ代なども高騰していると聞くのでかなり大変なののがんばっているのだなと感謝して飲んでいます。  |
| 30代 専業主婦   | 子供に食育をするうえで、どのように牛乳が生産されるのかを目の当たりにする機会が増えたから  |
| 40代 専業主婦   | 酪農は休みがなく朝も早いので大変だと思うから  |
| 40代 会社員公務員 | 牛は暑さに弱いときき、牛乳は貴重な飲み物だとわかったから  |
| 40代 専業主婦   | 私は洋菓子の仕事をしていたこともあり、以前は普通に当たり前前に乳製品を使っていたのが 歳を重ねて酪農家の方の努力で あたりまえ があると実感した。特に311で放射能を浴びた牛の乳を なくな捨てている映像が 私たちの健康のために、頑張って作ってくれたものを捨ててくれた姿がありがたく 申し訳なく思った。今の当たり前は酪農家の方のやさしさと努力のおかげだと実感して感謝しています。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。 |
| 50代 会社員公務員 | 早朝から頑張って乳搾りしてもらっているからこそ私たちの生活生命のために届けられていると思っています。  |
| 50代 その他    | 牛乳を作る過程には色々な努力が有ると思うから。   |

■ テレビ(番組など)

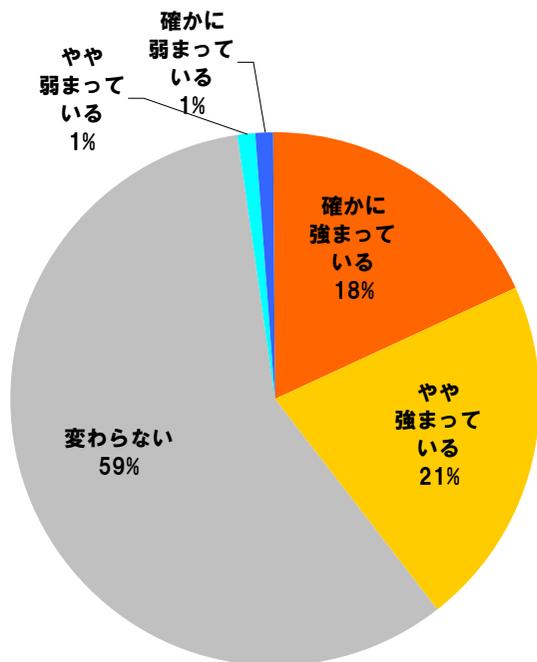
- |            |   |
|------------|---|
| 30代 専業主婦   | テレビ番組で、酪農家の様子を何度か見る機会があった。牛乳の品質のために、乳牛をととても大切にしています。ますます牛乳が好きになった。                      |
| 30代 パートバイト | CMかなんかで、ひたむきに働いている様子を見た。  |
| 40代 会社員公務員 | テレビの番組などをみて、酪農家の方の苦勞を知りました。おいしい、栄養のある牛乳を飲めるのも酪農家の方のおかげだと思います。                           |
| 40代 専業主婦   | テレビ番組でタレントが酪農家の仕事を手伝う場面を観て朝早くから仕事をし、乳牛の世話を休みなく作業しているのを見ると美味しい牛乳を飲めるのも酪農家さんたちのお陰だと思ったから  |
| 40代 専業主婦   | 最近テレビで酪農家のことを見たので。  |
| 40代 専業主婦   | 以前、北海道の酪農家の生活を紹介したTVを見たことがあって、本当に乳牛を大切に育てていることがよくわかって以来、牛乳も愛情を持って作っているんだなということが感じ取れました。 |
| 50代 パートバイト | 最近農作物を丹精込めて作られる方々の特集番組をテレビでよくみるようになり、大変さとありがたさをあらためて感じるようになったから                         |

■ 困難や事故

- |            |   |
|------------|---|
| 30代 パートバイト | 震災など色々な被害がある中で頑張っていらっしゃるから  |
| 30代 パートバイト | 福島原発の事故で酪農家の方々の苦惱を聞いて。我が家でも犬を飼っているので生き物を飼うことが大変だということを実感できるから。                                  |
| 30代 専業主婦   | 震災以来酪農家に限らずすべてに感謝、親しみをを感じるようになった。   |
| 40代 専業主婦   | 以前に起きた狂牛病や口蹄疫や原発問題など酪農家の方々が泣く泣く子供のように可愛がって育ててきた牛を処分する姿を報道で見聞きする中で大切な物を頂いていたのだという気持ちにあらためてなりました。 |
| 40代 パートバイト | 大震災以来、農作物や牛乳、精肉など私たちが口にしてる食物や、生産者の方々に感謝する気持ちが芽生えたような気がします。                                      |
| 40代 専業主婦   | 震災があつて、牛を手放さなければならなくなった酪農家の方の悲しみを知った。同じ福島県民として感じるどころがあつた。                                       |
| 50代 その他    | 東日本大震災で、ダメージを受けながらも、土地を換えて頑張っている酪農家がいるとの話から。  |

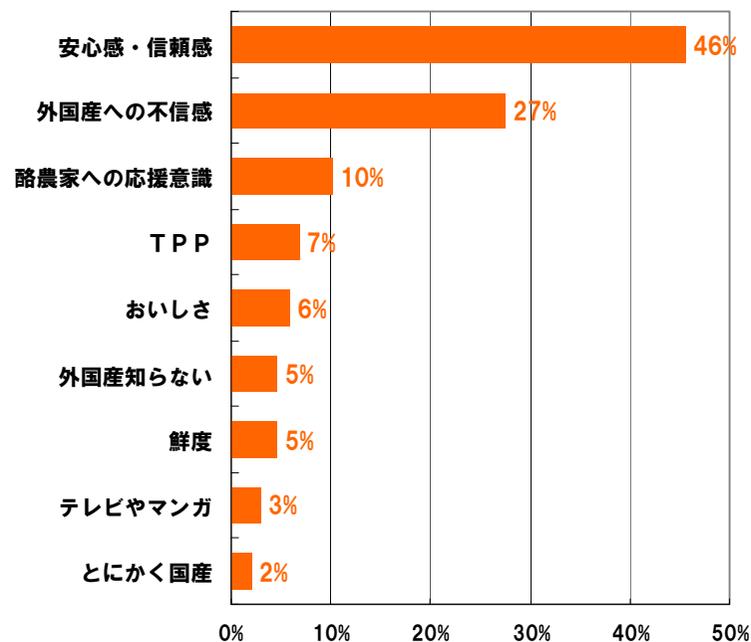
## 牛乳に関する国産優先意識の変化／主婦のみ

あなたが「牛乳」について、「外国産より価格が高くても、国産を優先したい」と思う気持ちは、以前に比べて強まったり弱まったりしていますか。



N=600

あなたが「牛乳」について、「外国産より価格が高くても、国産を優先したい」と思う気持ちが、以前に比べて強まっている理由や事情についてお知らせください。



強まっているN= 237

現在、Jミルクの生活者ターゲットである「3～18歳の子を持つ母親」において、牛乳の上限受容価格に影響する「牛乳の国産優先意識」は顕著に強まる傾向にある。

「牛乳の国産優先意識」が強まっている理由としては、「国産（牛乳）への安心感・信頼感意識」と「外国産品への不信感」が大きく、次いで「TPP」の議論と「酪農家への応援意識」がある。

■ 安心感・信頼感

30代	インフルエンサー	口にすることはやはり日本産が安心する
30代	専業主婦	国産の方がおいしいし安全だから
30代	会社員公務員	国産は安全というイメージ
30代	専業主婦	食への検査が日本はしっかりしていると思うから
30代	専業主婦	子どもが飲むもの。異国のは使用したくない。牛乳は国産に限る！と自分自身のイメージ。
30代	専業主婦	国産のものの方が製法が安全に思えるので
30代	専業主婦	なんとなく国産の方が基準がよい気がするから。
40代	会社員公務員	日本は基準が厳しいから安心
40代	専業主婦	子供の健康や家族を思うとき 九州産を選ぶことにしている 値段よりも先のことを考えるから
40代	専業主婦	牛乳に限らず、食の安全性は日本が一番高いと思うから。
40代	専業主婦	子供が飲むので安全性を考えるとやはり国産が良いと思うから
40代	専業主婦	普段から食品はなるべく国産にしているから
50代	パートバイト	生産者の顔がみえるから
50代	専業主婦	安全性

■ 外国産への不信感

30代	専業主婦	いくら値段がやすくても、外国産は衛生面や品質面で不安がある。特に子供に飲ませるならば、安心して、飲まることができる国産にしたい
30代	商工サービス自営	中国の牛乳になんだったかはわすれてしまったが毒素が入って他というニュースをみたから。
30代	専業主婦	外国産のものは基本的に購入しない。長い輸送に備えて化学添加物=発がん性物質が加えられているからだ。安全だという調査ももはや信用できない。できれば他県で搾乳されたものも購入したくない。劣悪な環境での飼育で量産目的の酪農家から安く牛乳を購入する気はない。牛をのびのびと自然に、大事にしている農家から高くてもいいから購入したい。牛の精神的な健康状態は飲む側にも影響すると考える
30代	専業主婦	輸送するために、鮮度を落とさないよう何らかのことをしているのでは...と思うとなんとかないや。特に中国のように、何が入っているのかわからないものも多いので。
40代	専業主婦	ニュースで外国産のずさんな管理について伝えていたから
40代	パートバイト	外国のものはよくわからないし、国産でも取れすぎたら捨てていると聞いたこともあるので、国産でまかなってほしいです。
40代	パートバイト	例えばアメリカ産の牛乳は遺伝子組み換え飼料とか平気で食べていそうだし、薬も大量に飲まされていそう。国産のは何を食べているのか信頼できるし、日本の品質管理の基準も厳しいので安心できる
40代	専業主婦	国のあまりな、外国だよりな食の調達に不安を覚える。
50代	専業主婦	外国産のものは、少し信用できない気がする。新鮮さを保つために防腐剤とか使うことになりそう。
50代	専業主婦	海外でもいろいろな汚染や遺伝子組み換え等がされている為
50代	商工サービス自営	中国産とかやばいから

■ 酪農家への応援意識

30代	専業主婦	TPPのこともあり生産者側が本当に大変なことになりそうだと思います。このままだとまた日本の生産業が立ちゆかなくなると思いました。また日本産が一番安心できると思えるので。	40代	専業主婦	TPPで安い牛乳が入ってきて、美味しい国産の牛乳や生クリームが手に入らなくなったら嫌だから。北海道に住んでいて、地元の農家を応援したいから。
30代	パートバイト	国産のものを使って酪農家を支えたいから	40代	パートバイト	TPP参加の話が進んでいるので。農業をまもることは国力を守ることにつながると思う。
30代	専業主婦	同じ日本人を応援したい気持ちや安心感が一番あるので	40代	パートバイト	前問でも答えましたが、国内の酪農家の方たちの苦勞を知ったので、応援する気持ちも込めて、国産を優先する気持ちが強まりました。
30代	パートバイト	国産を買うことによって酪農家の方々の手助けが出来るそう。	40代	パートバイト	TPP報道に触れ、国産製品/産業を守る為そういう思いが以前よりも強くなった。
30代	専業主婦	日本の酪農は、一番安全だし、応援したいと思います。	40代	専業主婦	銀の匙という、マンガを読んだり、ニュースなどで酪農のたいへんさを見て
40代	専業主婦	日本の牛乳は本当に美味しく先日テレビで世界に認められた日本のメジャーではないメーカーの牛乳を取りあげていました。畜産農業高校の話なのですが銀の匙という漫画が若い人達に人気です。自給率の少ない日本だからこそせつかく良質な国産生産物があるので国民全体で質の良いものに相応の対価を払うという気持ちに回帰する事が自国の農産物を守ることだと思っています。	50代	その他	日本の酪農家を応援したいから。

7

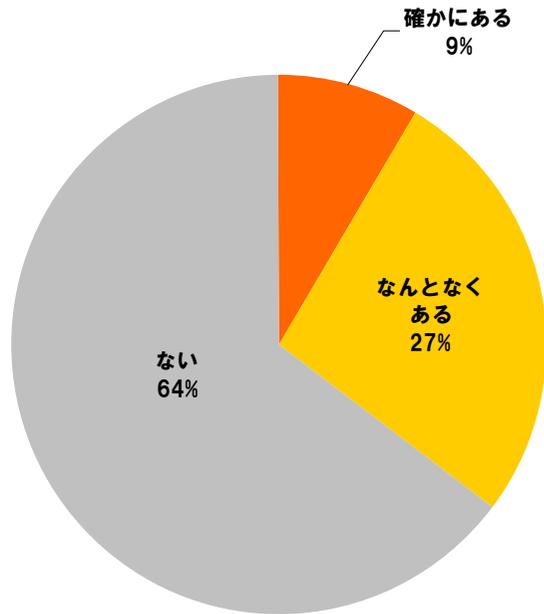
「牛乳に関する話題」への接触状況

**最近、牛乳の話題に触れた人は全体の1 / 3(その機会は減少傾向)  
話題の内容はカルシウムに関連する話が多い。**

- 生活者一般で、最近、牛乳の話題に触れたという人は約3人に1人。ただし、牛乳の話題に触れる機会は減少傾向にある。《→P. 53、54》
- 牛乳類の飲用(利用)頻度が高いほど、牛乳の話題に触れた比率が高くなっている。その一方で、牛乳類の飲用(利用)頻度が低いひとほど、牛乳の話題に触れる機会は減少している。《→P. 53、54》
- 牛乳に関する話題接触の「状況」や「変化」には、地域による差がほとんどない。《→P. 55》
- 生活者一般がここ2, 3年で触れた情報や話題のトップ3は、1. カルシウム摂取源、2. アレルギー、3. 骨粗鬆症の予防となっていて、それに次いで「リラックス/精神安定効果」や「カルシウムの吸収率」や「値上げ」が多くなっている。《→P. 56-58》

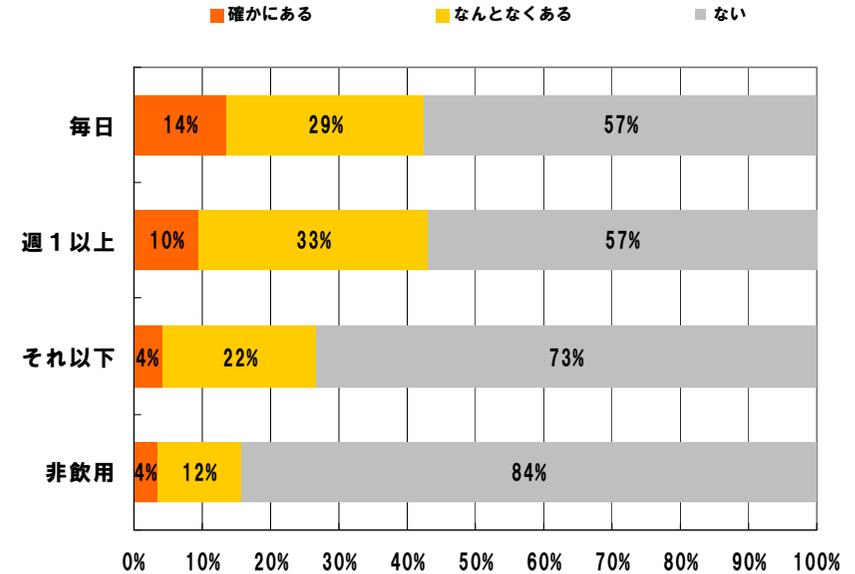
# 牛乳に関する話題の接触状況

最近のあなたは、メディアや人との会話を通じて、牛乳の話題に触れたことがありますか。



N=10000

牛乳類の飲用・利用頻度別



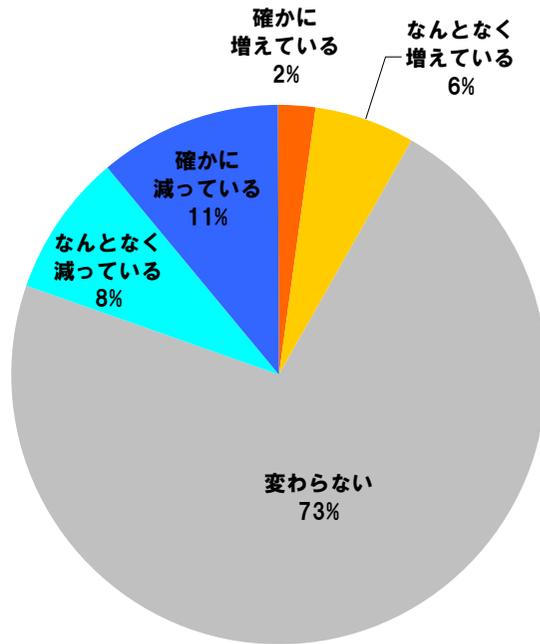
毎日N=2957/週1以上N= 3439/それ以下N= 1985/非飲用N= 1619

**最近、牛乳の話題に触れたという自覚がある人は、  
生活者一般の約3人に1人。**

**牛乳の飲用頻度が高い人ほど、  
牛乳の話題に触れたという自覚は高くなっている。**

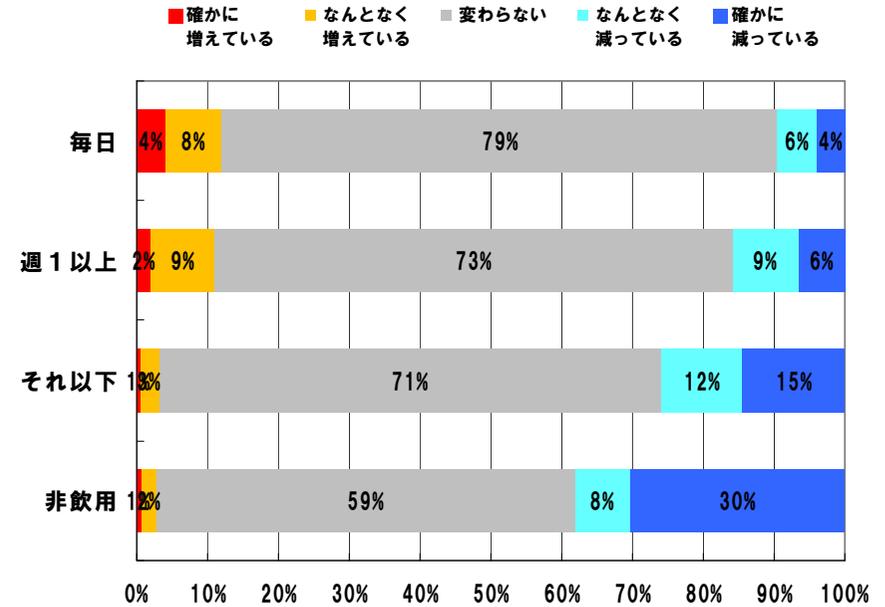
# 牛乳に関する話題の接触状況変化

最近のあなたは、メディアや人との会話を通じて、牛乳の話題に触れることが増えている、もしくは減っている感じがしますか。



N=10000

牛乳類の飲用・利用頻度別



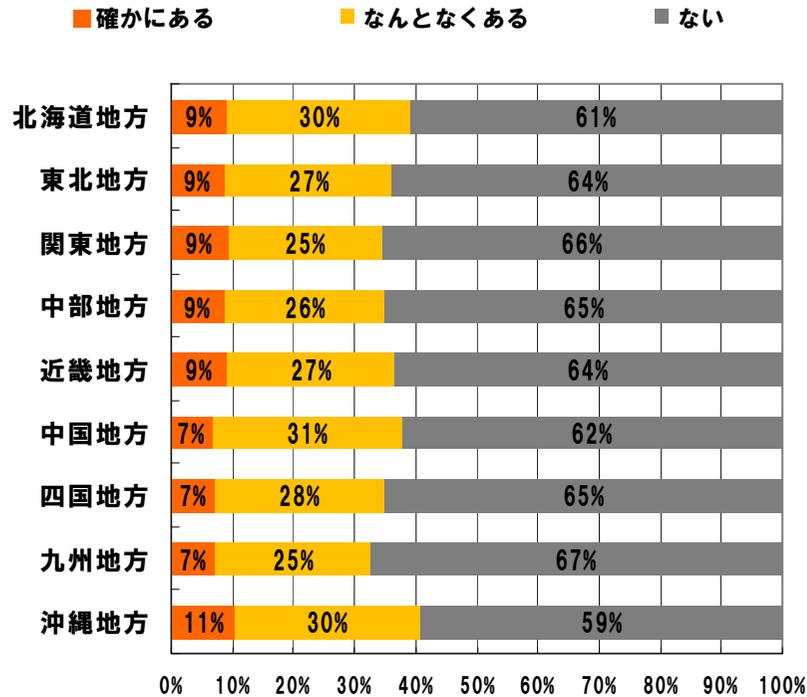
毎日N=2957/週1以上N= 3439/それ以下N= 1985/非飲用N= 1619

**生活者一般において、最近、牛乳の話題に触れたという自覚の増減は、減少傾向が強い。**

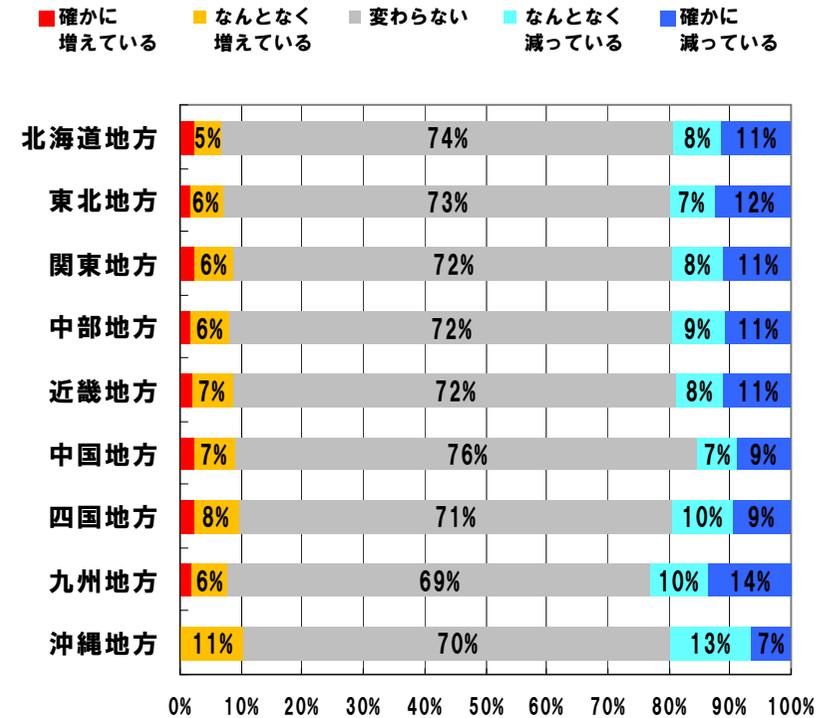
**牛乳の飲用頻度が低い人ほど、牛乳の話題に触れたという自覚の減少傾向が強くなっている。**

## 牛乳に関する話題の接触状況とその変化(地域別)

最近のあなたは、メディアや人との会話を通じて、牛乳の話題に触れたことがありますか。



最近のあなたは、メディアや人との会話を通じて、牛乳の話題に触れることが増えている、もしくは減っている感じがしますか。

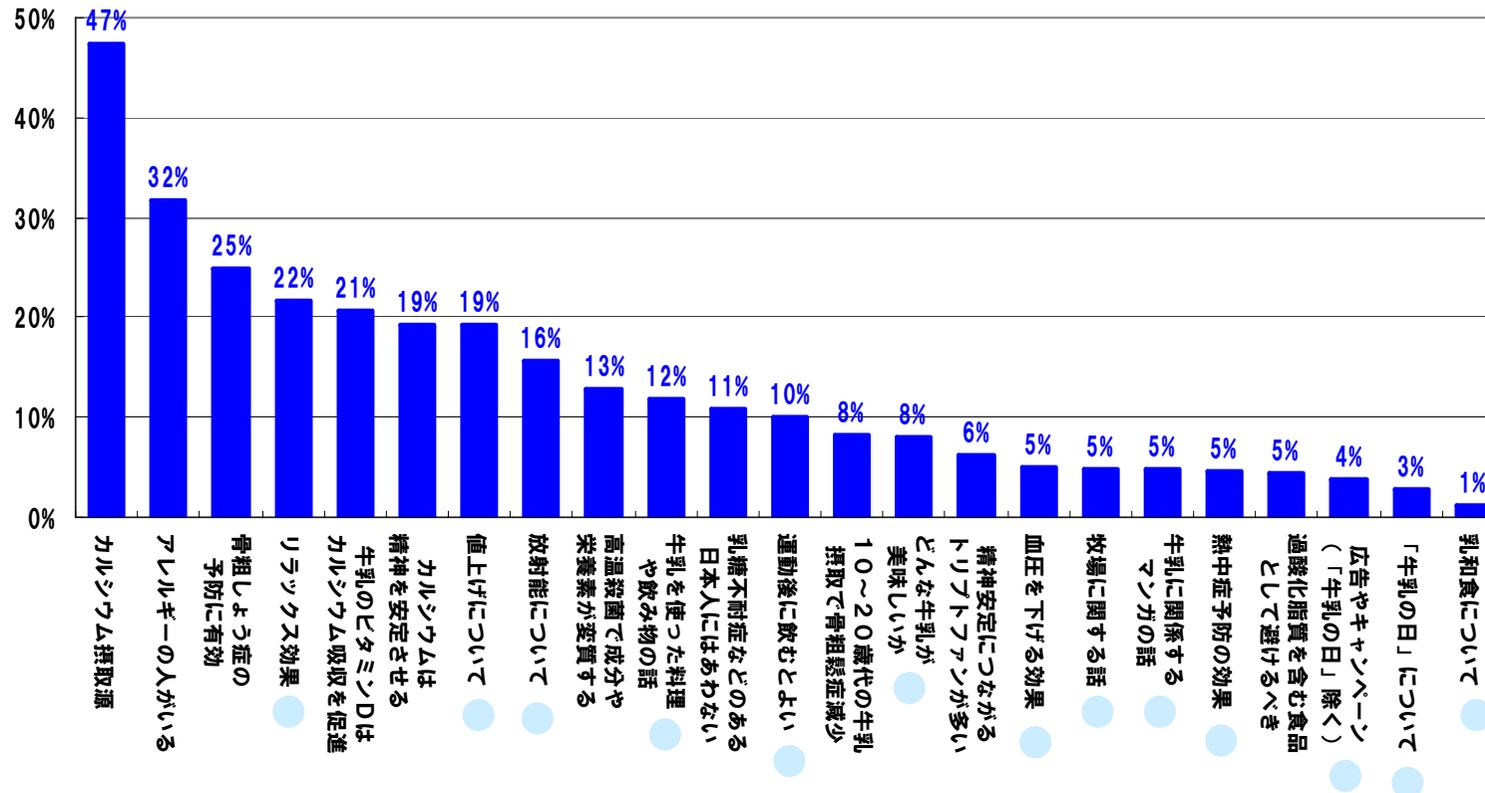


北海道地方N=431/東北地方N= 708/関東地方N= 3435/中部地方N= 1674/近畿地方N= 1783/中国地方N= 588/四国地方N= 279/九州地方N= 1026/沖縄地方N= 76

**「最近、牛乳の話題に触れた」と自覚する人の比率と  
「牛乳の話題に触れること」の「増減」状況には、  
地域による差はほとんどない。**

## 接触した「牛乳に関する話題」の中身

以下にあげた牛乳・乳製品に関する話の中から、(この調査の質問を除いて)あなたがこの2、3年の間で何かの情報に触れたり、人から話を聞くなどして耳にしたことのあるものを、すべてお知らせください。



※ ● の項目は2013年から。それ以外のは昨年度とほとんどかわらない。

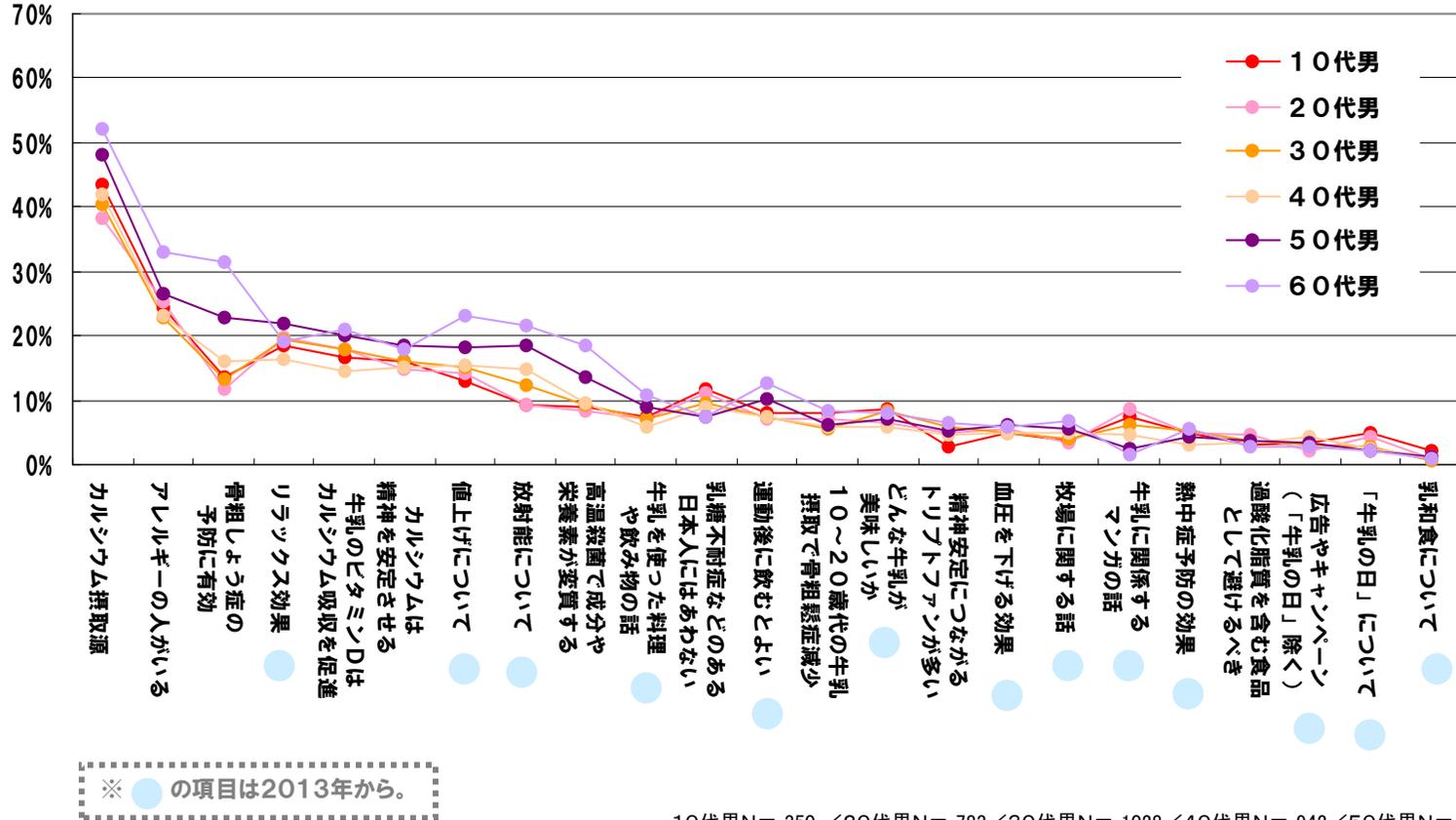
N=10000

生活者一般がここ2、3年で触れた情報や話題のトップ3は、「カルシウム摂取源」「アレルギー」「骨粗鬆症の予防」。

それに次いで「リラックス効果／精神安定」や「カルシウムの吸収」「値上げ」といった話題との接触が多い。

## 接触した「牛乳に関する話題」の中身(男性年代別)

以下にあげた牛乳・乳製品に関する話の中から、(この調査の質問を除いて)あなたがこの2.3年の間で何かの情報に触れたり、人から話を聞くなどして耳にしたことのあるものを、すべてお知らせください。



男性の60代50代の話題接触では、下記の項目が多くなっている。

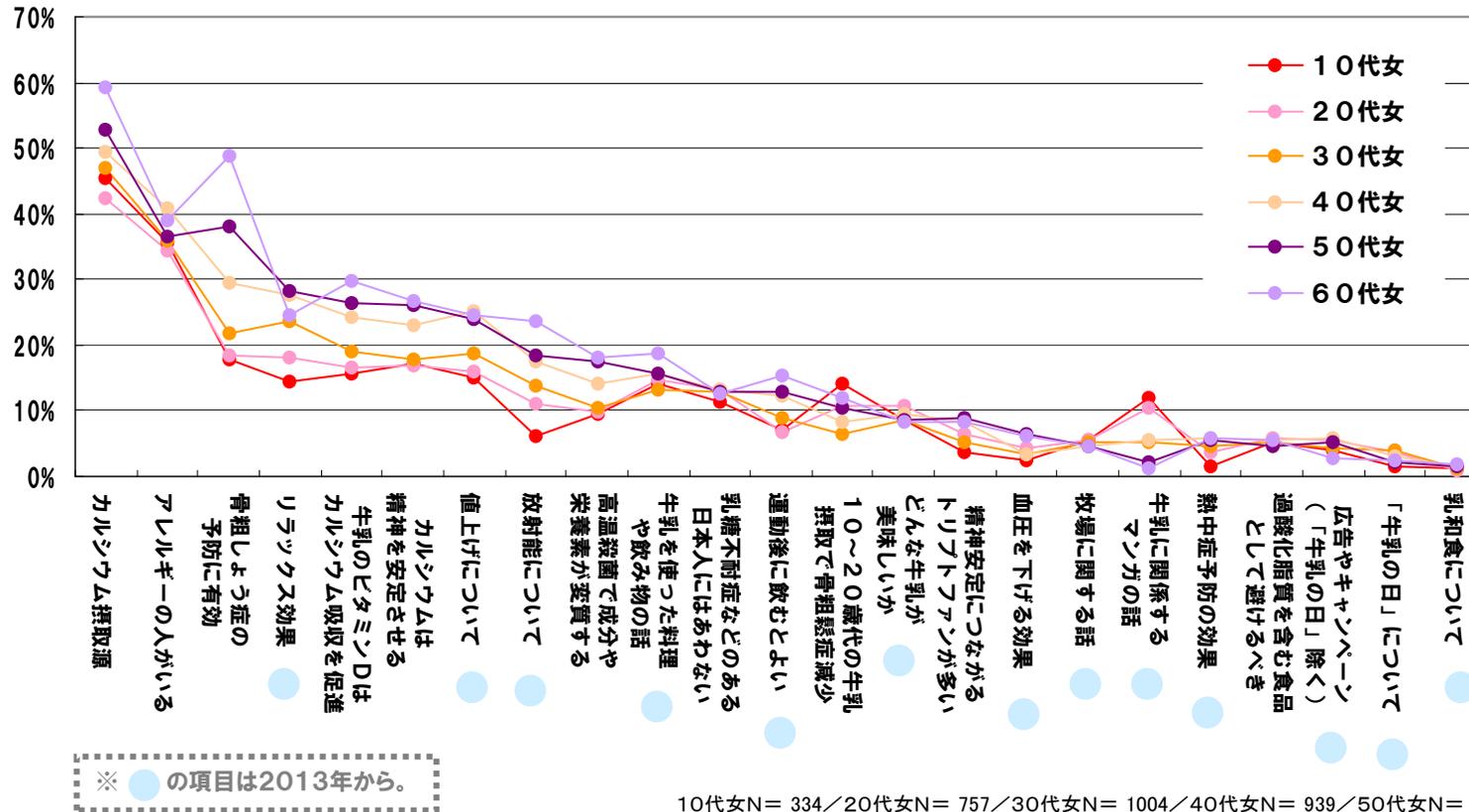
**カルシウム摂取源 / 骨粗鬆症 / 値上げ / 放射能 / 高温殺菌の影響 / 運動後の飲用**

逆に若い男性の話題接触では、下記の項目が多くなっている。

**乳糖不耐症について / 牛乳に関係するマンガ**

## 接触した「牛乳に関する話題」の中身(女性年代別)

以下にあげた牛乳・乳製品に関する話の中から、(この調査の質問を除いて)あなたがこの2.3年の間で何かの情報に触れたり、人から話を聞くなどして耳にしたことのあるものを、すべてお知らせください。



女性の高年齢層の話題接触では、下記の項目が多くなっている。

**カルシウム摂取源 / 骨粗鬆症 / ビタミンDの効果 / カルシウムの精神安定効果  
値上げ / 放射能 / 高温殺菌の影響 / 運動後の飲用**

逆に若い女性の話題接触は下記の項目で盛んになっている。

**若い時の牛乳で骨粗鬆症が減少 / 牛乳に関係するマンガ**

8

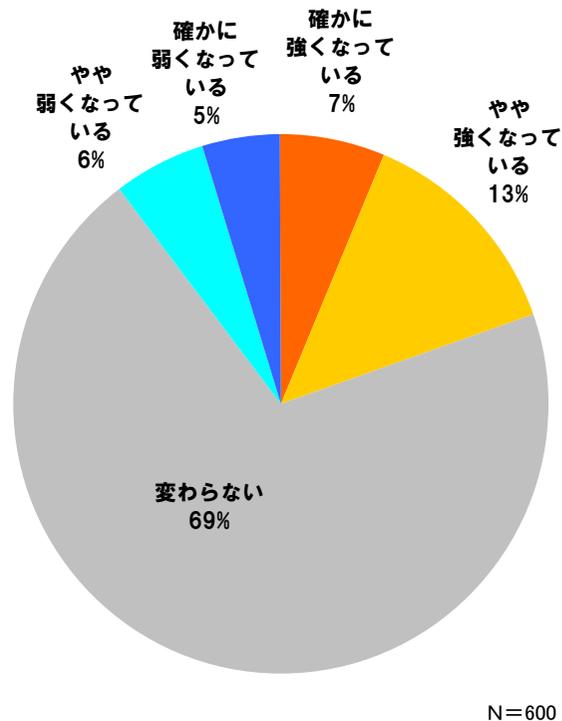
牛乳が「自分にとって大切」と思う意識の変化理由  
(第二次調査の母親データから)

生活者一般の「自分にとって大切」意識低下には「値上げ」が影響した可能性。  
今後の対策としては、牛乳の供給サイドに対する共感意識の醸成が有効。

- ミルクの生活者ターゲットである母親層では、牛乳を「自分にとって大切」と思う気持ちが「強まっている層」が20%いて、「弱まっている層」を9%上回っている。《→P. 61》
- なお、牛乳を「自分にとって大切」と思う気持ちが弱まっている母親と、強まっている母親はどちらも、「値上げ」に関する情報との接触が高くなっている。《→P. 63》
- 牛乳を「自分にとって大切」と思う気持ちが強まっている母親は牛乳の供給サイド(酪農家／牛乳メーカー／販売店)に対する共感意識が強く、その逆に、弱まっている母親の共感意識は弱くなっている。《→P. 64》
- 母親において、酪農家に対する共感意識の変化と、牛乳を「自分にとって大切」と思う気持ちの変化は確かに相関している。《→P. 65》
- 今回の調査で生活者一般の「自分にとって大切」と思う気持ちが低下した背景には、牛乳の供給サイドに対する共感意識の弱い層が、牛乳の値上げに直面することで、牛乳に対してネガティブな意識を持ったとことが考えられる(今後の対策としては、共感意識を強めるコミュニケーション活動が有効であると考えられる)。《→P. 66》

## 「自分にとって大切」意識の変化(第二次調査の母親データより)

あなたが「牛乳」を、「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と思う気持ちは、1年前に比べて、強くなっていると思いますか、それとも弱くなっていると思いますか。

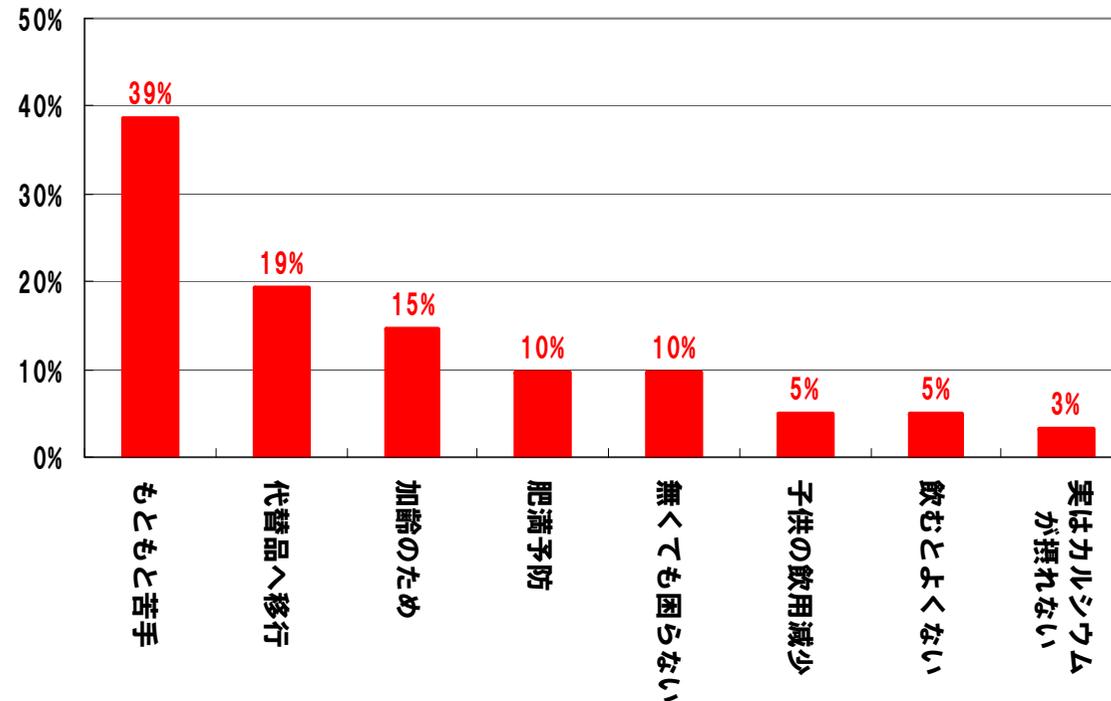


**現在、Jミルクの生活者ターゲットである「3～18歳の子を持つ母親」においては、牛乳を、「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と思う気持ちが全体的に強まっている。**

**(ただし、その中でも1割強は、気持ちが弱まっている母親がいる。)**

## 「自分にとって大切」意識後退の理由

あなたが「牛乳」を、「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と思う気持ちが、1年前に比べて、弱くなっているのは何故だと思いますか。



弱まったN=62

「3～18歳の子を持つ母親」において、  
牛乳を、「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と  
思う気持ちが弱まっている母親が挙げる理由のトップ3は、

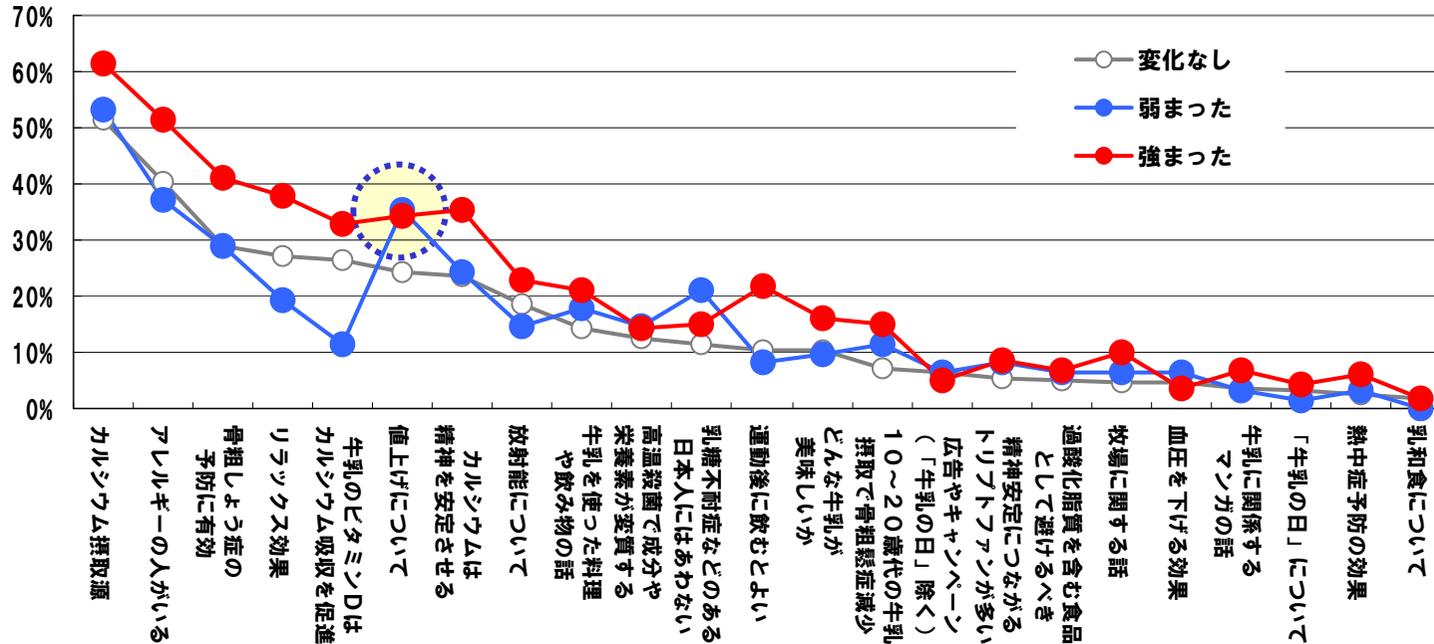
1. もともと苦手
2. 代替品へ移行(※P16～20参照)
3. 加齢のため  
(ただし、どの理由も「いま、減少」したことの説明力は弱い。)

## 接触した「牛乳に関する話題」の中身／「自分にとって大切」意識の変化傾向別

以下にあげた牛乳・乳製品に関する話の中から、(この調査の質問を除いて)あなたがこの2、3年の間で何かの情報に触れたり、人から話を聞くなどして耳にしたことのあるものを、すべてお知らせください。

### 牛乳の「自分にとって大切」意識変化傾向別

強まったN=119／変化なしN= 419／弱まったN= 62



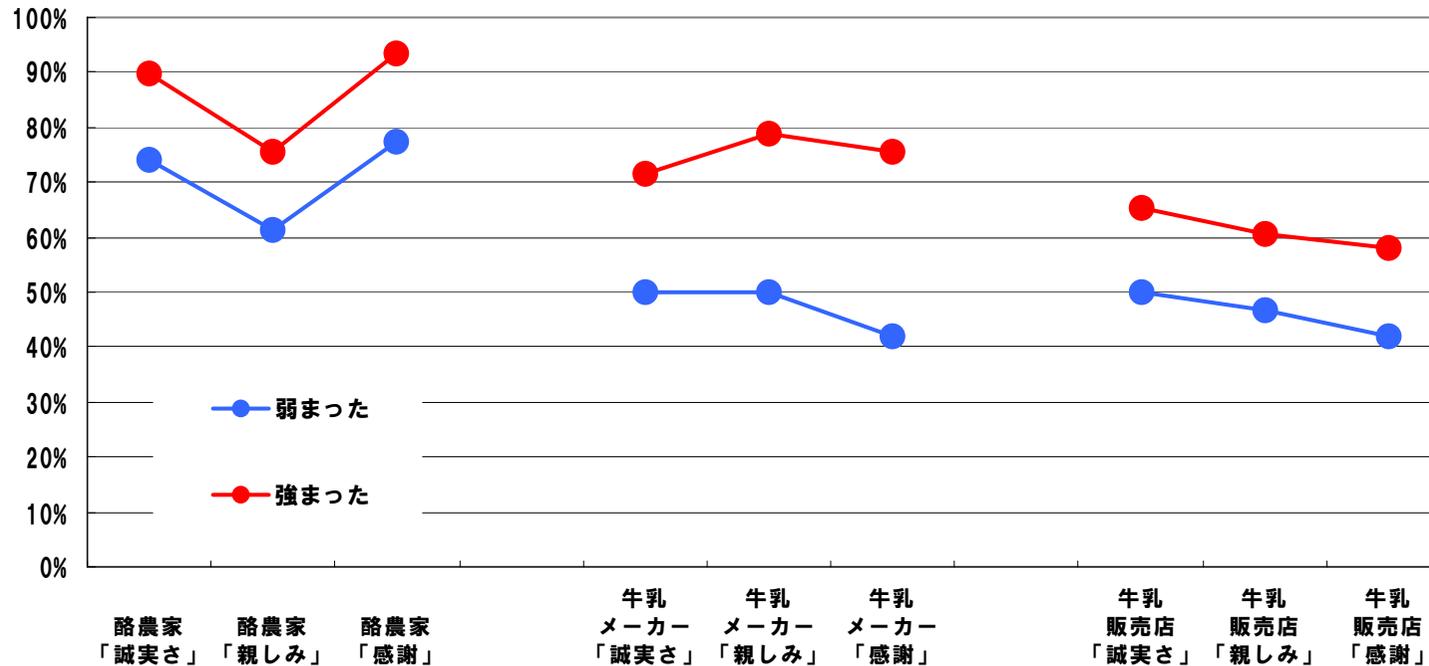
「3～18歳の子を持つ母親」において、  
牛乳を「自分自身にとってなくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と思う気持ちが弱まっている母親と強まっている母親はどちらも、変化の無い母親に比べて、タイムリーな話題である「値上げ」との接触が高くなっている。

## 牛乳の供給サイドへの共感意識／「自分にとって大切」意識の変化傾向別

「\*\*\*」に対して、あなたは以下の「印象」や「気持ち」をどれくらい感じますか。  
 3つの項目それぞれについて、ご自身に最もあてはまるものをひとつずつお答えください。  
 1. 「誠実さ」の印象 2. 「親しみ」の気持ち 3. 「感謝」の気持ち

牛乳の「自分にとって大切」意識変化傾向別

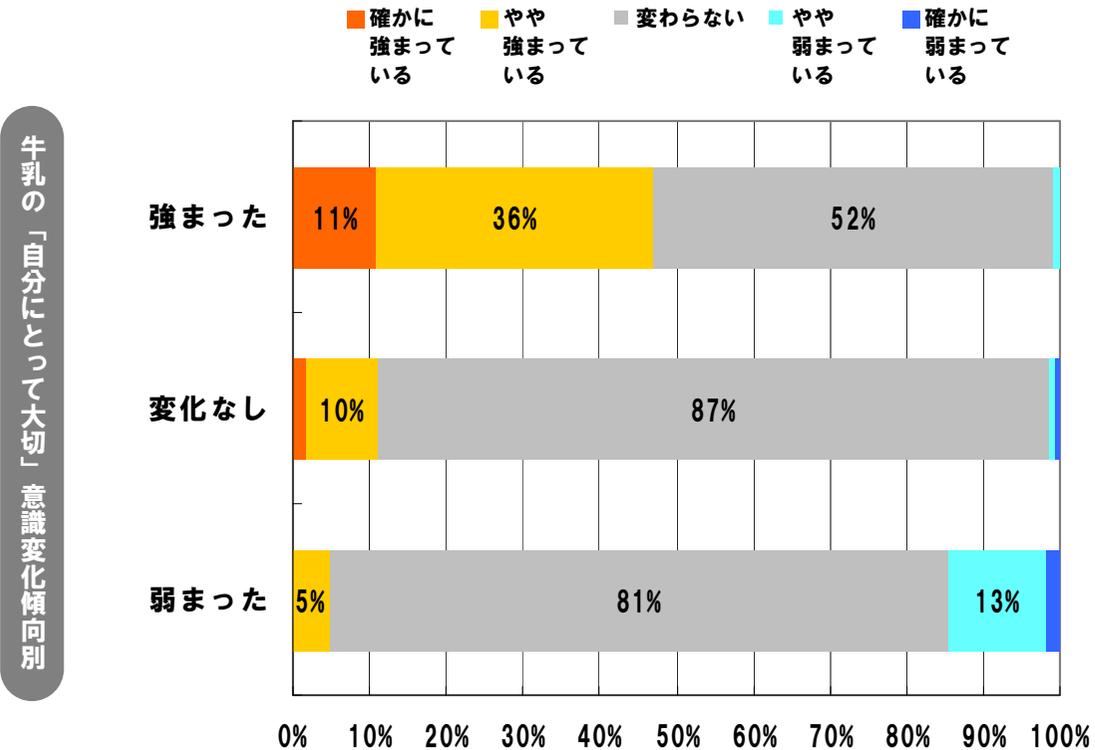
強まったN=119／弱まったN= 62



**「3-18歳の子を持つ母親」において、  
 牛乳を、「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」  
 と思う気持ちが強まっている母親と弱まっている母親では、  
 牛乳の供給サイドに対する共感意識に明確な差が見られる。  
 (特に牛乳メーカーに対する共感意識に大きな違いが見られる。)**

## 酪農家に対する共感意識の変化／「自分にとって大切」意識の変化傾向別

最近、あなたの「酪農家」に対する「誠実さ」の印象や「感謝／親しみ」の気持ちは、以前に比べて強まったり弱まったりしていますか。



強まったN=119／変化なしN= 419／弱まったN= 62

**「3－18歳の子を持つ母親」において、酪農家に対する共感意識の変化と、牛乳を、「自分自身にとって、なくてはならない大切な食べ物(飲み物)である」と思う気持ちの変化は、強く関係している。**

「牛乳価格の値上げ」という2013年の出来事

牛乳価格の値上げ意識

牛乳供給サイドへの共感意識／強  
(とりわけ牛乳メーカー)

理解

牛乳供給サイドへの共感意識／弱  
(とりわけ牛乳メーカー)

反感

牛乳を「自分にとって大切」  
と思う意識が「いま、後退」

今後、消費税増税やTPPの進展による、生活者一般の価格意識の強まりが予想されるなか、牛乳メーカーを含む、牛乳供給サイドへの社会的な共感をいかに強めるかが極めて肝要。

9

牛乳の「4大重点訴求機能」への認知状況と健康意識とその変化

牛乳の4大重点訴求機能の認知は、前年と大きく変わらない。  
 (いずれも、生活者の牛乳関与と強く関係している。)

<b>A</b>	骨の状態（骨粗鬆症など） を良くする効果	<b>B</b>	精神状態（ストレス）や 睡眠の質を良くする効果
<b>C</b>	生活習慣病（高血圧やメタボなど） を予防・改善する効果	<b>D</b>	病気（インフルエンザや風邪など） を予防する効果
<b>A+</b>	自分の骨の状態（骨粗鬆症など） を良くすること	<b>B+</b>	自分の精神状態（ストレス）や 睡眠の質を良くすること
<b>C+</b>	自分の生活習慣病（高血圧やメタボなど） を予防・改善すること	<b>D+</b>	自分の病気（インフルエンザや風邪など） を予防すること

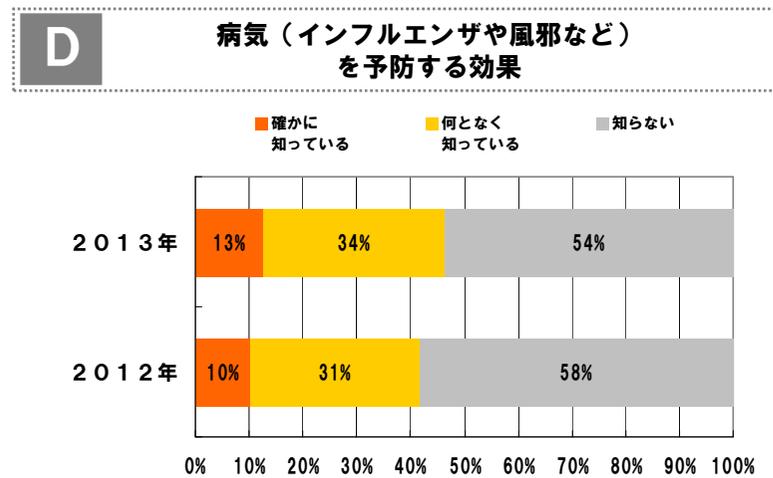
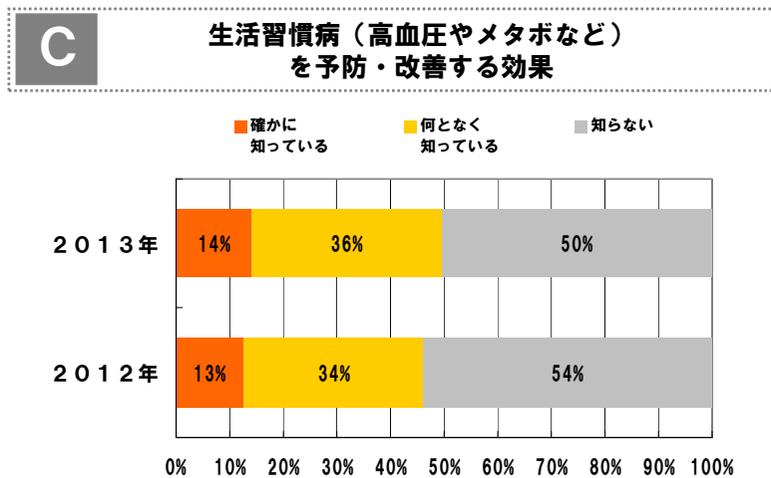
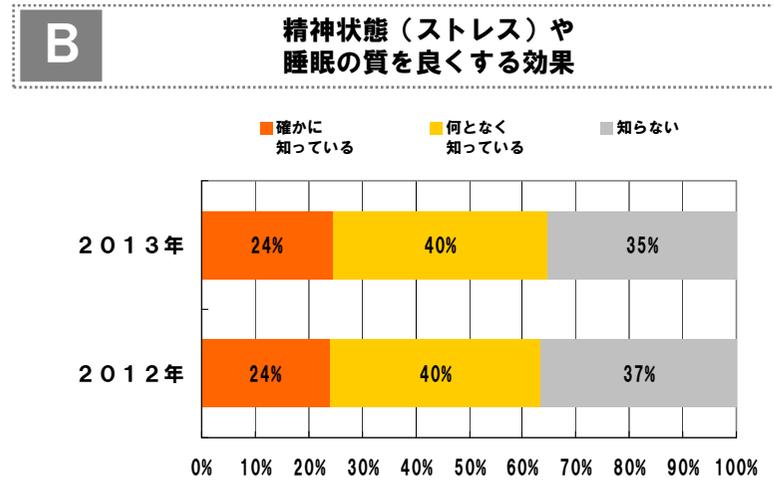
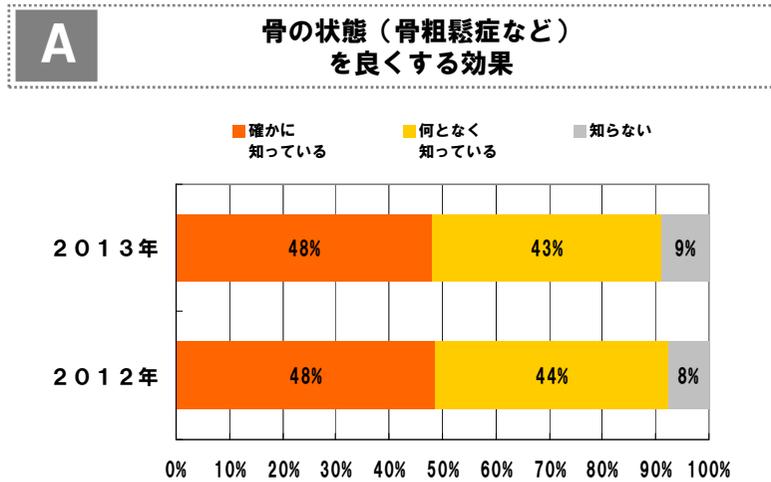
- 生活者一般において、牛乳の4大重点訴求機能(上記A～D)認知は、前年と大きく変わらない。《→P. 70》
- 牛乳の4大重点訴求機能(上記A～D)認知は、いずれも牛乳の飲用頻度と強く関係している。《→P. 71》
- 牛乳の4大重点訴求機能へのニーズに直結する健康意識(上記A+～D+)の強さは、いずれも牛乳の飲用頻度と強く関係している。《→P. 76》

「骨の状態を良くする効果(A)」については、骨に関するニーズ強化が課題。  
その他の重点訴求機能(BCD)については、機能認知強化が課題

- 現状、A(骨の状態を良くする効果)の機能認知はすでに十分に高く、そのことを認知していない生活者はほとんどいない。その一方で、Aへのニーズに直結するA+(自分の骨の状態を良くすること)の健康意識は、生活者一般において余り強くない。よって今後は、まずA+(自分の骨の状態を良くすること)への健康意識を強め、牛乳の持つA(骨の状態を良くする効果)へのニーズを高めることが求められる。《→P. 71、76》
- 現状、4大重点訴求機能B、C、D(ストレス・睡眠、生活習慣病、病気への効果)へのニーズに直結する健康意識B+、C+、D+は、どれもA+(骨の状態を良くすること)よりも強い。ただし4大訴求機能B、C、Dの認知はAと比較して低く、健康意識の強さを、牛乳需要へ結びつけることが出来ていない。よって今後B、C、Dについては、まず重点訴求機能B、C、Dの認知そのものを高めることが求められる。《→P. 71、76》

# 牛乳の「4大重点訴求機能」認知

あなたご自身は、牛乳について、以下の「4つの特徴」があることを、どれくらいご存知でしたか。



N=10000

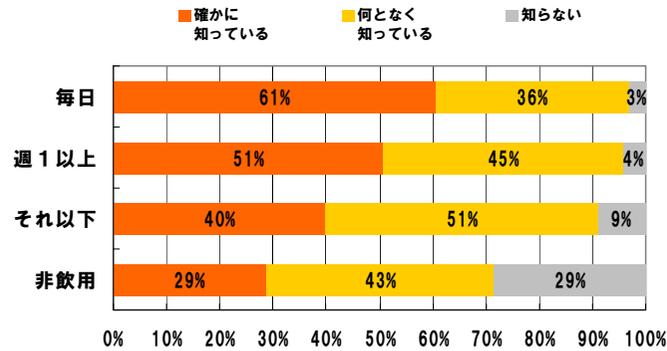
**前年に比べて、生活者一般における牛乳の4大重点訴求機能の認知状況は、何れも大きく変わっていない。（CとDは認知がやや高くなっている模様。）**

# 自分が牛乳類を飲む(利用する)頻度と、牛乳の「4大重点訴求機能」認知

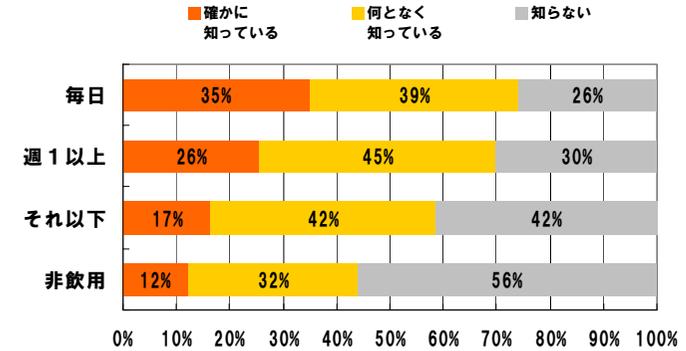
あなたご自身は、牛乳について、以下の「4つの特徴」があることを、どれくらいご存知でしたか。

牛乳類飲用(利用)の頻度別

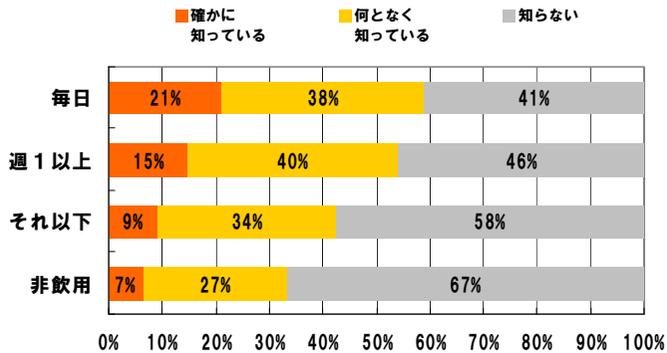
**A** 骨の状態(骨粗鬆症など)を良くする効果



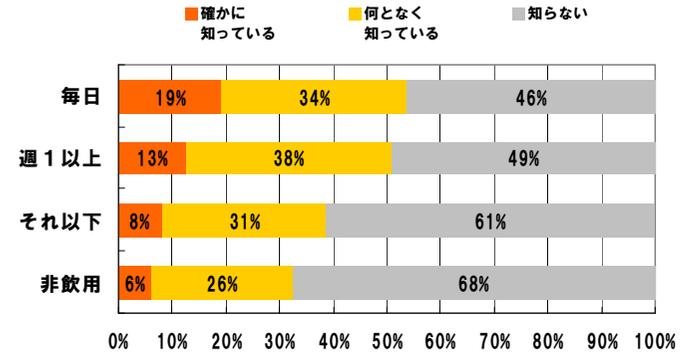
**B** 精神状態(ストレス)や睡眠の質を良くする効果



**C** 生活習慣病(高血圧やメタボなど)を予防・改善する効果



**D** 病気(インフルエンザや風邪など)を予防する効果

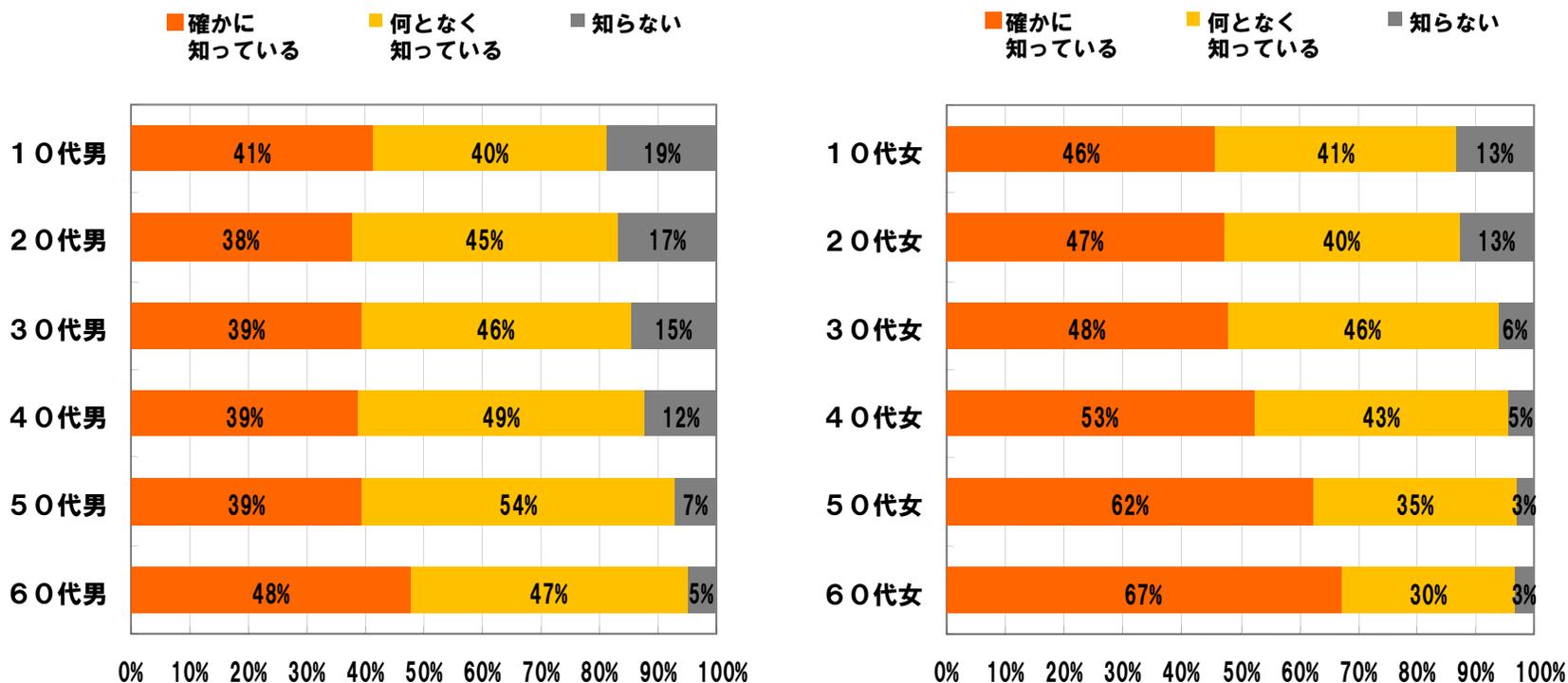


毎日N=2957/週1以上N= 3439/それ以下N= 1985/非飲用N= 1619

**牛乳を多く飲んでいる人ほど  
牛乳の4大重点訴求機能の認知がどれも高い。  
特にAを知らないという人はすでに少ない。**

## 性年代別／牛乳の「A. 骨の状態（骨粗鬆症など）を良くする効果」認知

あなたご自身は、牛乳について「骨の状態（骨粗鬆症など）を良くする効果」があることを、どれくらいご存知でしたか。



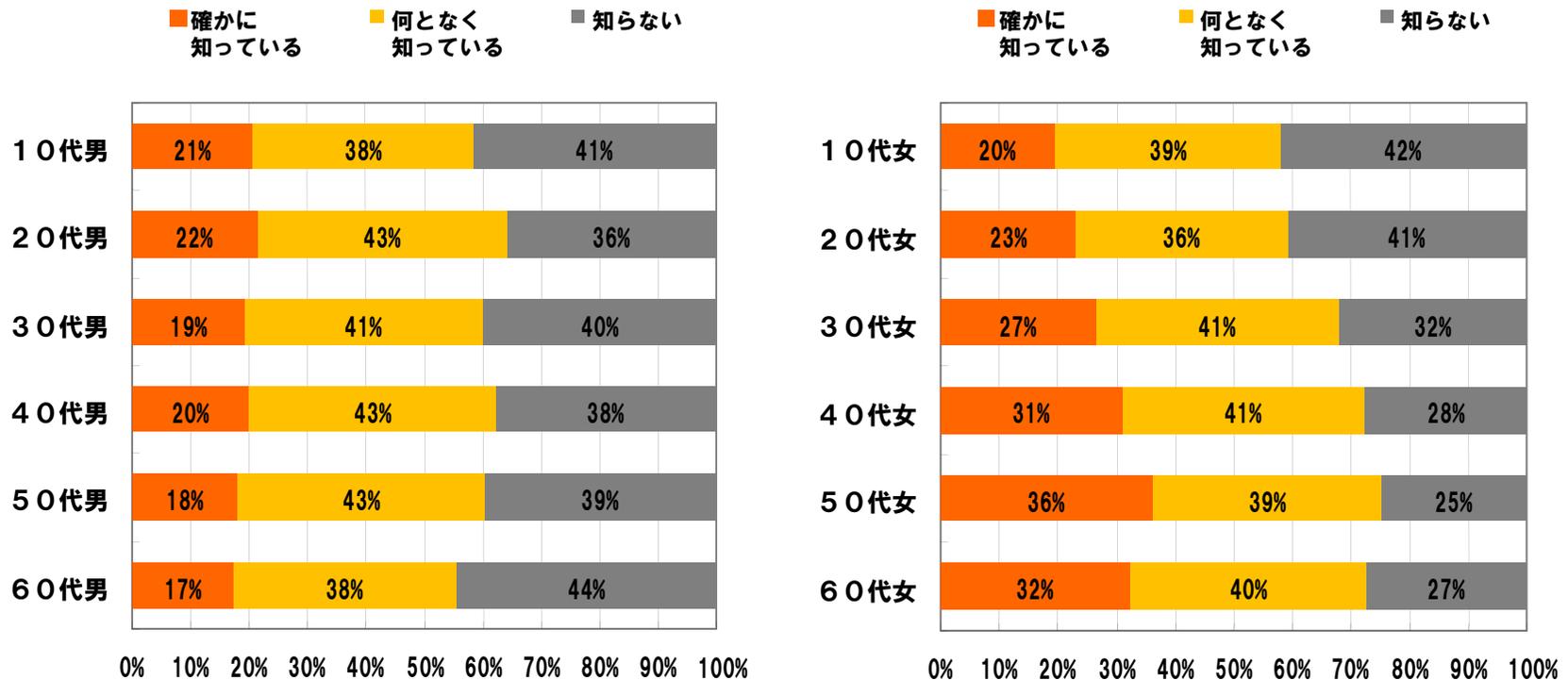
10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**牛乳の「骨の状態（骨粗鬆症など）を良くする効果」に関する認知は、すでにどの年代においてもすでに高く「知らない」というひとは極めて少ない。**

**そのうち女性については、40代以降で年齢が高くなるほど「確かに知っている」という人の割合が明らかに高くなる。**

## 性年代別／牛乳の「B. 精神状態（ストレス）や睡眠の質を良くする効果」認知

あなたご自身は、牛乳について「牛乳には精神状態（ストレス）や睡眠の質を良くする効果」があることを、どれくらいご存知でしたか。

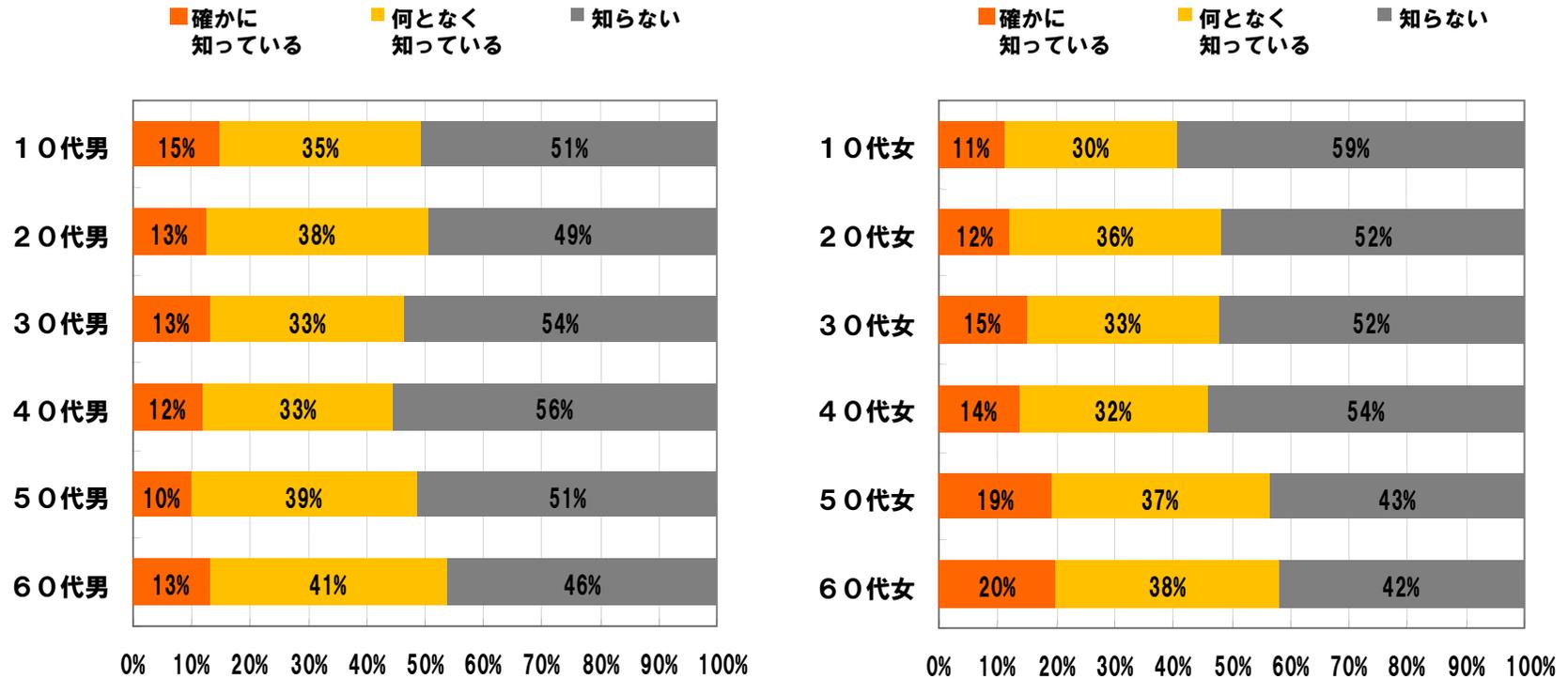


10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**牛乳の「精神状態（ストレス）や睡眠の質を良くする効果」に関する認知は、30代以降になると、男性よりも女性が明らかに高くなる。**

# 性年代別／牛乳の「C. 生活習慣病（高血圧やメタボなど）を予防・改善する効果」認知

あなたご自身は、牛乳について「生活習慣病（高血圧やメタボなど）を予防・改善する効果」があることを、どれくらいご存知でしたか。

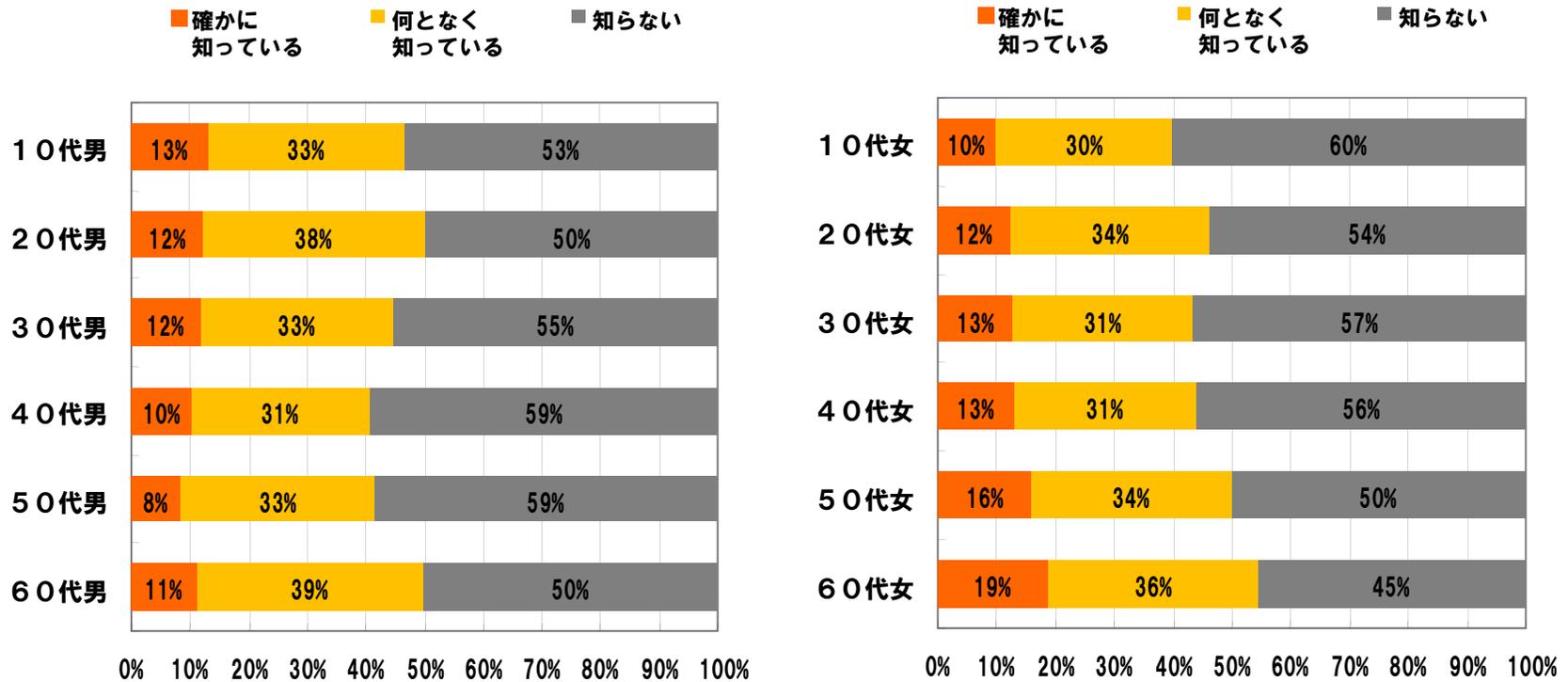


10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**牛乳の「生活習慣病（高血圧やメタボなど）を予防・改善する効果」に関する認知は、女性の50代60代において、特徴的に高い。**

# 性年代別／牛乳の「D. 病気（インフルエンザや風邪など）を予防する効果」認知

あなたご自身は、牛乳について「病気（インフルエンザや風邪など）を予防する効果」があることを、どれくらいご存知でしたか。



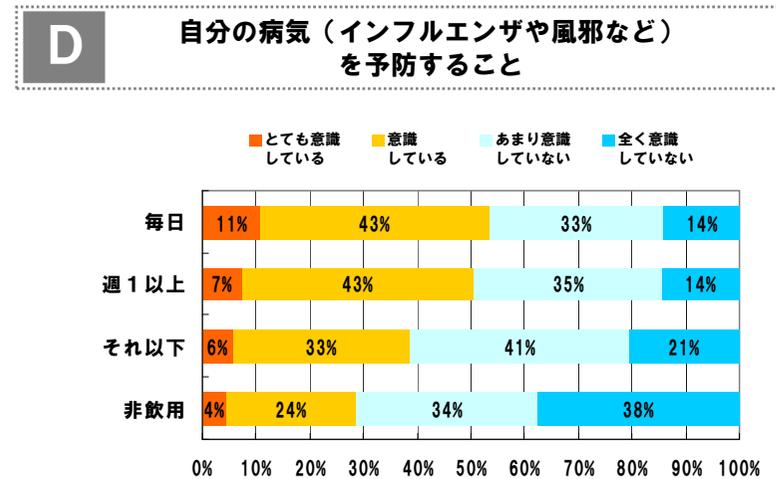
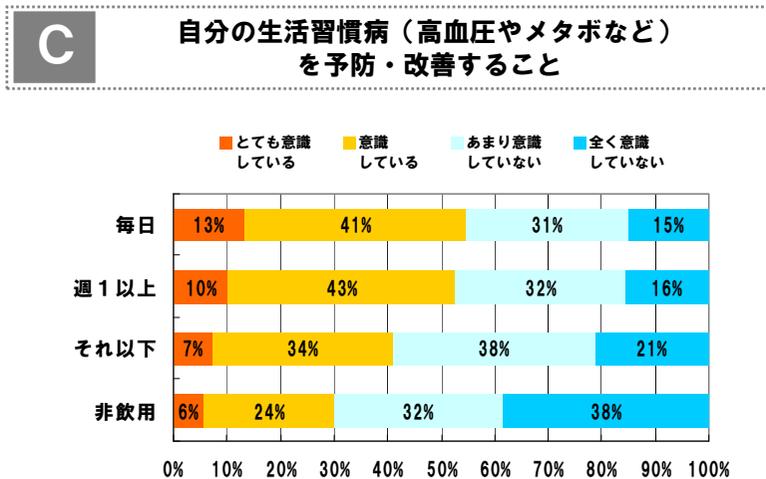
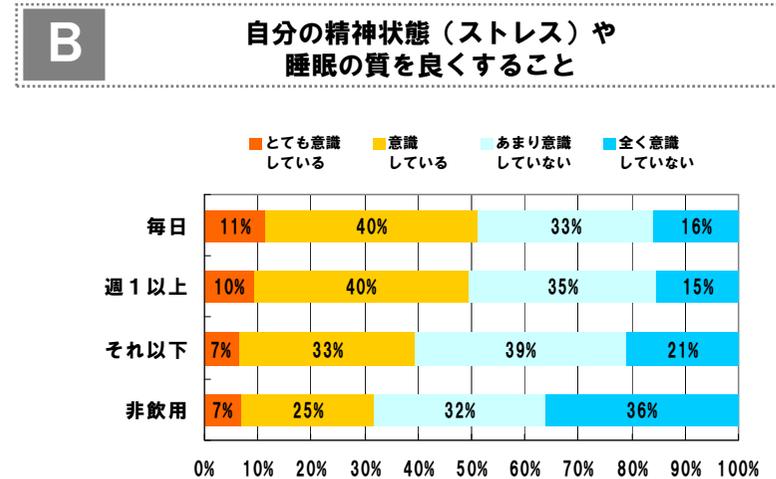
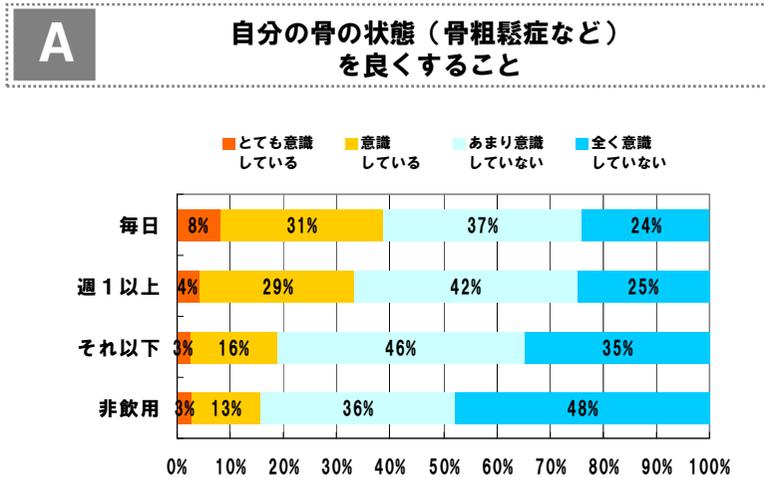
10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**牛乳の「病気（インフルエンザや風邪など）を予防する効果」に関する認知は、  
 男性においては、20代と60代で高くなっている。  
 女性においては、50代と60代で特に高くなっている。**

# 自分が牛乳類を飲む(利用する)頻度と、健康に関する取り組み意識

普段のあなたは、ご自分について、以下にあげた「4つの取組」を、どれくらい意識していますか

牛乳類飲用(利用)の頻度別

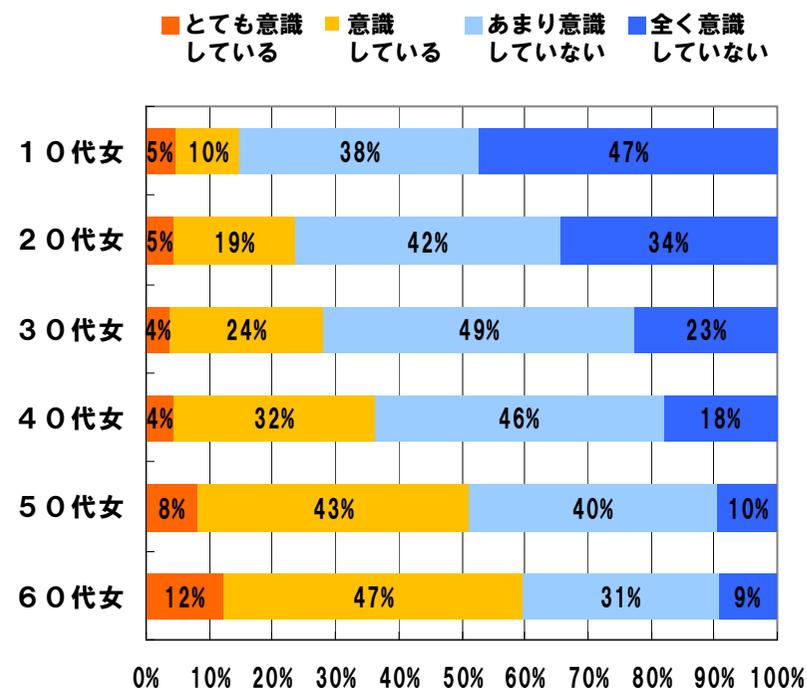
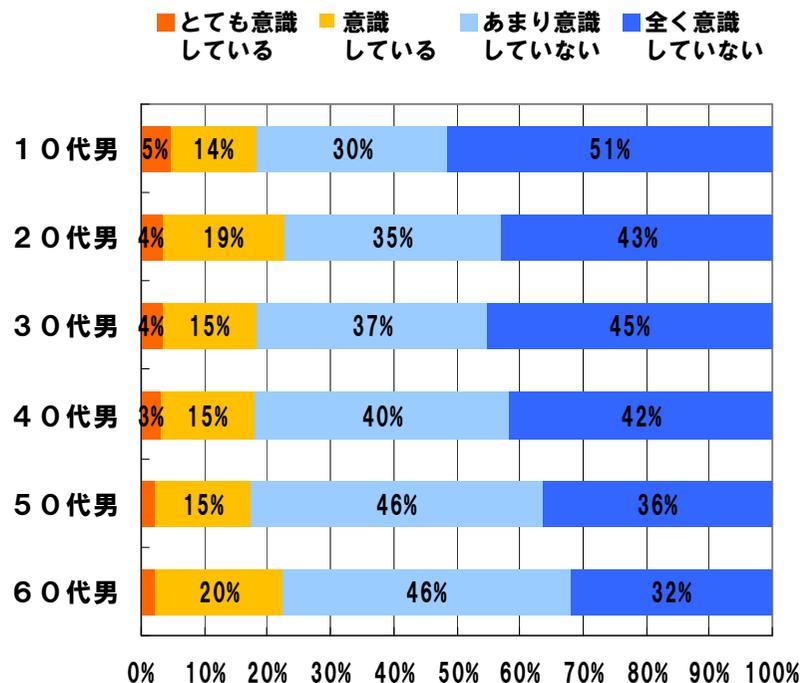


毎日N=2957/週1以上N= 3439/それ以下N= 1985/非飲用N= 1619

**牛乳を多く飲んでいる人ほど  
4大重点訴求機能に直結する、自分の健康に関する取り組み意識がどれも強い。  
ただし、Aは他と比べて取り組む意識が弱い。**

## 性年代別／自分の「A. 骨の状態（骨粗鬆症など）を良くする」意識

普段のあなたは、ご自分について、「骨の状態（骨粗鬆症など）を良くすること」を、どれくらい意識していますか。

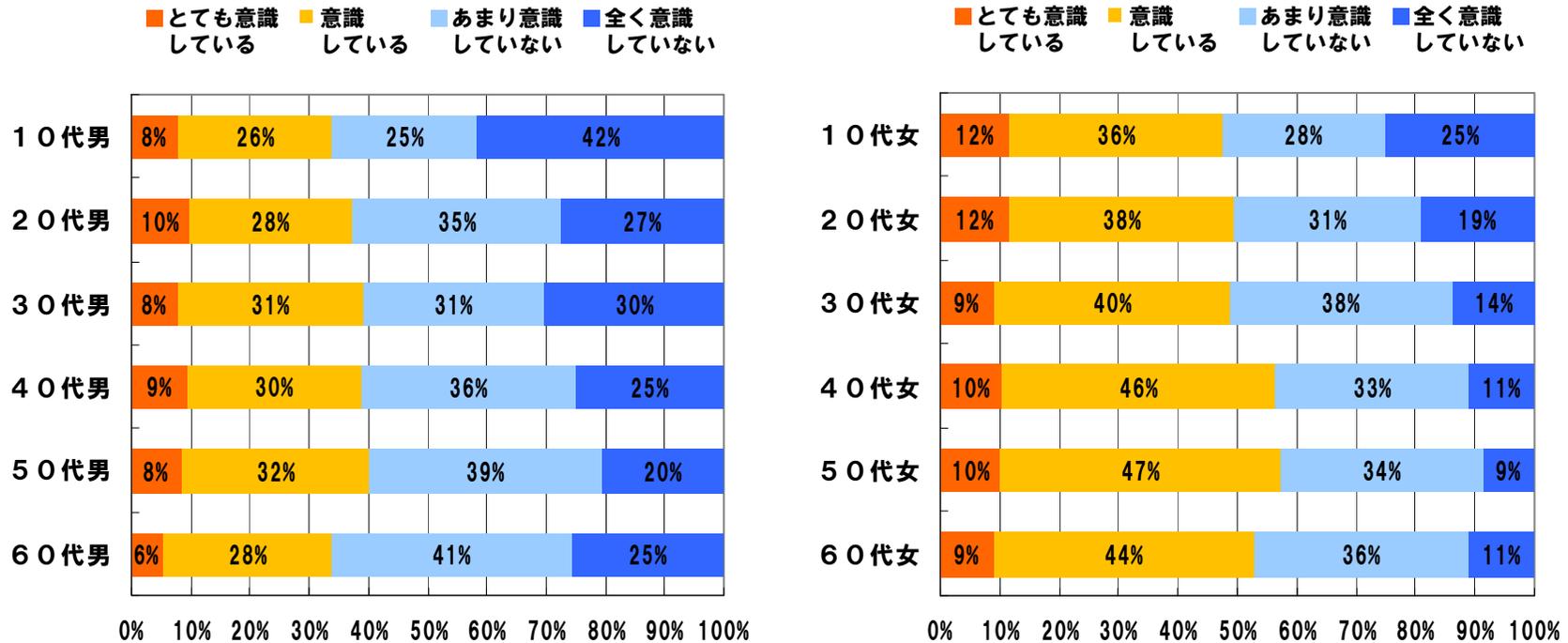


10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**「骨の状態（骨粗鬆症など）を良くする」という取り組みの意識は、  
 女性においては、年齢が高い層において明確に強い。  
 男性においては、年齢による変化傾向が見られない。**

# 性年代別／自分の「B. 精神状態（ストレス）や睡眠の質を良くする」意識

普段のあなたは、ご自分について、「精神状態（ストレス）や睡眠の質を良くすること」を、どれくらい意識していますか。

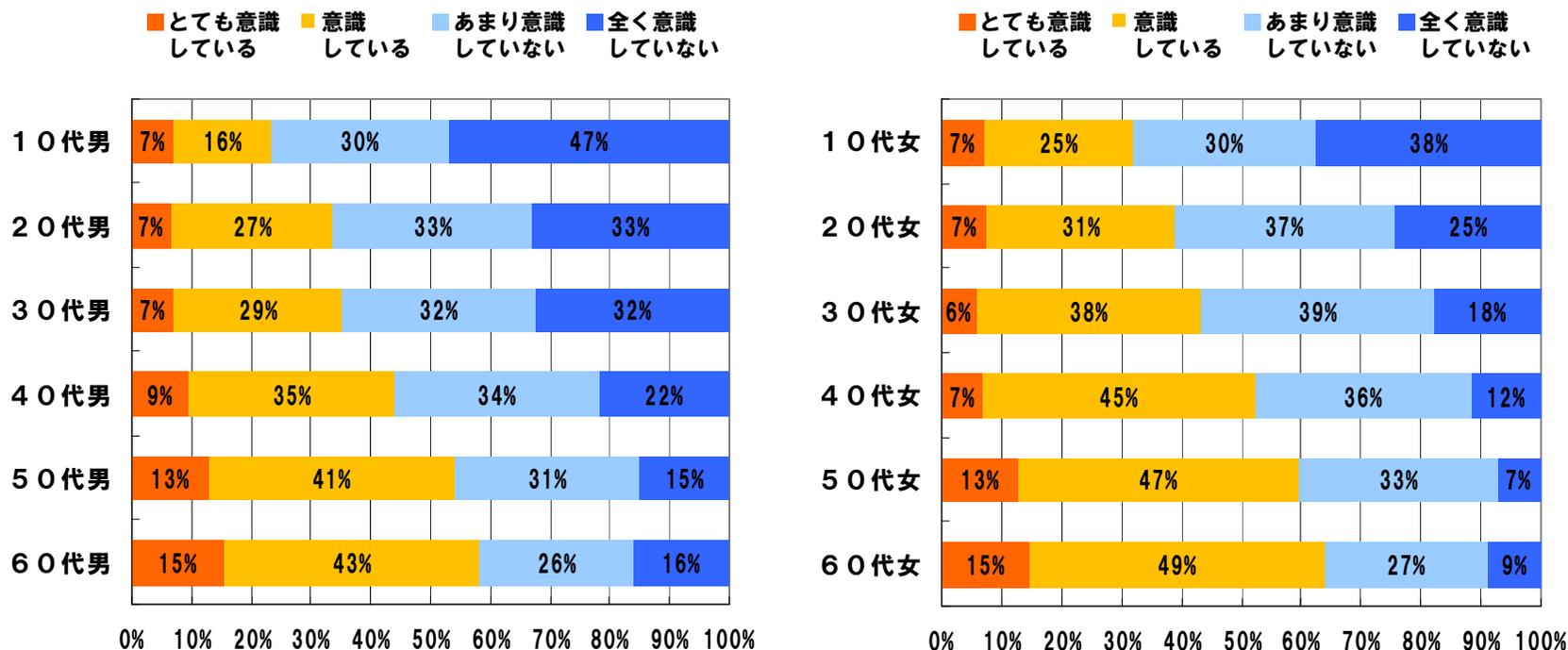


10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**「精神状態（ストレス）や睡眠の質を良くする」という取り組みの意識は、男性よりも女性のほうが強い。  
 男女ともに、年齢による明らかな差は見られない。**

## 性年代別／自分の「C. 生活習慣病(高血圧やメタボなど)を予防・改善する」意識

普段のあなたは、ご自分について、「生活習慣病(高血圧やメタボなど)を予防・改善すること」を、どれくらい意識していますか。

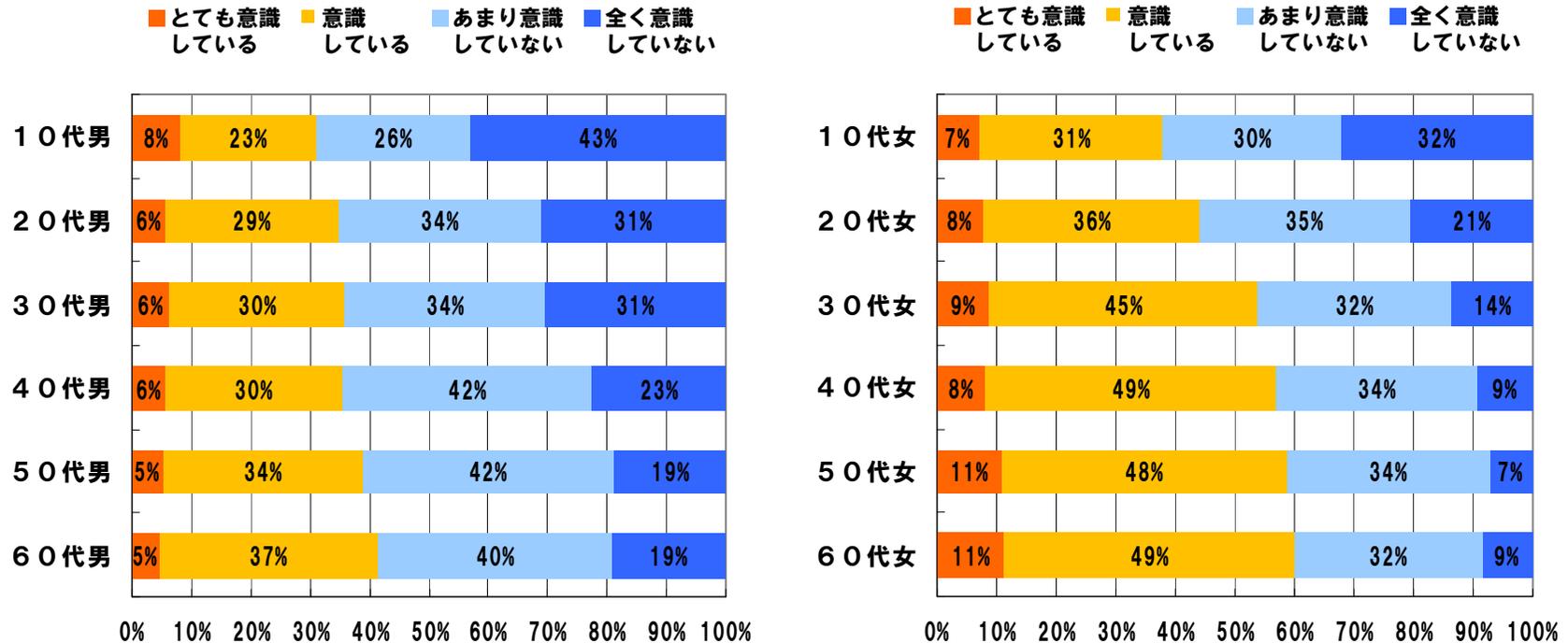


10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**「生活習慣病（高血圧やメタボなど）を予防・改善する」という取り組みの意識は、男性よりも女性の方がやや強い。男女ともに、年齢が高くなるほど明確に強くなっている。**

## 性年代別／自分の「D. 病気(インフルエンザや風邪など)を予防する」意識

普段のあなたは、ご自分について、「病気(インフルエンザや風邪など)を予防すること」を、どれくらい意識していますか。



10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**「病気（インフルエンザや風邪など）を予防する」という取り組みの意識は、  
 男性よりも女性の方が強い。  
 特に女性は、年齢が高くなるほどゆるやかに強くなる。**

10

「3－18歳の子を持つ母親」における牛乳の「4大重点訴求機能」  
への認知状況と健康意識とその変化

**母親の4大重点訴求機能認知は、前年よりもやや高まっている。  
(いずれも、母親の牛乳関与と強く関係している。)**

<b>A</b>	骨の状態（骨粗鬆症など） を良くする効果	<b>B</b>	精神状態（ストレス）や 睡眠の質を良くする効果
<b>C</b>	生活習慣病（高血圧やメタボなど） を予防・改善する効果	<b>D</b>	病気（インフルエンザや風邪など） を予防する効果
<b>A*</b>	子供／家族の骨の状態（骨粗鬆症など） を良くすること	<b>B*</b>	子供／家族の精神状態（ストレス）や 睡眠の質を良くすること
<b>C*</b>	子供／家族の生活習慣病（高血圧やメタボなど） を予防・改善すること	<b>D*</b>	子供／家族の病気（インフルエンザや風邪など） を予防すること

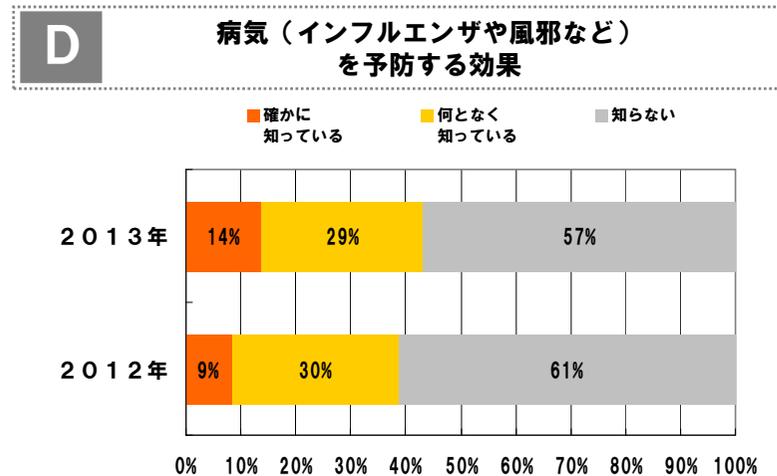
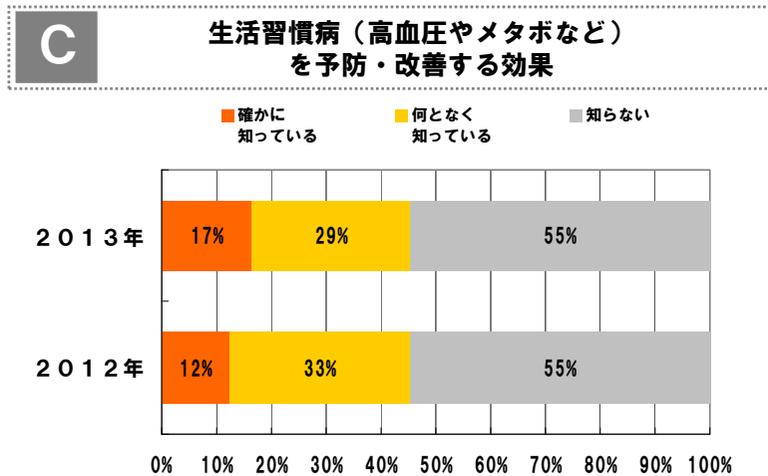
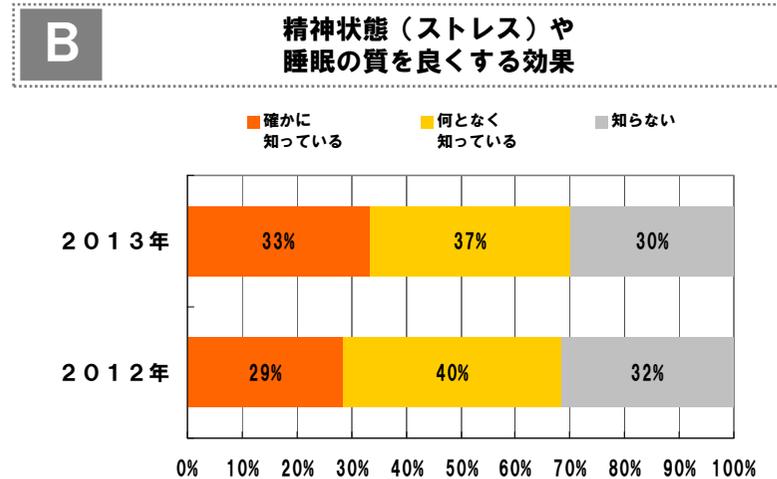
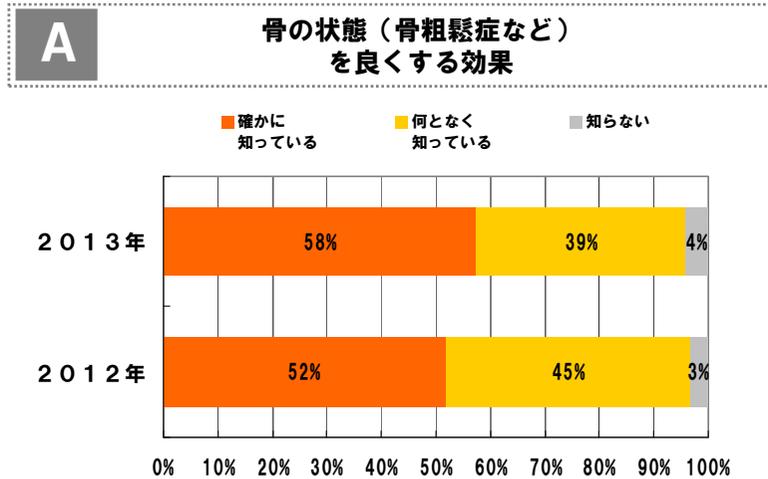
- 母親における、牛乳の4大重点訴求機能(上記A～D)認知は、前年よりもやや高まっている。《→P. 84》
- 母親における、牛乳の4大重点訴求機能(上記A～D)認知は、いずれも「子供に牛乳を多く飲んでもらいたい」気持ちと強く関係している。《→P. 85》
- 牛乳の4大重点訴求機能のニーズ意識に直結する子供／家族に関する健康意識(上記A\*～D\*)の強さは、いずれも牛乳の飲用頻度と強く関係している。《→P. 86》

**重点訴求機能Aについては、母親の骨に関するニーズ強化が課題。  
その他の重点訴求機能(BCD)については、母親の機能認知強化が課題。**

- 現状、母親のA(骨の状態を良くする効果)の機能認知はすでに十分に高く、そのことを知らないという母親はほとんどいない。その一方で、A\*(子供／家族の骨の状態を良くすること)の健康意識は、母親においても、まだ十分に強くない。よって今後は、A\*の意識を強め、牛乳の持つA(骨の状態を良くする効果)への母親のニーズを高めることが求められる。《→P. 85、86》
- 現状、4大重点訴求機能B、C、D(ストレス・睡眠、生活習慣病、病気への効果)へのニーズに直結するB\*、C\*、D\*の意識は、どれもA\*(子供／家族の骨の状態を良くすること)よりも強い。ただし4大訴求機能B、C、Dの認知はAと比較して低く、健康意識の強さを、牛乳需要に結びつけることが出来ていない。よって今後B、C、Dについては、やはり重点訴求機能B、C、Dの認知そのものを高めることが求められる。《→P. 71、76》

# 母親における、牛乳の「4大重点訴求機能」認知

あなたご自身は、牛乳について、以下の「4つの特徴」があることを、どれくらいご存知でしたか。



N=600

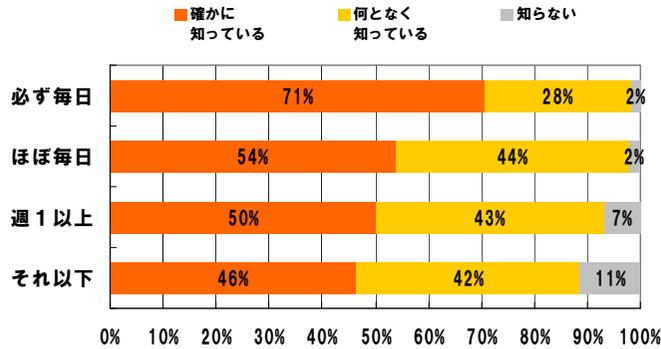
**「Jミルクの生活者ターゲットである「3～18歳の子を持つ母親」において、牛乳の4大重点訴求機能の認知は、前年に比べてやや高まっている。（前述の生活者一般には、このような認知の高まりは確認されない。）**

# 母親が子供に希望する牛乳飲用頻度と、牛乳の「4大重点訴求機能」認知

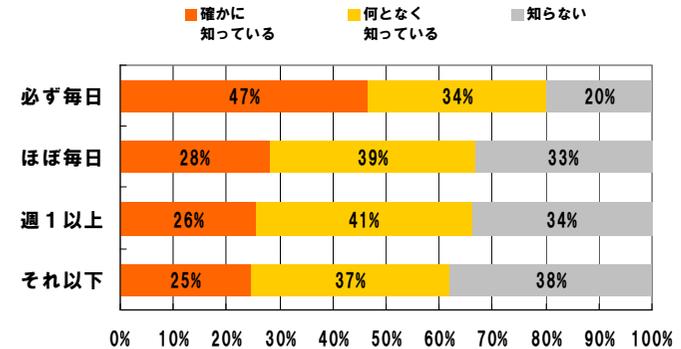
あなたご自身は、牛乳について、以下の「4つの特徴」があることを、どれくらいご存知でしたか。

子供に希望する牛乳飲用頻度別

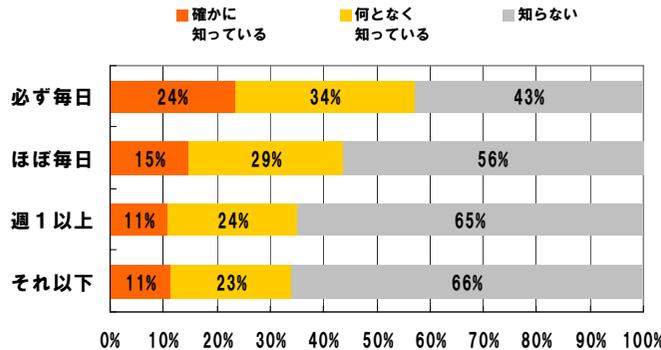
**A** 骨の状態（骨粗鬆症など）を良くする効果



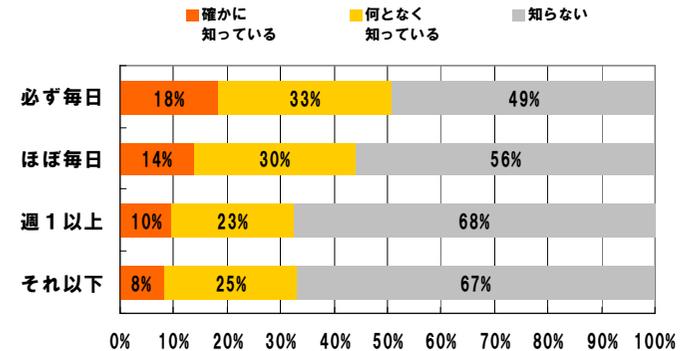
**B** 精神状態（ストレス）や睡眠の質を良くする効果



**C** 生活習慣病（高血圧やメタボなど）を予防・改善する効果



**D** 病気（インフルエンザや風邪など）を予防する効果



必ず毎日N=191／ほぼ毎日N= 238／週1以上N=74／それ以下N=97

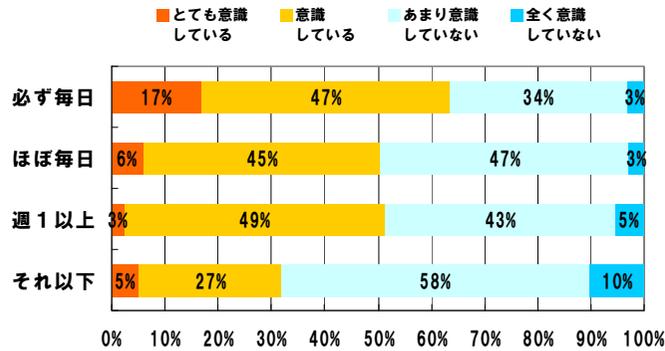
**「3-18歳の子を持つ母親」の中で、  
子供により多く牛乳を飲んでもらいたいと思う人は、そうでない人に比べて  
牛乳の4大重点訴求機能の認知が何れも高くなっている。**

# 母親が子供に希望する牛乳飲用頻度と、子供／家族に関する健康意識

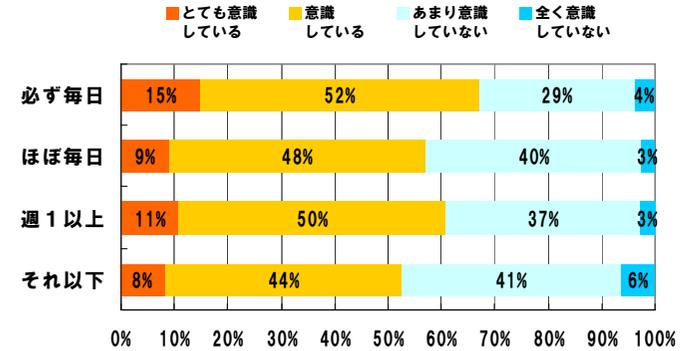
最近のあなたは、お子様やご家族について、以下にあげた「4つの取組」をどれくらい意識していますか

子供に希望する牛乳飲用頻度別

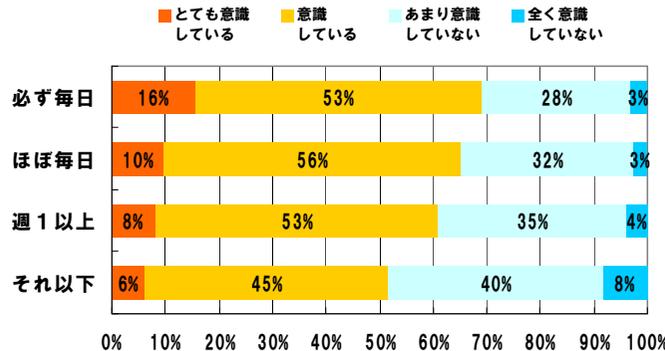
**A** 子供／家族の骨の状態（骨粗鬆症など）を良くすること



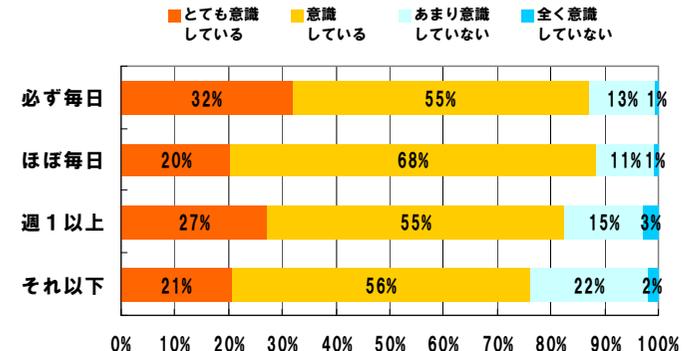
**B** 子供／家族の精神状態（ストレス）や睡眠の質を良くすること



**C** 子供／家族の生活習慣病（高血圧やメタボなど）を予防・改善すること



**D** 子供／家族の病気（インフルエンザや風邪など）を予防すること



N=600

**「3-18歳の子を持つ母親」の中で、  
子供により多く牛乳を飲んでもらいたいと思う母親は、そうでない母親に比べて  
牛乳の4大重点訴求機能に直結する、子供(家族)の健康に取り組む意識がどれも強い。**

11

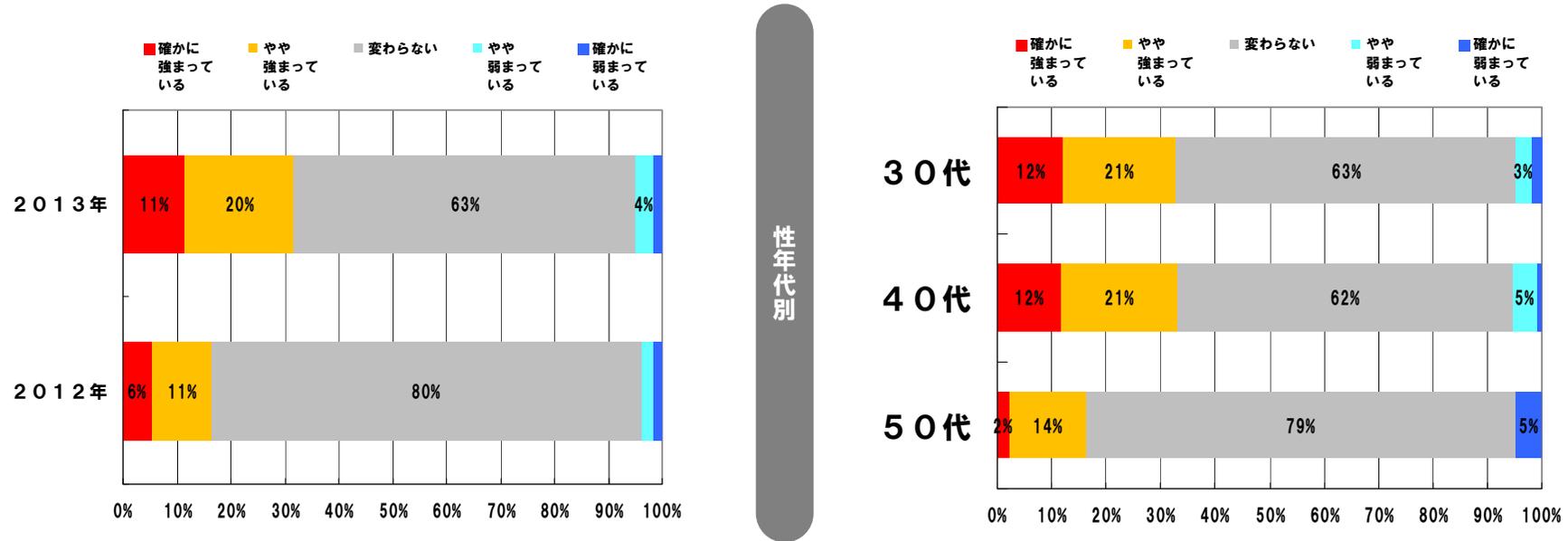
**「3－18歳の子を持つ母親」における  
子供に牛乳を飲ませたいと思う気持ちの変化理由**

子供に牛乳を飲ませたい気持ちが「強まっている」と答える母親は、  
昨年よりも明らかに増えている。

- 現状、母親が子供に牛乳を飲んで欲しいと思う気持ちが「いま強まっている」と答える母親は、前年よりも明らかに増えている。また、「いま強まっている」と答える母親は30代と40代に多くなっている。《→P. 89》
- 母親の子供に牛乳を飲んで欲しいと思う気持ちが強まっている理由トップ3は、1. カルシウム、2. 骨を丈夫にしたい、3. 健康になって欲しい、となっている。また、最大の理由のトップは「身長が伸びて欲しい」であることから、現状においては子供の成長期が、その直接的な契機であると考えられる。《→P. 90》

## 母親が子供に牛乳を飲ませたい気持ちの変化

最近のあなたが、「牛乳」を自分のお子様に飲んでもらいたいと思う気持ちは、以前に比べて強まったり弱まったりしていますか。



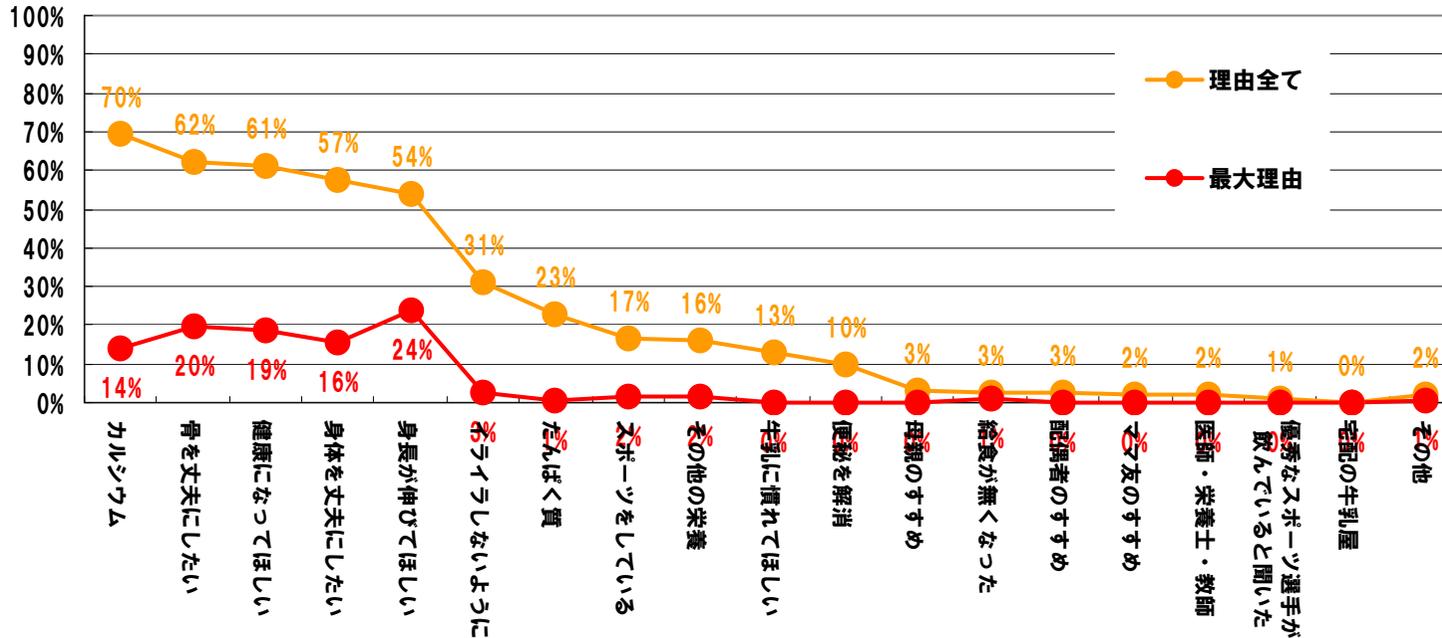
N=600

30代N=272/40代N=285/50代N=43

**Jミルクの生活者ターゲットである「3～18歳の子を持つ母親」において、  
子供に牛乳を飲ませたいと思う気持ちは、強まる傾向にあり、  
その傾向は前年よりもさらに強まっている。**

## 母親が子供に牛乳を飲ませたい気持ち／強まっている理由

あなたの、「牛乳」を自分のお子様に飲んでもらいたいと思う気持ちが、以前に比べて強まっているのはどんな理由や事情からですか。

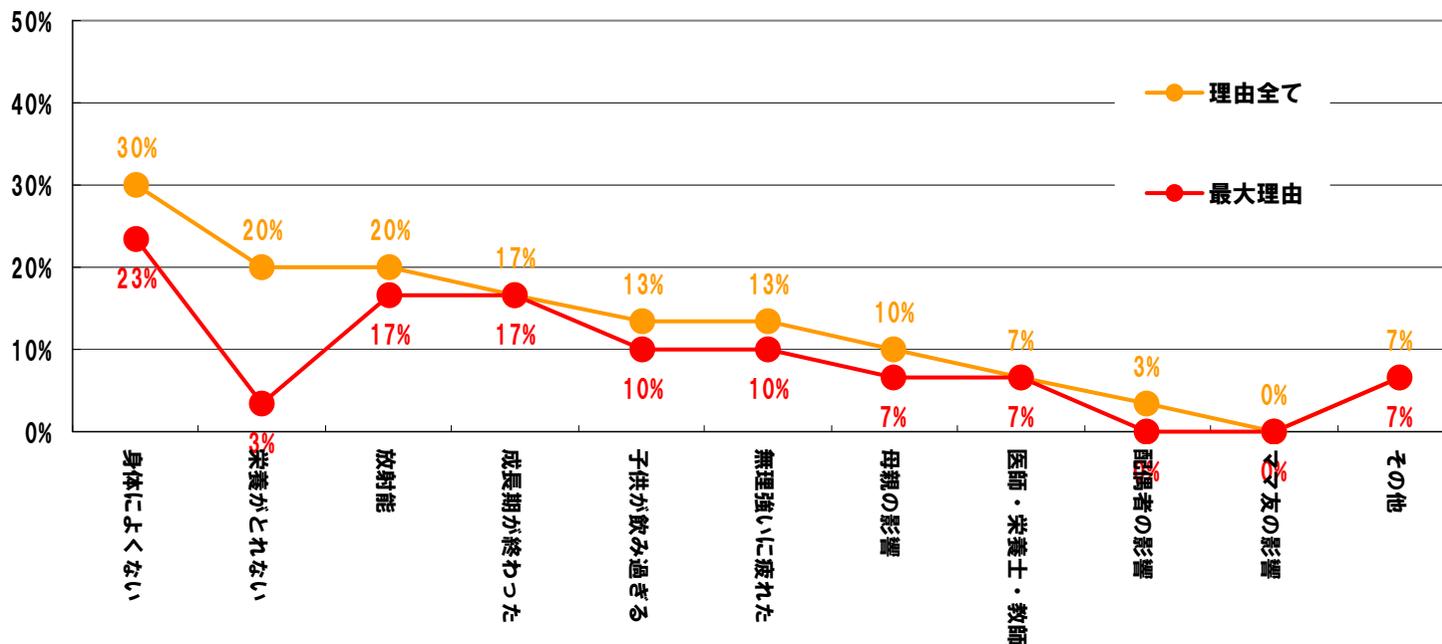


N = 190

「3-18歳の子を持つ母親」において、  
 子供に牛乳を飲ませたいと思う気持ちが強まった理由のトップ3は、  
 1. カルシウム摂取意識、2. 骨を丈夫にしたい、3. 健康になって欲しい  
 ただし、最大の理由選択においては、「身長が伸びて欲しい」がトップ。

## 母親が子供に牛乳を飲ませたい気持ち／弱まっている理由

あなたの、「牛乳」を自分のお子様に飲んでもらいたいと思う気持ちが、以前に比べて弱まっているのはどんな理由や事情からですか。



N=30

「3-18歳の子を持つ母親」において、  
 子供に牛乳を飲ませたいと思う気持ちが弱まった理由のトップ3は、  
 1. 身体によくない、2. (実は)栄養が取れない、3. 放射能への懸念

12

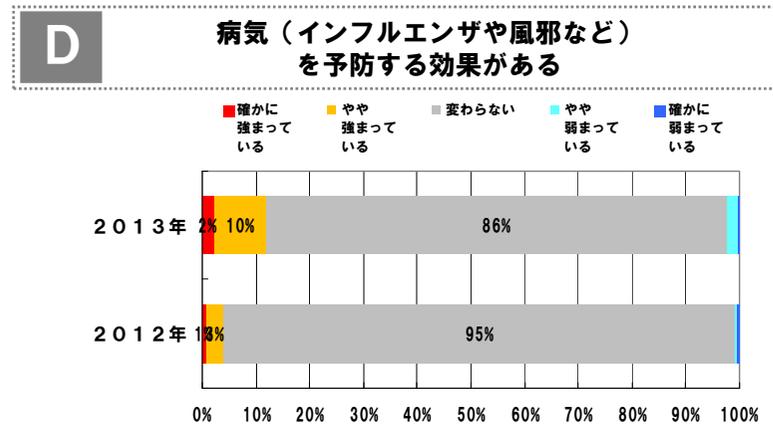
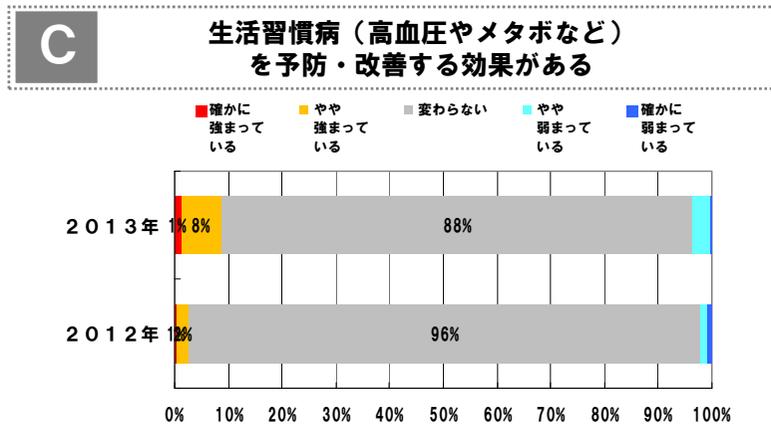
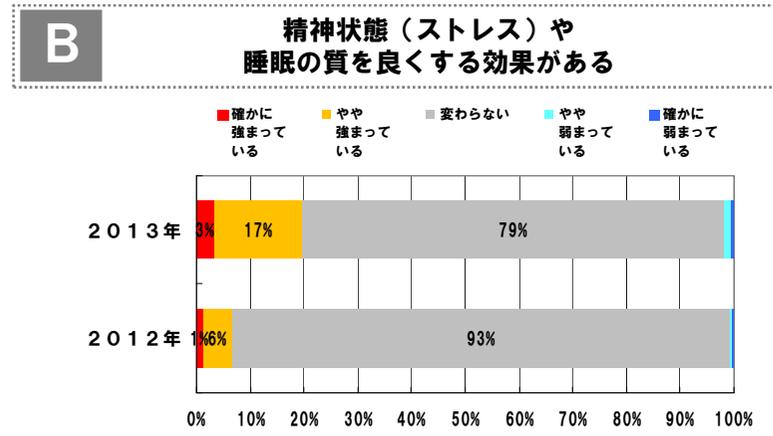
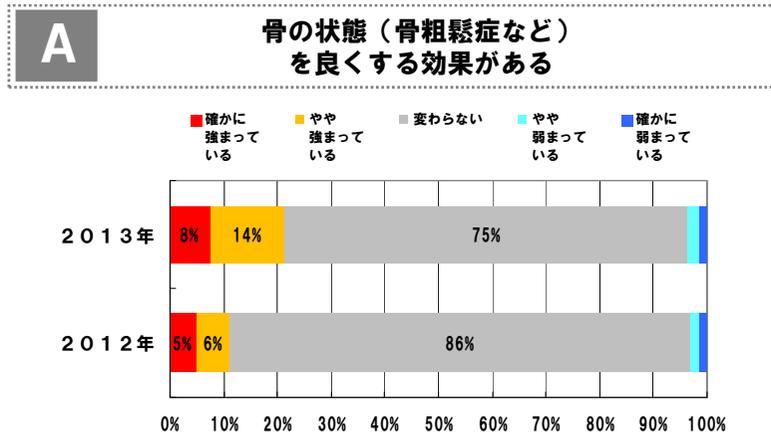
「3-18歳の子を持つ母親」における  
牛乳の「4大重点訴求機能」認知状況とその変化

**4大重点訴求機能への認知が「強まっている」と答えた母親が、前年よりも明らかに増えている(「学校の先生や栄養士」が強く影響)。**

- 現状、牛乳の4大重点訴求機能ABCDの認知が「いま高まっている」と答えた母親は、ABCDすべての機能において、前年よりも明らかに増えている。《→P. 94》
- 子供に牛乳を飲んで欲しいと思う気持ちが高まっている母親は、そうでない母親に比べて、牛乳の4大重点訴求機能ABCDすべての認知が明確に強まっている。《→P. 95》
- 牛乳の4大重点訴求機能の認知が強化された母親に対するインフルエンサーの影響をみると、「C 生活習慣病の予防・改善」効果の認知強化において「医者」が最も影響を与えている他は、「学校の先生や栄養士」による影響が最も強い。また、すべてにおいて「ママ友や主婦仲間」の影響も強い。《→P. 96》
- 母親は、子供の学校からの配布プリント(給食便り、保健便りなど)や、学校での催し(給食参観や給食試食会に伴う勉強会など)を通じて「学校の先生や栄養士」から影響を受けている。《→P. 97-99》

# 母親の牛乳の4大重点訴求機能認知の変化意識

最近のあなたは、牛乳にあるとされる「〇〇〇」というイメージや認知が以前に比べて、強まったり弱まったりしていますか。



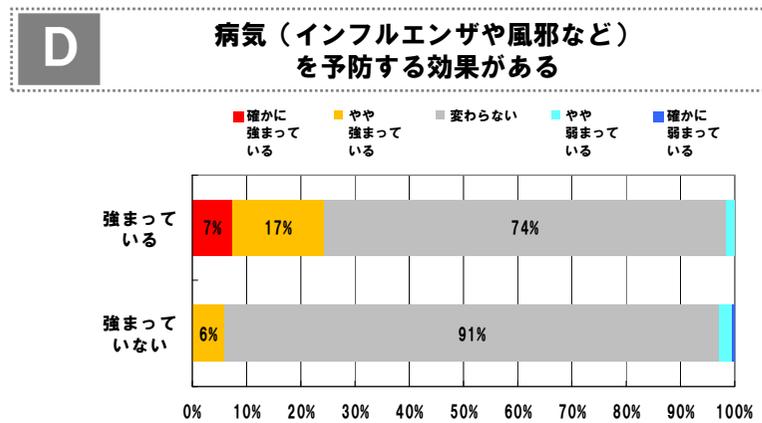
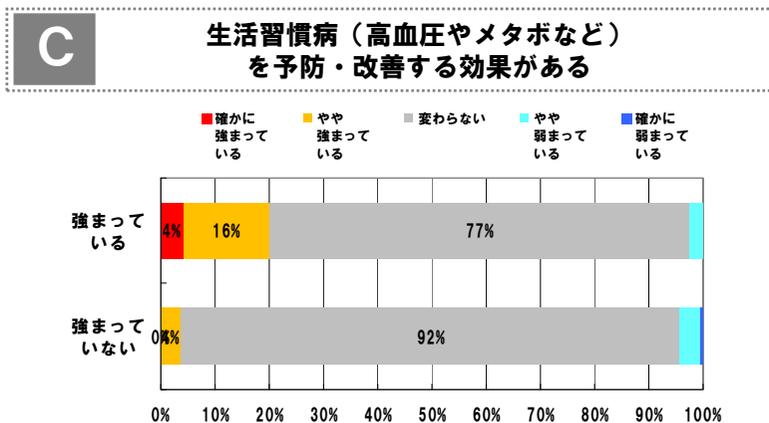
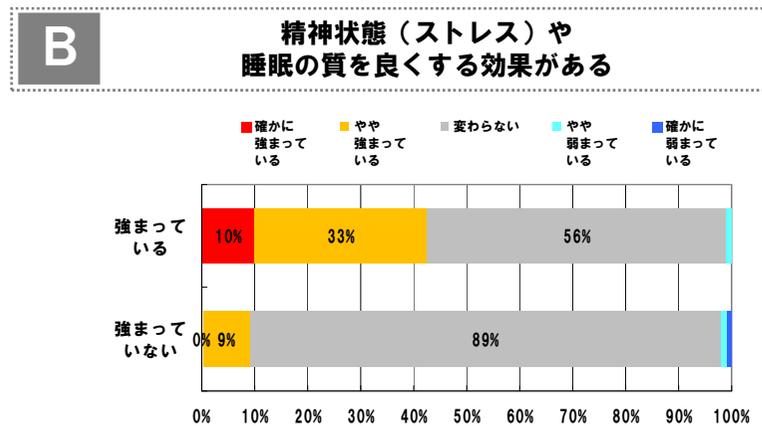
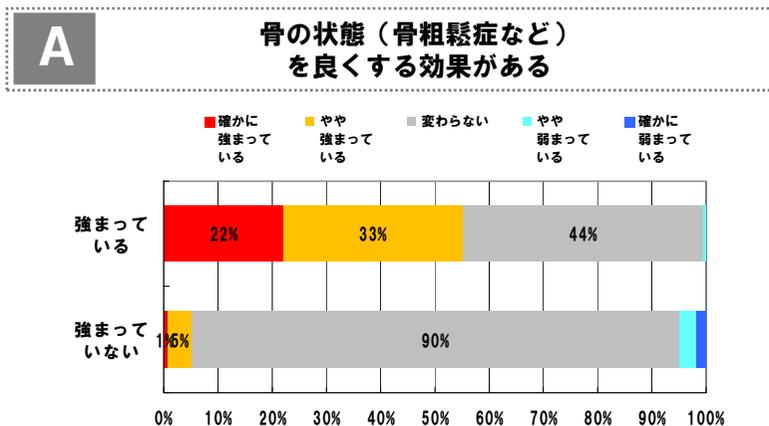
N=600

**Jミルクの生活者ターゲットである「3～18歳の子を持つ母親」における牛乳の4大重点訴求機能への認知状況は、前年よりもより明らかに高くなっている。**

# 母親の牛乳の4大重点訴求機能認知の変化意識

最近のあなたは、牛乳にあるとされる「〇〇〇」というイメージや認識が以前に比べて、強まったり弱まったりしていますか。

子供に牛乳を飲んで欲しい気持ちの変化別



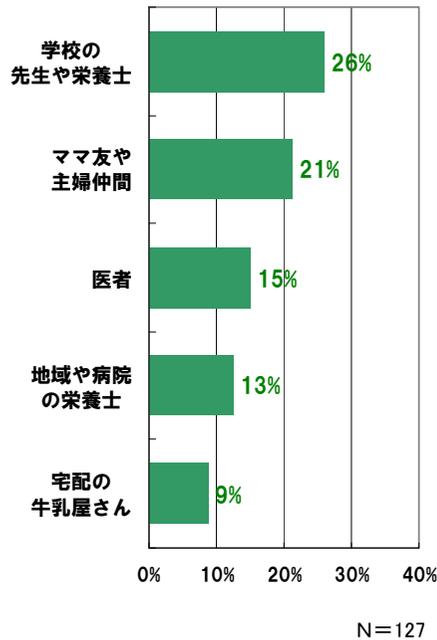
強まっているN=190／強まっていないN=410

**「3～18歳の子を持つ母親」の中で、  
子供に牛乳を飲んでもらいたいと思う気持ちが強まっている母親は、そうでない母親に比べ、  
牛乳の4大重点訴求機能への認知がどれも高まっている(中でもAが目立つ)。**

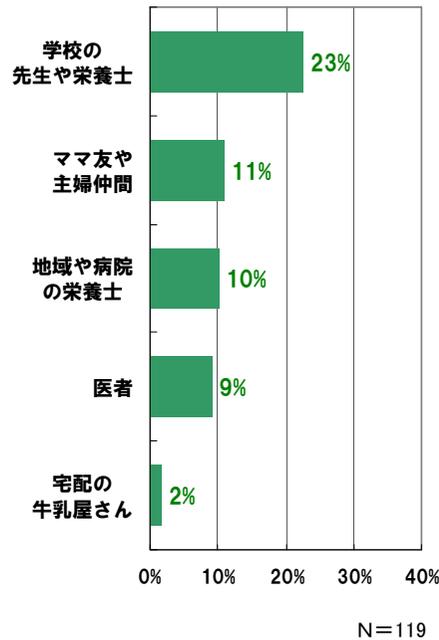
## 母親の牛乳の4大重点訴求機能認知／高まっている理由

最近、あなたの牛乳に関する、「〇〇〇〇」というイメージや認識が、以前に比べて強まったのは、どんな理由からですか。

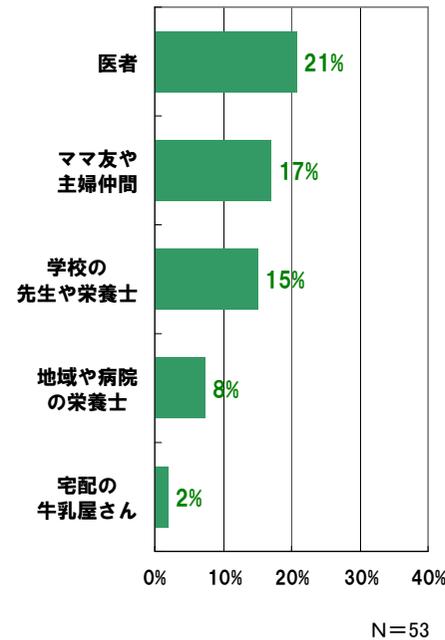
### A 骨の状態を良くする



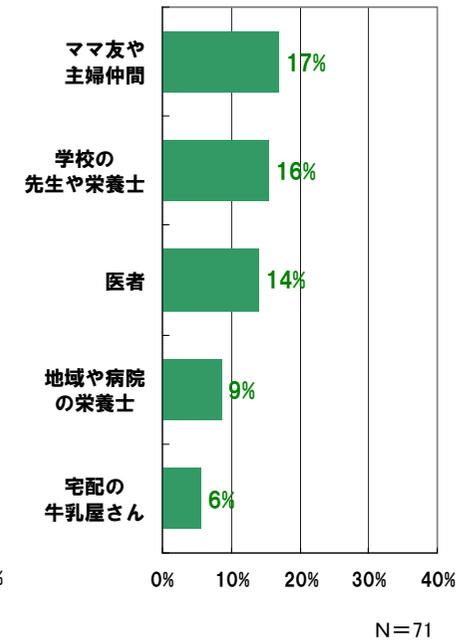
### B 精神状態や睡眠の質を良くする



### C 生活習慣病を予防・改善する



### D 病気を予防する



牛乳の4大重点訴求機能の認知が高まった「3～18歳の子を持つ母親」において、

インフルエンサーからの影響をみると、

「生活習慣病の予防・改善」効果の認識強化で「医者」の影響が最も強く、他の3つについては、「学校の先生や栄養士」による影響が最も強い。

また、すべてにおいて「ママ友や主婦仲間」の影響が強い。

## A. 骨の状態(骨粗鬆症など)を良くする効果 / 学校の先生や栄養士

30代	その他	保健日より書いてあるし、こどもが反抗期で大変だから
30代	会社員公務員	以前から知っていたけれど、専門家の話を聞くと余計に意識が強まります
30代	専業主婦	学校の授業で栄養士さんが話したので
30代	パートバイト	学校の給食だよりに書いてあってこれから毎日飲んだ方がいいかなという気持ちになった。私自身が思春期の頃にダイエットを繰り返していて骨が丈夫でないと思うので年齢と共に心配になったから取り入れていきたいと思っている。
30代	専業主婦	学校の給食参観のときに栄養士の先生が話していたことから。
40代	会社員公務員	給食試食会時に管理栄養士さんから話を聞いた
40代	専業主婦	学校から配布されるプリントに牛乳をとる必要性など書かれていたので
40代	専業主婦	給食の説明会で話をきいたので。
40代	専業主婦	毎月、学校から保健便り、給食便りなどの配布物があり、それらによって見たから
40代	専業主婦	給食のお便りに書いてあった
40代	専業主婦	ほけんだよりで、牛乳の効果について書いていたから。
40代	パートバイト	学校からのお知らせで牛乳にはいろいろな効果があることを知りうちに必要だと思った
50代	その他	学校の保健講座で、講師から説明された。

## A. 骨の状態(骨粗鬆症など)を良くする効果 / ママ友や主婦仲間

30代	専業主婦	毎日薬代わりに一杯の牛乳をのむことが大事と聞いた
30代	パートバイト	やっぱり牛乳は体にいいよねと話したから
30代	会社員公務員	牛乳を睡眠前に摂ると朝飲みたくないという子供も砂糖を入れてホットで飲みやすくよく眠れる。カルシウムが取りやすい方法。
30代	専業主婦	成長が早いのは牛乳を飲んでるからだよと言われて、骨の状態がいいんだと思った
30代	専業主婦	お年寄りの骨粗鬆が増えていくと聞いた。
40代	会社員公務員	飲みやすい牛乳の話やカルシウムをどうやって補っているかという話になり、情報交換をしあった。
40代	専業主婦	牛乳をよく飲む子は背が伸びるという話を聞いた
40代	専業主婦	骨の状態を良くするには、牛乳や小魚などを良く食べ併せてウォーキングなどして陽にも当たり健康維持をすると良い。納得。牛乳を飲んでからウォーキングに出るようになった。
40代	専業主婦	みんな飲んでいるから
40代	商工サービス自営	女性は出産すると将来骨粗鬆症になるので今から牛乳を飲んでいると聞いた。
50代	専業主婦	テレビでとりあげられたとき話題になる

## A. 骨の状態(骨粗鬆症など)を良くする効果 / 医者

30代	専業主婦	健康診断で骨密度を測定したら、若干数値が低く、牛乳をすすめられた
30代	専業主婦	骨密度がさがってきているのでカルシウムをとってといわれたので
30代	専業主婦	毎日たくさんではなくこつこつと飲んだらいいと聞きました。
30代	パートバイト	別の診断に訪れた時にそのような話が出た
30代	その他	骨折や捻挫したりしたから
40代	専業主婦	健康な人であれば食品から取ることが好ましく牛乳は飲み過ぎなければとてもバランスの良い食品で栄養成分の吸収率も良いと聞いたからです。
40代	専業主婦	年齢を重ねるごとに健康診断の時など、骨の中がスカスカにならないためにカルシウムを摂るように勧められる。
40代	専業主婦	子供の身長のごとで病院に定期的に通っており、先生から牛乳のカルシウムの重要性を教えてもらった。
40代	専業主婦	牛乳だけでなく色々なものとバランスよく栄養を取ることを話されました。でもまず、牛乳は毎日飲んでも全く差し障りのない飲み物なので、まずは牛乳から始めましょうと言われた記憶があります。
50代	商工サービス自営	カルシウムが大事

## B. 精神状態や睡眠の質を良くする効果 / 学校の先生や栄養士

- |            |  |
|------------|--|
| 30代 専業主婦   | しっかり牛乳を飲んでいることは落ち着きがある   |
| 30代 その他    | 牛乳はお腹にも優しいので、寝る前にホットミルクとして飲んだら心があたたまる  |
| 30代 専業主婦   | 幼稚園の栄養士さんの話を聞いて  |
| 30代 専業主婦   | お手紙にかいてありました。子どもとはいえ、幼稚園にいろいろなお友達と一緒にだとストレスもあるだろうし、健康にはしっかり睡眠をとることが大事だと思うので。 |
| 30代 専業主婦   | 学校の授業や給食の説明の時に話していたので  |
| 30代 パートバイト | 学校での講演会に参加して   |
| 30代 専業主婦   | 給食参観のときに栄養士の先生が話していたから   |
| 40代 会社員公務員 | 食育教育のなかで   |
| 40代 専業主婦   | 子どもの状態が良くなったといわれた  |
| 40代 専業主婦   | 寝る前に飲むと落ち着く  |
| 40代 専業主婦   | 学校で話を聞いてから積極的に牛乳を飲ませる様になった   |
| 40代 パートバイト | 眠れない時はカフェオレがいいと聞いたので試したら、本当に効果があり、イライラした時も飲むと落ち着いたため。                        |
| 40代 パートバイト | 子どもが受験でイラついているからちょうどいいと思った   |

## B. 精神状態や睡眠の質を良くする効果 / ママ友や主婦仲間

- |              |                                  |
|--------------|----------------------------------|
| 30代 インフルエンサー | ホットミルクにすると気分が安らぎ精神状態も安定するとききました  |
| 30代 その他      | 寝つけがよくなった。毎朝直ぐに起きれるようになったときいたから  |
| 30代 パートバイト   | おなじ年齢の子供の反抗期の話の中で                |
| 40代 会社員公務員   | 寝つきの悪い時に牛乳を飲むと、よく眠れると聞いたから       |
| 40代 専業主婦     | カルシウムの摂取量が足りないといライラすると言われていたから   |
| 40代 商工サービス自営 | 精神的にも良いものだと思ったこと                 |
| 50代 会社員公務員   | 成分は違うが、母乳のように牛乳日々飲用していると快適快眠らしい。 |

## B. 精神状態や睡眠の質を良くする効果 / 地域や病院の栄養士

- |            |  |
|------------|--|
| 30代 会社員公務員 | 不眠を訴える患者さんにホットミルクを勧めるという話を聞いて、病気の患者さんだけでなく一般にも有効だと思ったので。 |
| 30代 専業主婦   | 妊婦の栄養指導で聞いたから。   |
| 40代 専業主婦   | 寝る前に牛乳を飲むと良いといわれた  |
| 40代 パートバイト | 自分で牛乳をいろいろな飲み方(温める温度)で試して効果が有るように思えた                     |
| 50代 パートバイト | 栄養指導の中で、更年期のイライラ、子供の成長期のイライラによいことをきいたから                  |
| 50代 その他    | 寝る前に、暖めた牛乳を飲むと心が落ち着くと聞いた。                                |

### C. 生活習慣病を予防・改善する効果／医者

- |     |          |   |
|-----|----------|---|
| 30代 | 専業主婦     | 牛乳は、ダイエットにも効果があることを聴いていたので。   |
| 30代 | 専業主婦     | かなりメタボで健康的になるには日々の生活改善が必要で、牛乳摂取するのも良いと聞いたので                                 |
| 40代 | 会社員公務員   | カロリーがあるので逆だと思っていた   |
| 40代 | 専業主婦     | 牛乳の脂肪分は飲み過ぎなければ決して高いものではなく飲むことで得られる効果のある成分の方が多いという事で高血圧やメタボにも有効であるというお話でした。 |
| 40代 | 専業主婦     | 主人の健康診断の結果が悪かったので   |
| 50代 | 商工サービス自営 | 満腹感えられるとのこと   |

### D. 病気を予防する効果／ママ友や主婦仲間

- |     |        |                                       |
|-----|--------|---------------------------------------|
| 30代 | 専業主婦   | 普通に会話の中で                              |
| 30代 | 専業主婦   | 免疫力をつける                               |
| 40代 | 会社員公務員 | 免疫力が上がるらしい、という話を聞いたから                 |
| 30代 | 専業主婦   | ウィルス対策に良い                             |
| 30代 | 専業主婦   | 乳製品を毎日取ることによって免疫力が高まる...というようなことを言われた |
| 40代 | 専業主婦   | 免疫力がつくので、風邪などの予防になると聞いた。              |
| 30代 | 会社員公務員 | 免疫力を高め抵抗力がある体づくりができる。                 |

### D. 病気を予防する効果／学校の先生や栄養士

- |     |        |                                |
|-----|--------|--------------------------------|
| 30代 | 専業主婦   | 手紙でみてそんな効果もあったのかと、感心した覚えがあります。 |
| 30代 | パートバイト | 苦手だけど積極的に摂ろうとおもった。             |
| 40代 | パートバイト | 子供の学校の栄養士さんからの給食便りで知った。        |
| 40代 | 専業主婦   | インフルの予防                        |

13

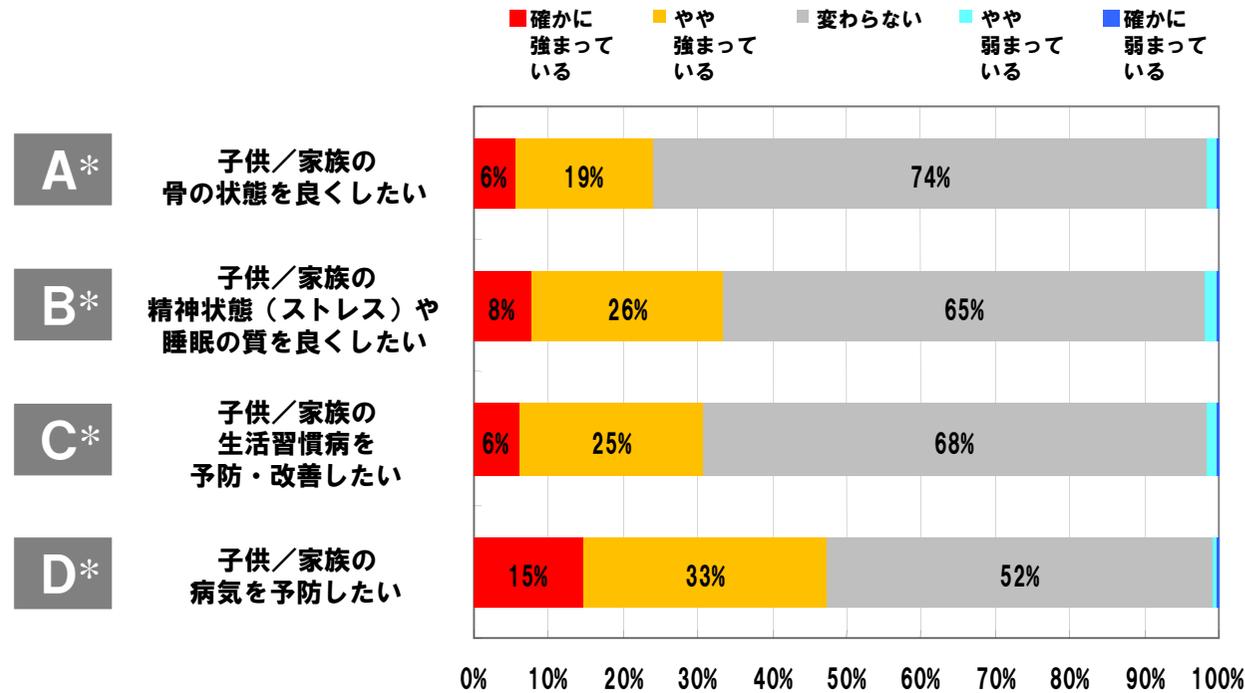
**「3～18歳の子を持つ母親」における  
牛乳の「4大重点訴求機能」に直結する健康意識とその変化**

**4大重点訴求機能認識が「強まっている」と答える母親は、前年よりも明らかに増えている(「学校の先生や栄養士」が特に強く影響)。**

- 牛乳の4大重点訴求機能へのニーズに直結する子供／家族の健康に取り組む意識(A\*～D\*)が「いま強まっている」と答える母親はいずれも相当数いる(その逆に弱まっていると答える母親はほとんどいない)。また、A\*～D\*のなかでは、「D\*子供／家族の病気を予防したい」の強まりが最も大きい。《→P. 102》
- 子供に牛乳を飲んで欲しいと思う気持ちが強まっている母親は、そうでない母親に比べて、牛乳の4大重点訴求機能へのニーズに直結する子供／家族の健康に取り組む意識(A\*～D\*)すべてが明確に強まっている。  
《→P. 103》

## 母親の子供／家族に関する健康意識の変化

最近、「〇〇〇」という、あなたの気持ちは、以前に比べて強まったり弱まったりしていますか。



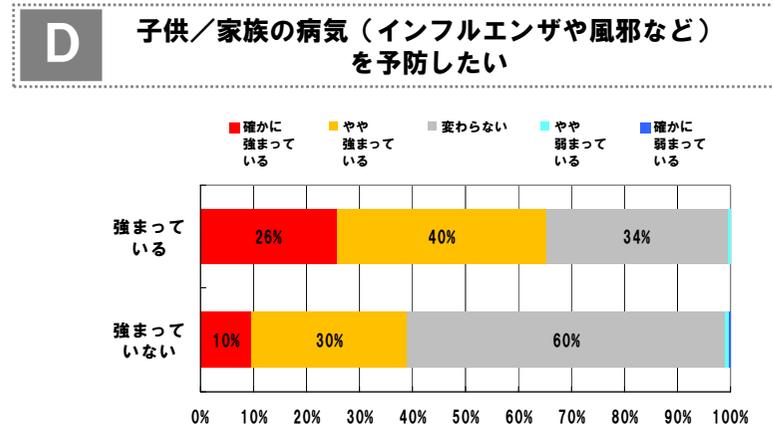
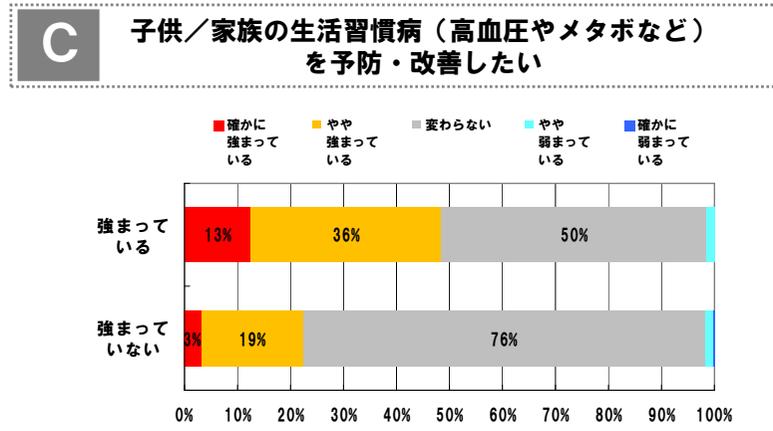
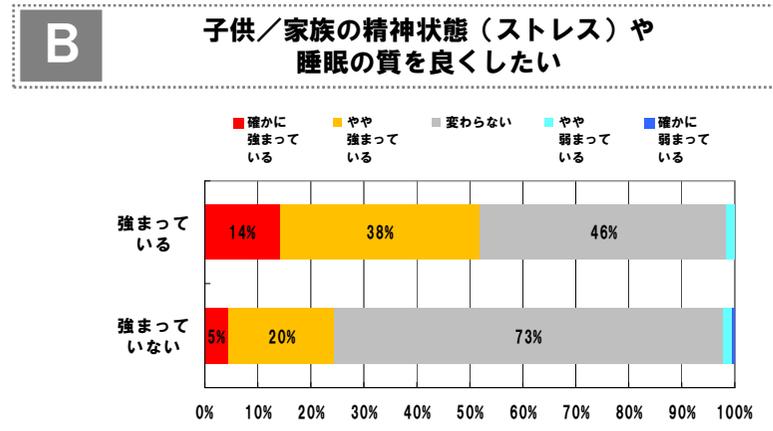
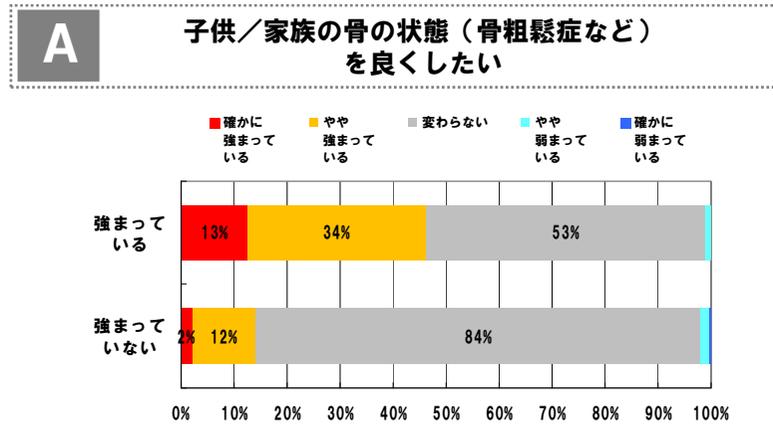
N=600

**「3～18歳の子を持つ母親」の全体において、  
4大重点訴求機能に対応する子供（家族）の健康に取り組む意識のうち、  
今現在、D(病気の予防)へ取り組み意識がより高まっている。**

# 子供に牛乳を飲んでもらいたい気持ちの変化と、子供／家族に関する健康意識の変化

最近、「〇〇〇」という、あなたの気持ちは、以前に比べて強まったり弱まったりしていますか。

子供に牛乳を飲んで欲しい気持ちの変化別

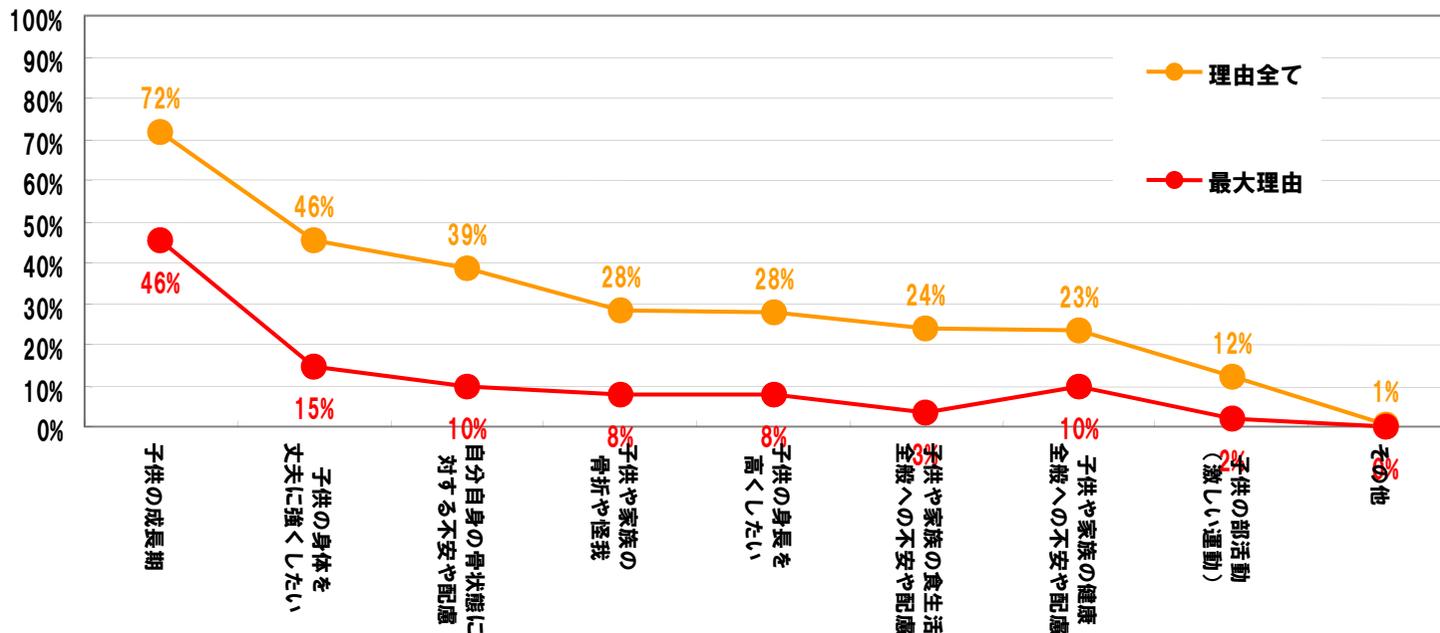


強まっているN=190／強まっていないN=410

「3～18歳の子を持つ母親」の中で、  
 子供に牛乳を飲んでもらいたいと思う気持ちが強まっている母親は、そうでない母親に比べ、  
 牛乳の4大重点訴求機能に直結する子供／家族の健康に関する意識がどれも高まっている。

## 母親の「子供／家族の骨の状態(骨粗鬆症など)を良くしたい」意識／強まった理由

最近、「子供／家族の、骨の状態(骨粗鬆症など)を良くしたい」という、あなたの気持ちが、以前に比べて強まっているのはどんな理由や事情からですか。

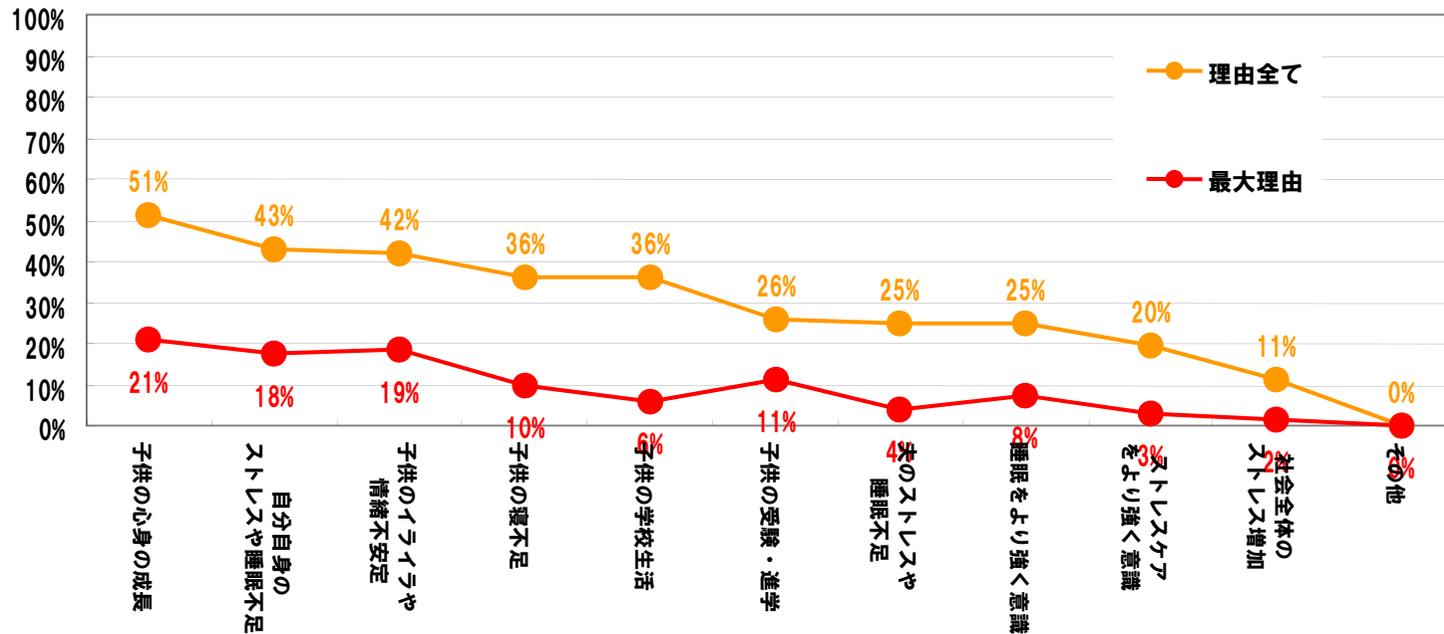


N=145

「3～18歳の子を持つ母親」において、  
 「子供／家族の、骨の状態(骨粗鬆症など)を良くしたい」気持ちが強まった理由トップ3は、  
 1. 子供の成長期、2. 子供の身体を丈夫に強くしたい、3. 自分自身の骨状態への不安  
 ただし、最大の理由選択においては、「子供の成長期」が突出。

# 母親の「子供／家族の精神状態(ストレス)や睡眠の質を良くしたい」意識／強まった理由

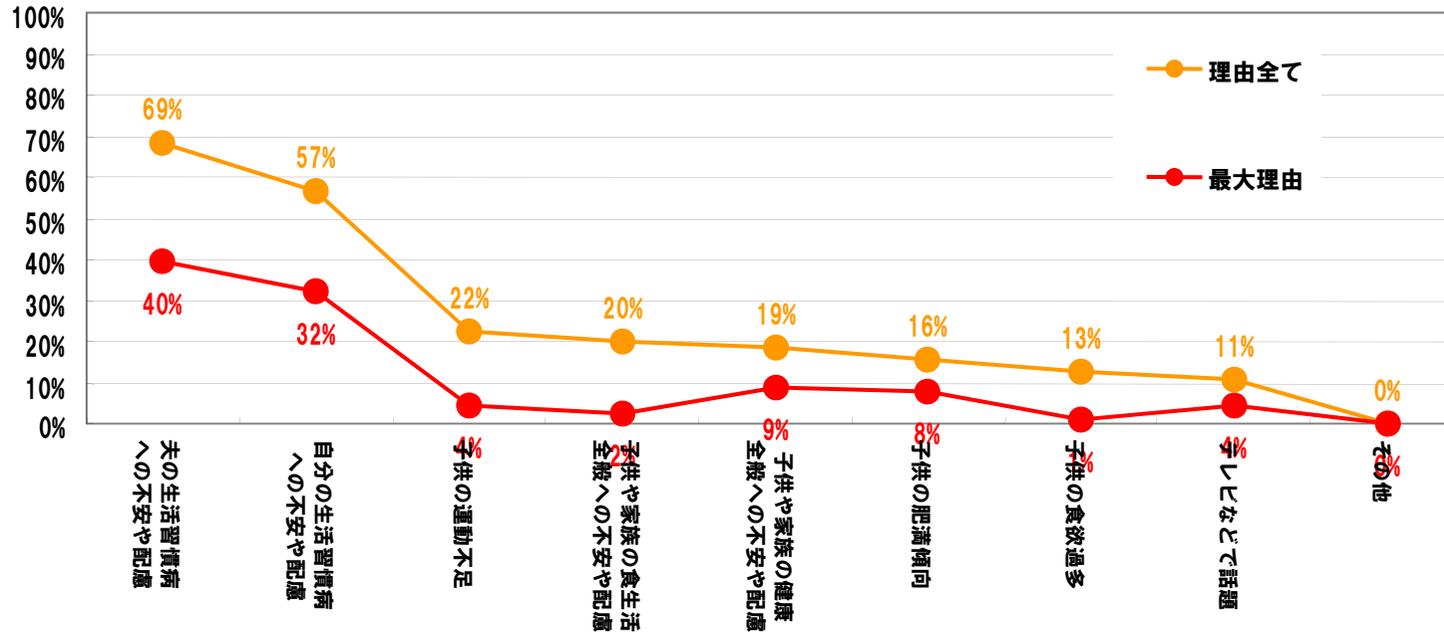
最近、「子供／家族の精神状態(ストレス)や睡眠の質を良くしたい」という、あなたの気持ちが、以前に比べて強まっているのはどんな理由や事情からですか。



N=200

**「3～18歳の子を持つ母親」において、**  
**「子供／家族の精神状態(ストレス)や睡眠の質を良くしたい」という**  
**気持ちが強まった理由トップ3は、**  
**1. 子供の心身の成長、2. 自分自身のストレスなど、3. 子供のイライラなど**

最近、「子供／家族の生活習慣病(高血圧やメタボなど)を予防・改善したい」という、あなたの気持ちが、以前に比べて強まっているのはどんな理由や事情からですか。

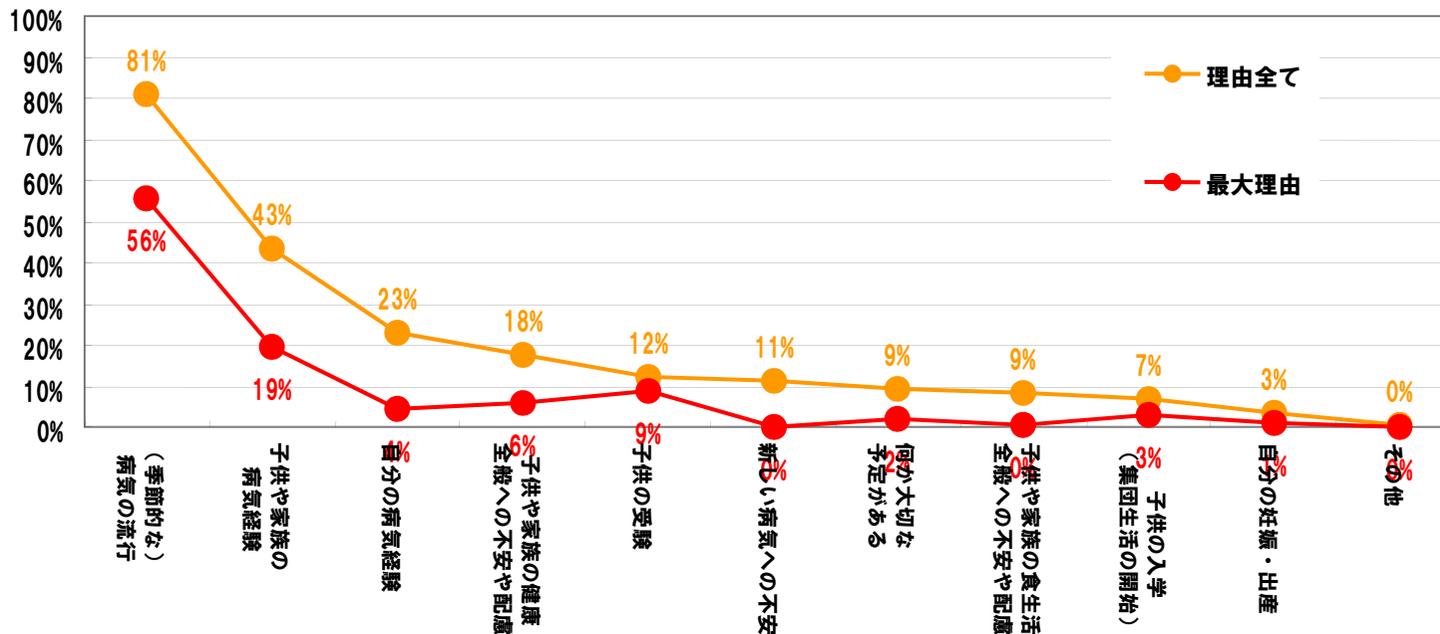


N = 184

「3～18歳の子を持つ母親」において、「子供／家族の生活習慣病(高血圧やメタボなど)を予防・改善したい」という気持ちが強まった理由は以下の2つに集中。

1. 夫の生活習慣病への不安や配慮、
2. 自分自身の生活習慣病への不安や配慮

最近、「子供／家族の病気(インフルエンザや風邪など)を予防したい」という、あなたの気持ちが、以前に比べて強まっているのはどんな理由や事情からですか。



N=284

「3～18歳の子を持つ母親」において、  
「子供／家族の病気(インフルエンザや風邪など)を予防したい」という  
気持ちが強まった理由は以下の2つに集中。

1. (季節的な)病気の流行、
2. 子供や家族の病気経験

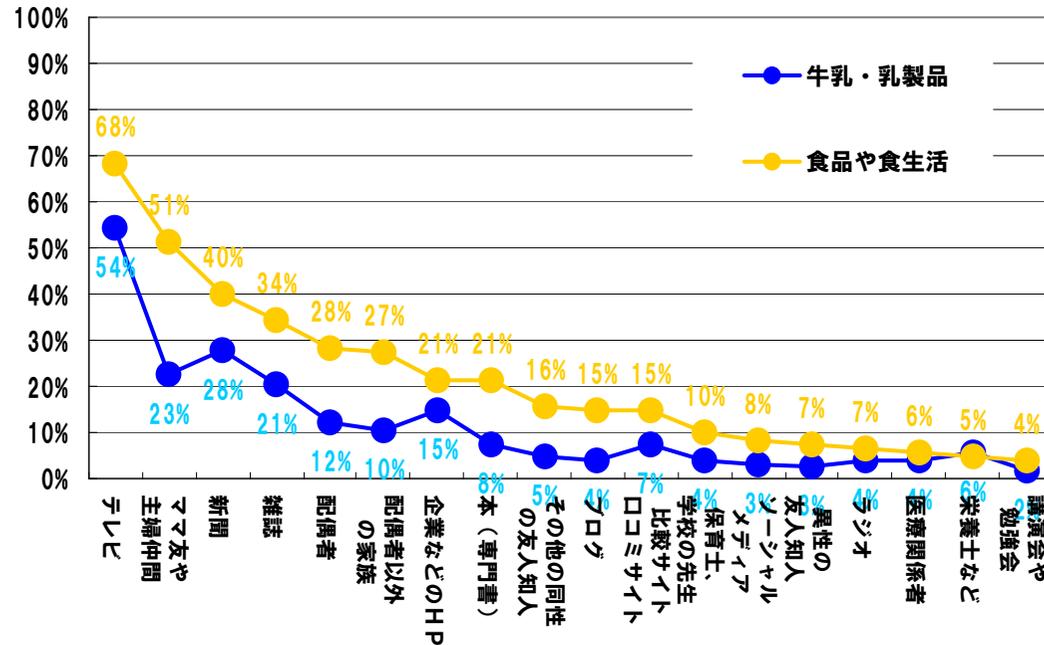
14

「3-18歳の子を持つ母親」の  
「牛乳・乳製品／食品や食生活」に関する情報への接触状況

母親の「食品や食生活」に関する情報源のトップ3は、  
1. テレビ、2. ママ友や主婦仲間、3. 新聞

- 母親が接している「食品や食生活」に関する情報源(人物)のトップ3は、1. テレビ、2. ママ友や主婦仲間、3. 新聞。
- なお、「牛乳・乳製品」に関する情報源(人物)においては「ママ友や主婦仲間」が相対的に低く、「牛乳・乳製品」が母親の間であまり話題になっていないことが考えられる。《→P. 110》
- 母親が「食品や食生活」に関して影響を受けた情報源(人物)のトップ3は、1. テレビ、2. ママ友や主婦仲間、3. 雑誌。
- なお、「牛乳・乳製品」に関して影響を受けた情報源(人物)においては「ママ友や主婦仲間／雑誌」が低めで、その逆に「新聞／企業HP」が高くなる。《→P. 111》

この一ヶ月で、あなたが「牛乳・乳製品／食品や食生活」に関する情報・知識・アイデアを手に入れたことがある情報源や人物をお知らせください。  
以下のなかから、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。



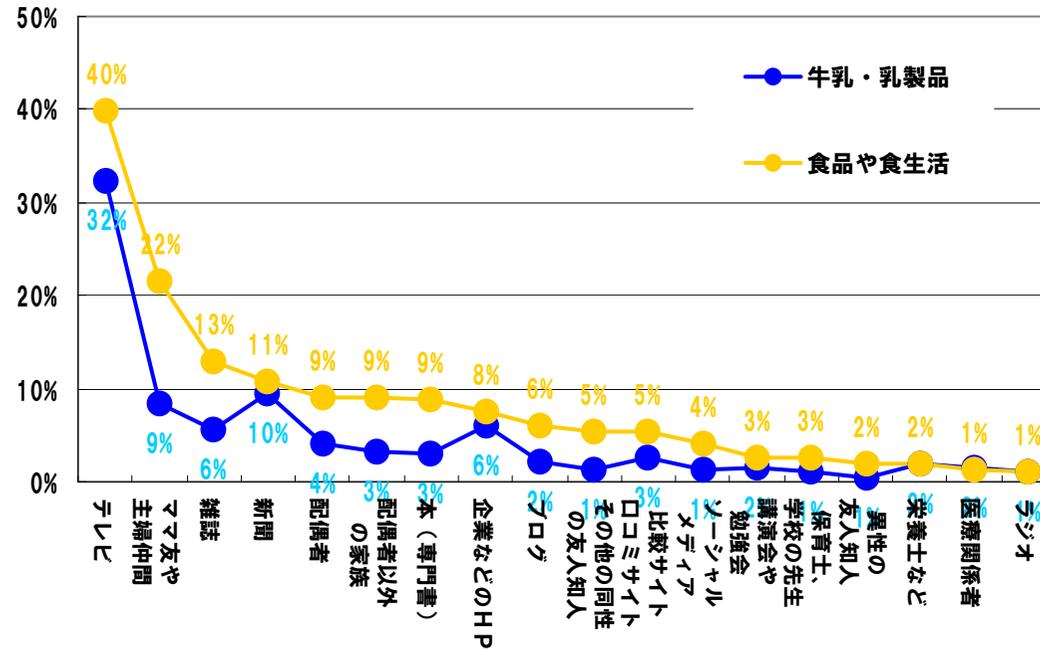
N = 600

「ミルクの生活者ターゲットである「3～18歳の子を持つ母親」において、「食品や食生活」に関する情報などを手に入れた情報源(人物)のトップ3は、

1. テレビ
2. ママ友や主婦仲間
3. 新聞

「牛乳・乳製品」に関する情報源(人物)において、「ママ友や主婦仲間」は相対的に低く、母親の間で、「牛乳・乳製品」が十分に話題にされていないことが考えられる。

この一ヶ月で、あなたが「牛乳・乳製品／食品や食生活」に関する情報・知識・アイデアを手に入れて、実際に何らかの明確な影響を受けた情報源や人物をお知らせください。以下のなかから、あなたにあてはまるものをすべてお答えください。



N = 600

「3～18歳の子を持つ母親」において、  
 「食品や食生活」に関して影響を受けた情報源(人物)のトップ3は、  
 1. テレビ、2. ママ友や主婦仲間、3. 雑誌  
 「牛乳・乳製品」に関する情報源(人物)においては、  
 「ママ友や主婦仲間」の影響は低く、「新聞／企業HP」の影響は高くなっている。

15

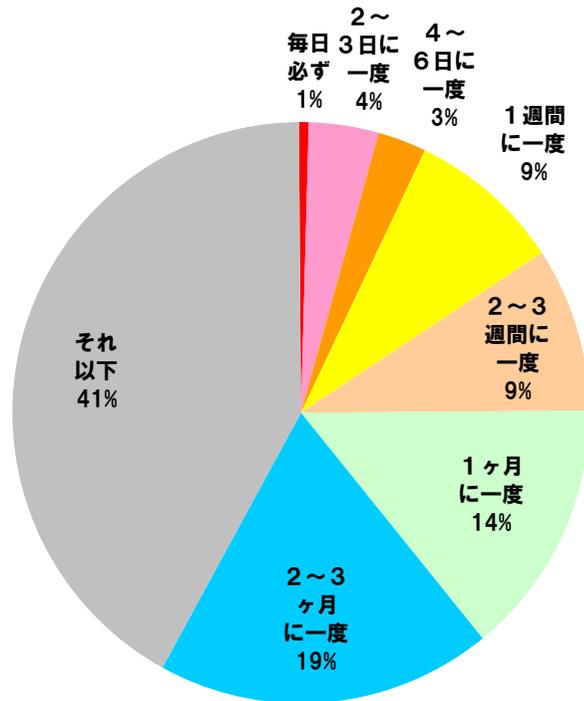
ビッグママの「情報接触」の特徴

**ビッグママは母親間の情報流通を活性化する触媒であり、  
「正しい情報」を得るために努力を払っている。**

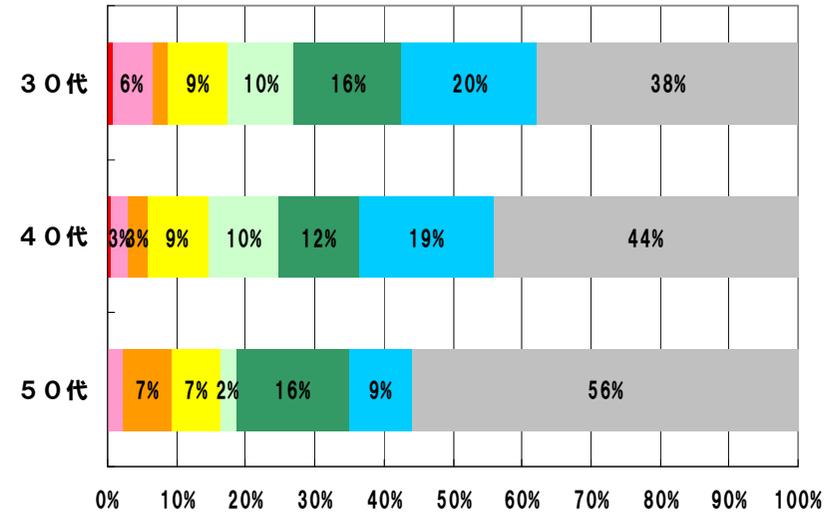
- 母親ネットワークにおいて、**ビッグママ** (情報の発信元となる週1回以上、他の母親から相談をうける母親)は**全体の17%**。牛乳飲用頻度が高い母親でもビッグママの出現率は高い。《→P. 114、115》
- ビッグママが「食品・食生活」について聞かれる内容は「**献立・メニュー**」と「**食の安全(放射能)**」が多く、特に**後者はビッグママに特徴的に多い**。《→P. 117》
- ビッグママは「**ママ友や主婦仲間**」からも**情報入手や影響**を強く受けており、単なる情報発信者というより、**情報流通を活性化する触媒(情報ハブ)**として機能している。《→P. 119、120》
- ビッグママは「**正確で正しい情報を得る**」ための**努力**をしていて、その努力の中身は主に**インターネット**を活用することで、「**複数の情報源にあたる**」ことと「**情報の裏づけを取る**」ことの2つ。《→P. 126、127》

# ビッグママ度

普段のあなたは、他の母親から日常的な疑問や悩みについて相談されることがどれくらいありますか。



■ 毎日必ず ■ 2~3日に一度 ■ 4~6日に一度 ■ 1週間に一度 ■ 2~3週間に一度 ■ 1ヶ月に一度 ■ 2~3ヶ月に一度 ■ それ以下



N = 600

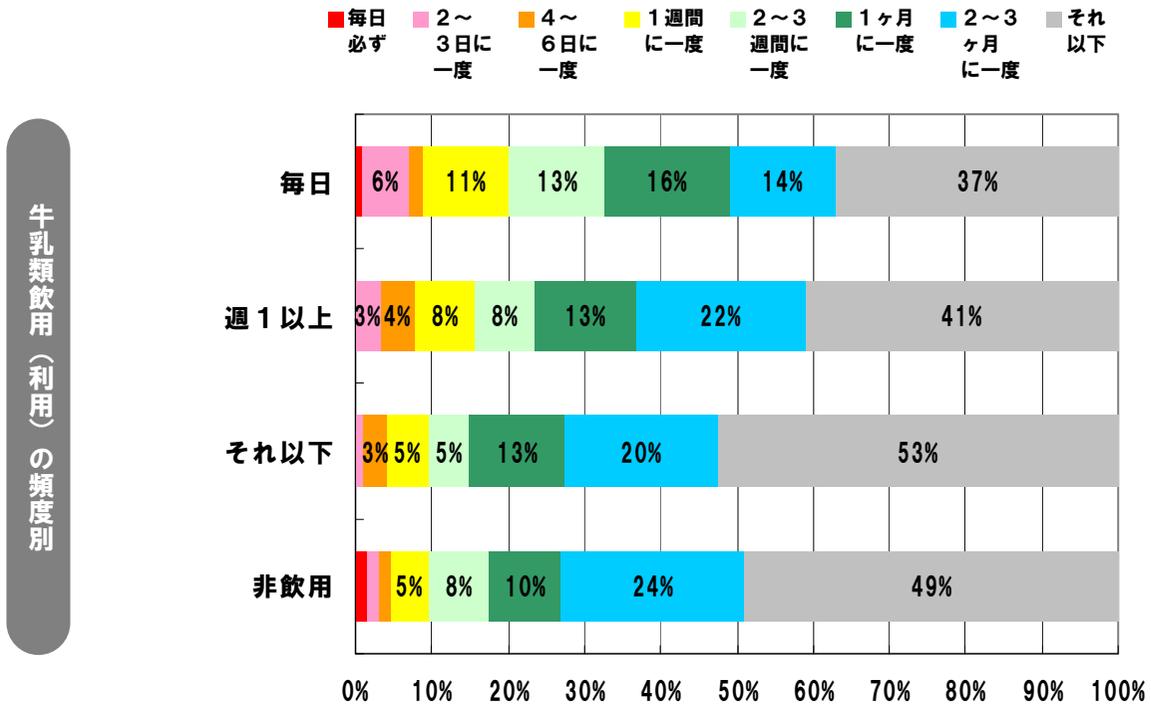
30代N = 272 / 40代N = 285 / 50代N = 43

**「3～18歳の子を持つ母親」のネットワークにおいて、報の発信元となるビッグママ（週1回以上、他の母親から相談をうける母親）は全体の17%。**

**また、母親の年齢が若いほど、他の母親から相談をうける頻度は高まるが、ビッグママの比率は大きく変わらない。**

## 現在の牛乳類飲用（利用）頻度 × ビッグママ度

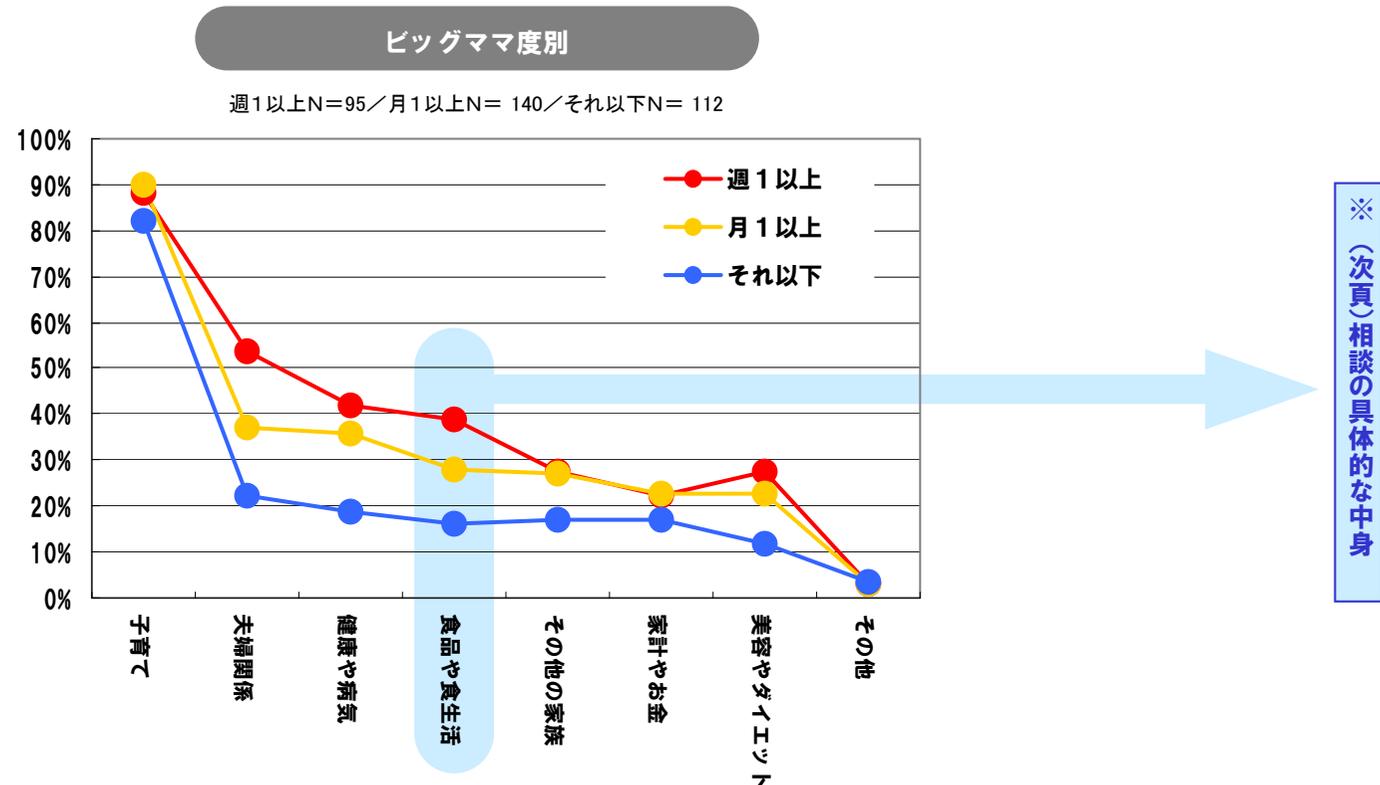
普段のあなたは、他の母親から日常的な疑問や悩みについて相談されることがどれくらいありますか。



毎日N=239/週1以上N= 203/それ以下N= 95/非飲用N=63

**「3～18歳の子を持つ母親」において、  
牛乳類の飲用（利用）頻度が多い母親ほど、  
他の母親から相談をうける頻度は高まり、ビッグママの比率も高まる。**

この2-3ヶ月で、あなたが他の母親から相談されたことがある日常的な疑問や悩みの中身をお知らせください。



**「3～18歳の子を持つ母親」が**  
**最近の2-3ヶ月間で、他の母親から相談を受けた疑問や悩みの中身トップ3は、**  
**1. 子育て、2. 夫婦関係、3. 健康や病気**

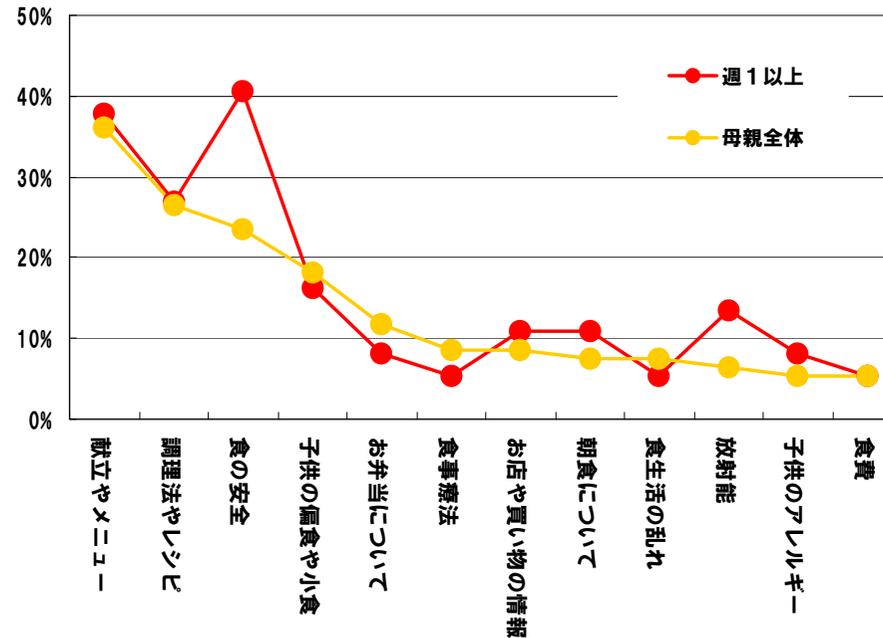
その一方で、相談を受ける頻度（ビッグママ度）の違いによる差が大きいのは、  
**「夫婦関係／健康や病気／食品や食生活／美容やダイエット」の4つ。**

## 食品や食生活について、相談される内容

この2-3ヶ月で、あなたが他の母親から相談されたことがある「食品や食生活」に関する疑問や悩みの中身をお知らせください。

### ビッグママ/全体

週1以上N=37/母親全体N=94



「3~18歳の子を持つ母親」が最近の2-3ヶ月間で、他の母親から相談をうけた「食品や食生活」に関する疑問や悩みの中身トップ3は、

1. 献立やメニュー、2. 調理法やレシピ、3. 食の安全

なお、ビッグママは、「食の安全」「放射能」といった安心安全に関する相談を特徴的よく受けている。

## ■ 献立やメニュー

- 30代 専業主婦 一食につき何品食事をだすか
- 30代 専業主婦 献立を何にするか
- 30代 専業主婦 3日間連続でおでんはありかなしか。
- 30代 パートバイト 食費は月にどのくらいかかっていて、品数はどれくらい用意するかなど。今日のおかずは何にしようとか、子供のお弁当についてなど。
- 30代 パートバイト 子供がバレーをやっている、太るのを予防するためにどんな食品をとればいいのかといった内容だった。うちの子もバレーをやっている、痩せすぎなど痩せているので相談されたんだと思う。
- 40代 専業主婦 どこのスーパーが安いか。毎日、どんなご飯を作っているか。
- 40代 専業主婦 今日の献立についてのアドバイス
- 40代 専業主婦 お姑が来たときのもてなし料理
- 40代 パートバイト 食事の内容や支度について
- 40代 専業主婦 休みの日のご飯をどうしているか。
- 40代 専業主婦 夕飯は肉料理をいつもするが、メニューに困っている どんなものを作っているのか

## ■ 調理法やレシピ

- 30代 専業主婦 お弁当のおかずや夕食のレシピの相談
- 30代 専業主婦 玄米や雑穀米の炊き方。
- 30代 パートバイト 日々の献立の事や料理の味付けについて
- 30代 パートバイト 余っている食材を使ってできる料理はないか？
- 40代 専業主婦 特定の食材を使ってのレシピを教えてほしいなど。
- 40代 専業主婦 私はお料理が大好きで主人の高血圧・高脂質症・高コレステロールを食事で改善したこともあって、ご家族の健康のためのレシピや効果の高い食材、調理法などを良く聞かれます。
- 40代 専業主婦 お菓子の作り方
- 40代 会社員公務員 スムージーの作り方や、何をいれたらよいかということ
- 40代 専業主婦 鮭の白子の調理の仕方。サバの調理の仕方。
- 50代 インフルエンサー 簡単でおいしいオヤツの作り方を教えてほしい、ということ

## ■ 食の安全

- 30代 インフルエンサー 食品の偽装について最近世間を騒がせているが本当に大丈夫だろうか？
- 30代 専業主婦 牛乳は体によくないのか
- 30代 専業主婦 イオンのブランド、トップバリュー商品をこのまま買い続けていいものか。米からカドミニウムや、最近危ないといろいろ噂になっているので、他の商品も似たように危ないのではないか。
- 30代 専業主婦 遺伝子組み換え食品や発がん性物質について
- 30代 専業主婦 食品の産地。子供が偏食がちなので、どういう工夫をして食べているのか、また、何なら食べるのか情報交換。
- 40代 会社員公務員 子供に安全な物を食べさせたいけれど、食品偽装なども多いし、子供のアレルギーや好き嫌いもある。子供の食の細さもあるので、どのようなものを食べさせてよいのかわからないことか相談されます。
- 40代 専業主婦 食品添加物について
- 40代 専業主婦 子供に食べさせる食品の安全性について。放射能・農薬・添加物など。
- 50代 その他 放射線の影響で、近海の魚は食べられないのではとの相談。
- 50代 商工サービスイオン ある食品の健康に及ぼす影響について

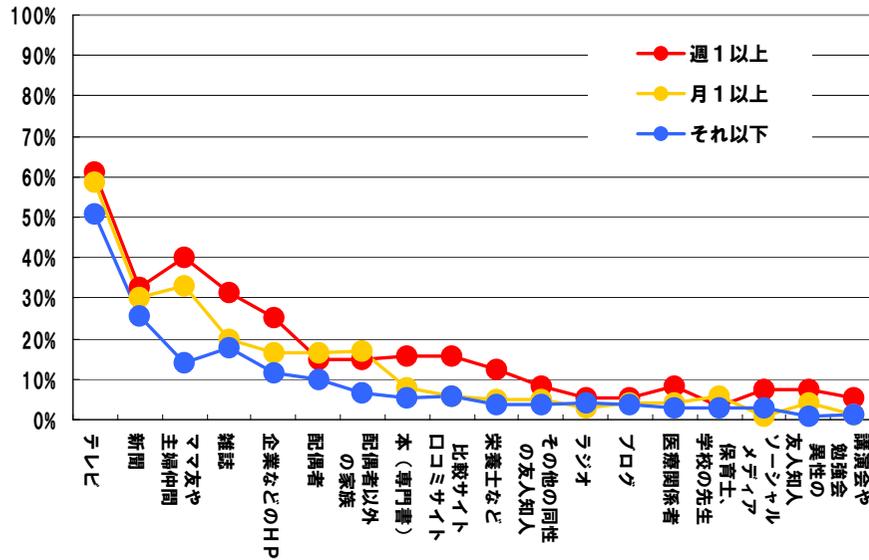
# 接触メディア／ビッグママ度別

この一ヶ月で、あなたが「牛乳・乳製品」に関する情報・知識・アイデアを手に入れたことがある情報源や人物をお知らせください。

この一ヶ月で、あなたが「食品や食生活」に関する情報・知識・アイデアを手に入れたことがある情報源や人物をお知らせください。

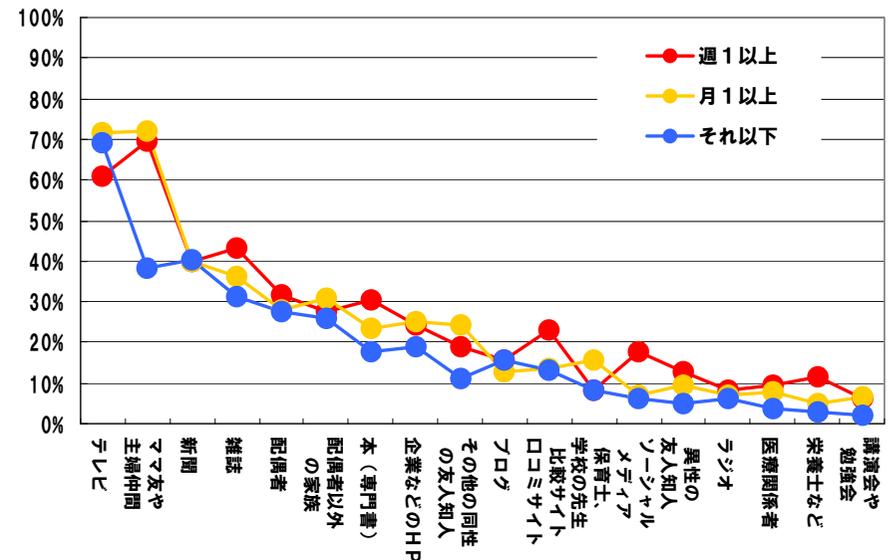
## ビッグママ度 × 「牛乳・乳製品」関連情報

週1以上N=95／月1以上N= 140／それ以下N=365



## ビッグママ度 × 「食品や食生活」関連情報

週1以上N=95／月1以上N= 140／それ以下N= 365



**ビッグママ度が高い母親は「ママ友や主婦仲間」から特に多くの情報を受けている。  
(ビッグママは、単なる情報発信源というよりも、母親の情報ネットワークのハブになっている。)**

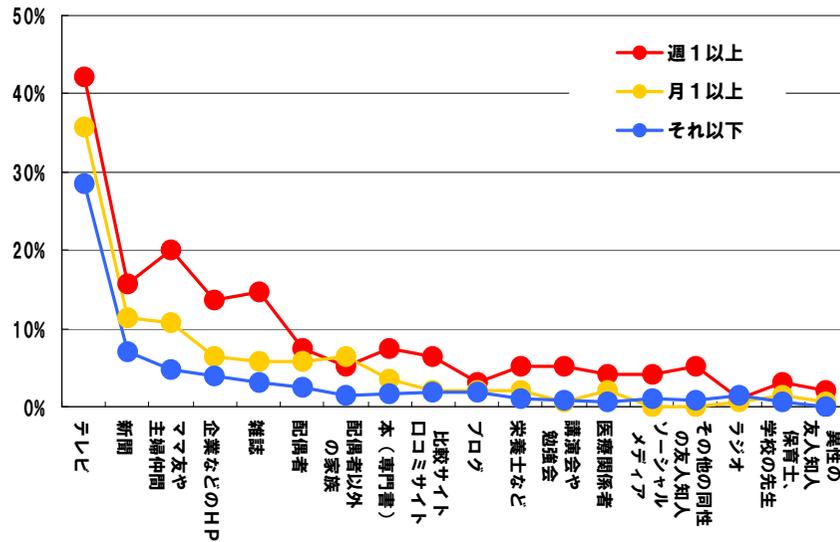
その他、「牛乳・乳製品」に関しては「雑誌、企業HP、本(専門書)、比較／口コミサイト、栄養士」が、「食品や食生活」に関しては「雑誌、本(専門書)、比較／口コミサイト、ソーシャルメディア、栄養士」が、ビッグママ度の高い母親からよく接触されている。

この一ヶ月で、あなたが「牛乳・乳製品」に関する情報・知識・アイデアを手に入れて、実際に何らかの明確な影響をうけた情報源や人物をお知らせください。

この一ヶ月で、あなたが「食品や食生活」に関する情報・知識・アイデアを手に入れて、実際に何らかの明確な影響をうけた情報源や人物をお知らせください。

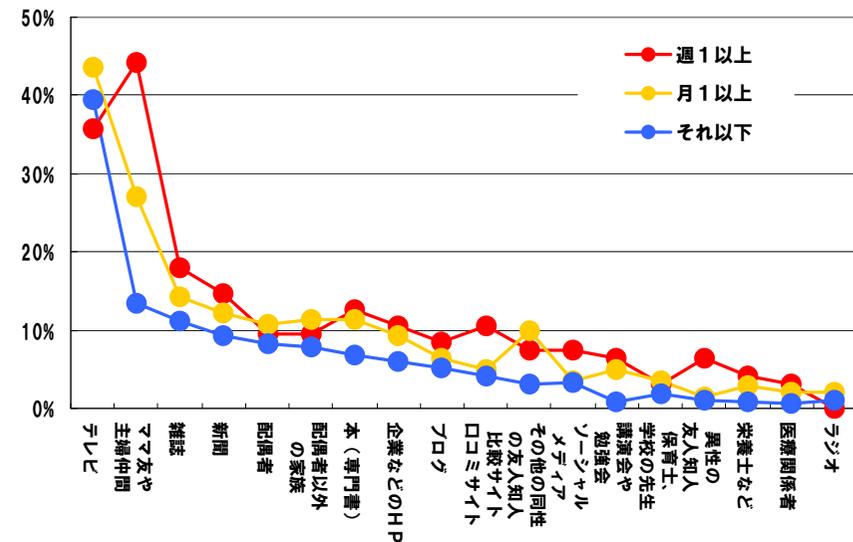
## ビッグママ度 × 「牛乳・乳製品」関連情報

週1以上N=95／月1以上N= 140／それ以下N= 365



## ビッグママ度 × 「食品や食生活」関連情報

週1以上N=95／月1以上N= 140／それ以下N=365



**ビッグママ度が高い母親は「ママ友や主婦仲間」からの情報に特に影響を受けている。**

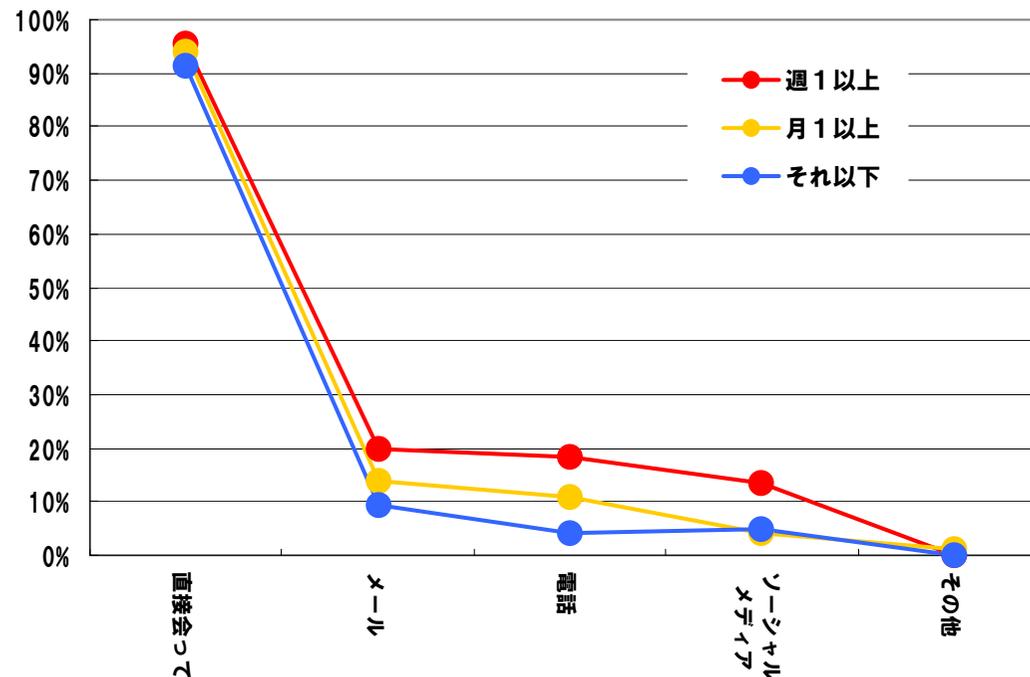
「牛乳・乳製品」に関しては「企業HP、雑誌、本(専門書)、比較／口コミサイト、栄養士、講演会や勉強会、ソーシャルメディア」が、「食品や食生活」に関しては「雑誌、新聞、本(専門書)、企業HP、比較／口コミサイト、その他同性の友人、ソーシャルメディア、講演会や勉強会、異性の友人」が、ビッグママ度の高い母親に対してより強く影響を与えている。

## ママ友から食品や食生活に関する情報を、いかにして受け取るか

最近、あなたが、食品や食生活に関する情報・知識・アイデアをママ友や主婦仲間から、手に入れたときの状況をお知らせください。

### ビッグママ度別

週1以上N=66 / 月1以上N=101 / それ以下N=140

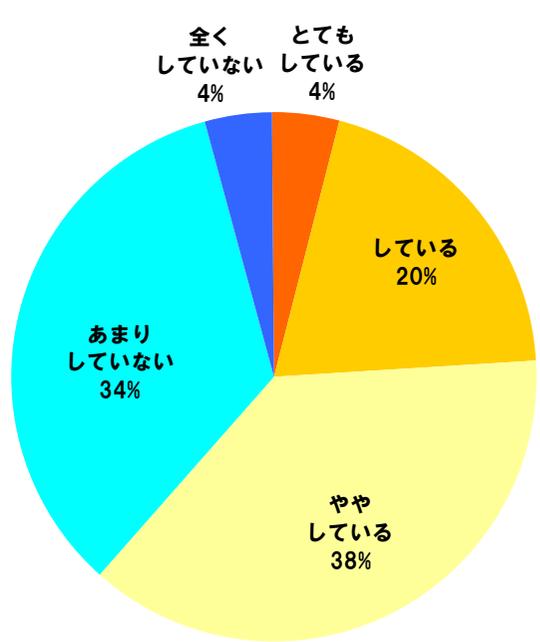


**「3～18歳の子を持つ母親」が  
「食品や食生活」に関する情報・知識・アイデアを  
ママ友や主婦仲間から、手に入れるときの状況は専ら「直接会って」。**

(学校/学校行事といった、ママ友や主婦仲間が直接顔をあわせる場所/機会を活用するアピールが効果的と考えられる。)

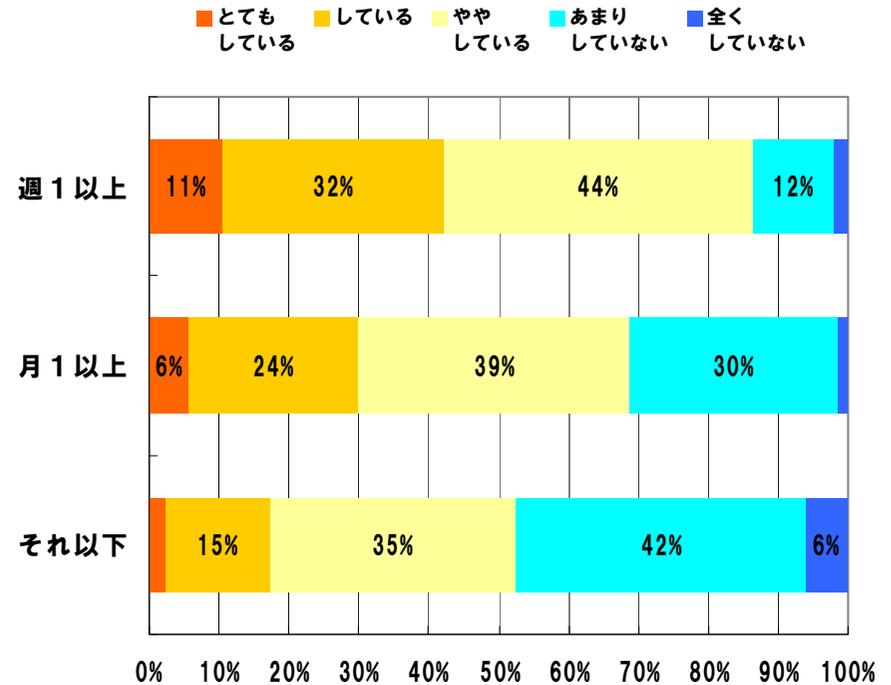
# 正確で正しい情報を得る努力

普段のあなたは、ただ情報を得るのではなく、出来るだけ「正確で正しい情報を得る」ための努力をどれくらいしていますか。



N = 600

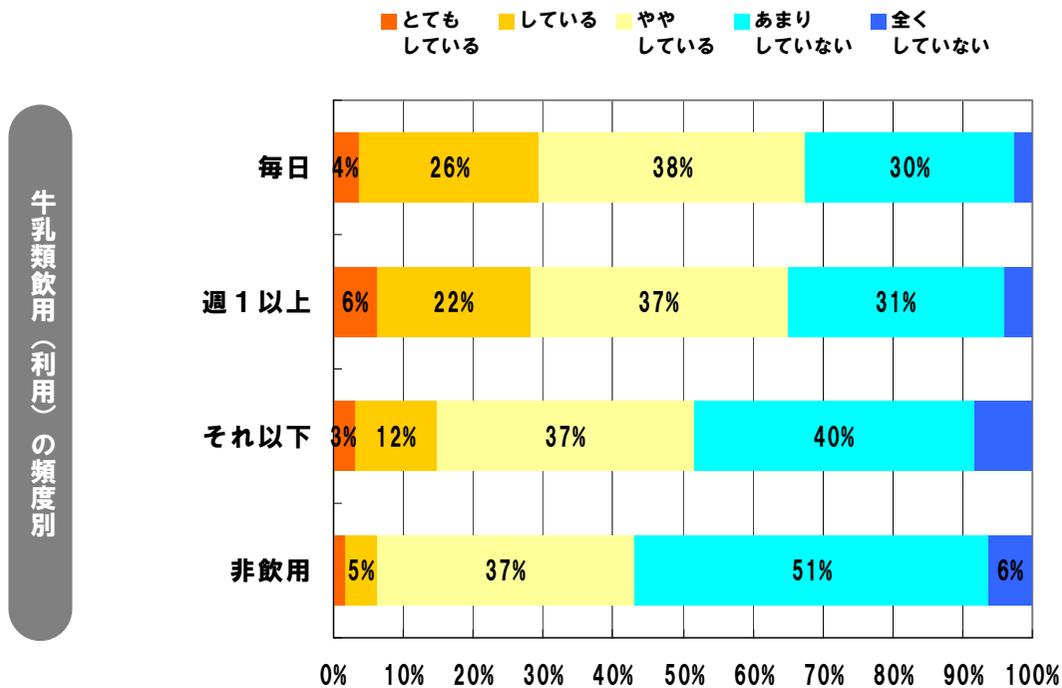
ビッグママ度別



週1以上N=95 / 月1以上N= 140 / それ以下N= 365

**「3～18歳の子を持つ母親」のうち、  
約6割は出来るだけ「正確で正しい情報を得る」ための努力をしている。  
またビッグママ度が高い母親ほど、  
出来るだけ「正確で正しい情報を得る」ための努力をしている。**

普段のあなたは、ただ情報を得るのではなく、出来るだけ「正確で正しい情報を得る」ための努力をどれくらいしていますか。

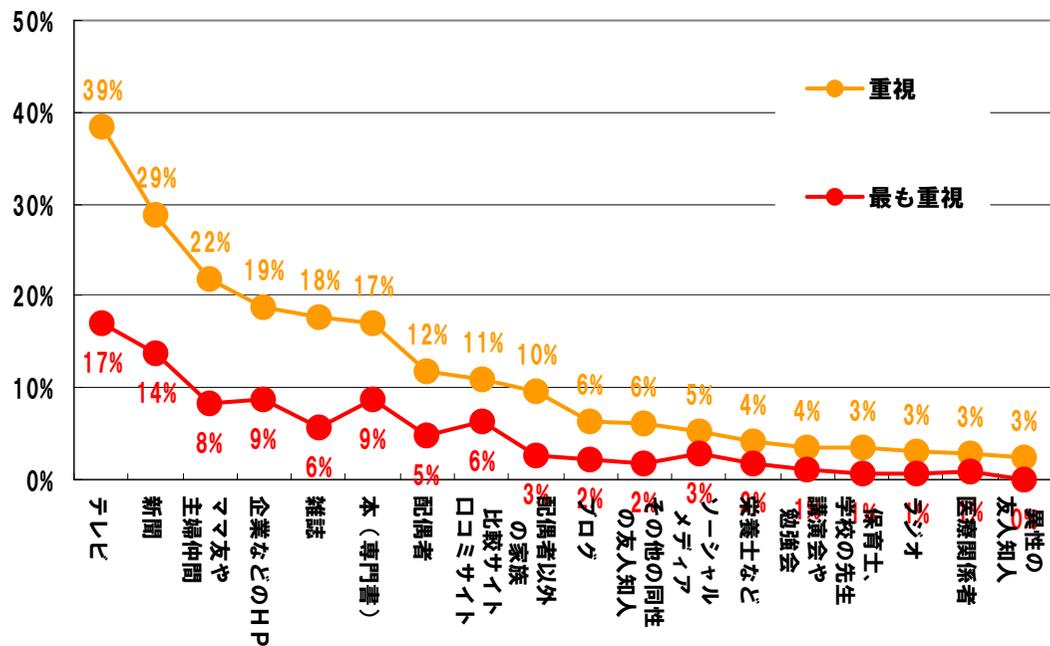


毎日N=239 / 週1以上N= 203 / それ以下N= 95 / 非飲用N=63

**牛乳類の飲用(利用)頻度が多い人ほど、出来るだけ「正確で正しい情報を得る」ための努力をよくしている。**

## 食品や食生活に関して、正確で正しい情報を得るために重視するメディア

以下にあげた情報源や人物のなかから、あなたが食品や食生活に関して「正確で詳しい情報を得る」ために重視しているものをお知らせください。



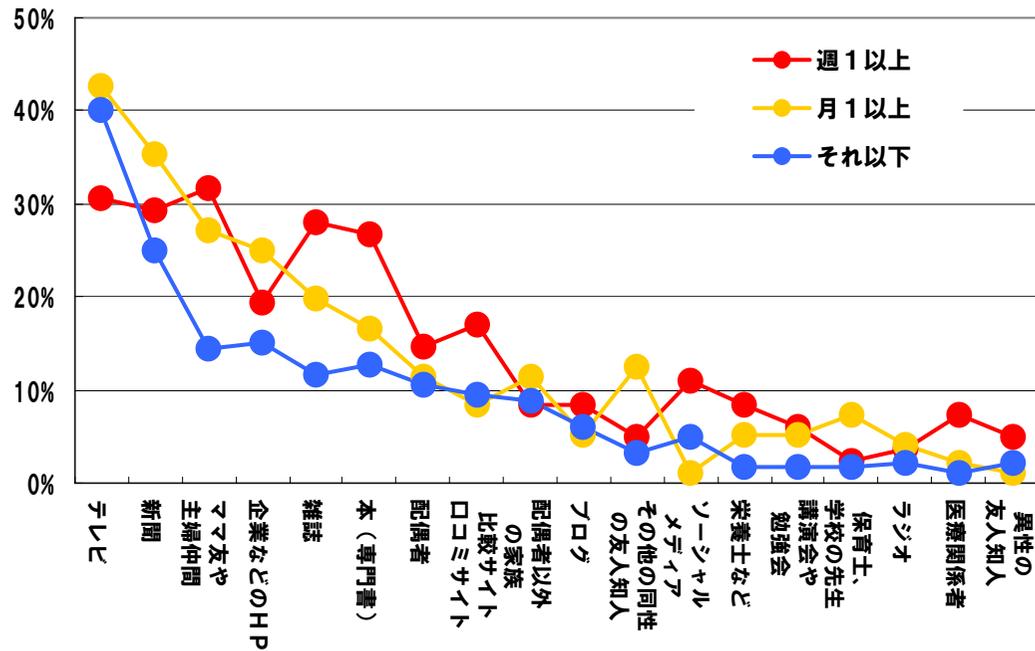
N = 358

「3～18歳の子を持つ母親」が、  
「正確で正しい情報を得る」ために重視している情報源(人物)のトップ3は、  
1. テレビ、2. 新聞、3. ママ友や主婦仲間

以下にあげた情報源や人物のなかから、あなたが食品や食生活に関して「正確で詳しい情報を得る」ために重視しているものをお知らせください。

ビッグママ度別

週1以上N=82／月1以上N=96／それ以下N=180

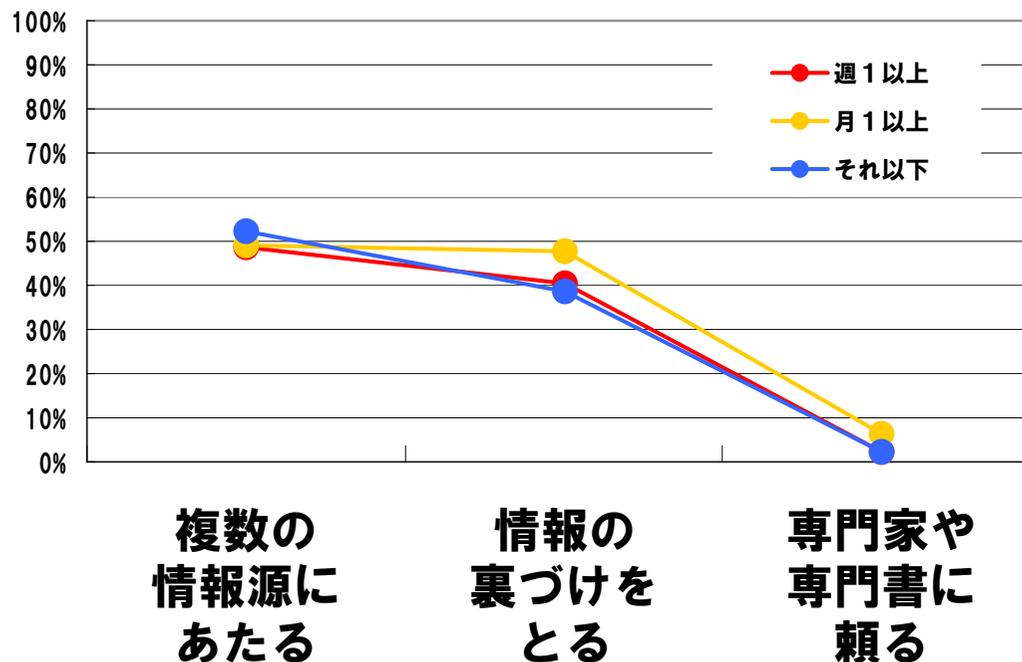


**ビッグママが特徴的に、  
「正確で正しい情報を得る」ために重視している情報源(人物)は、  
「ママ友や主婦仲間、雑誌、本(専門書)、比較/口コミサイト、  
ソーシャルメディア、インフルエンサー」など。**

普段のあなたが、出来るだけ「正確で正しい情報を得る」ためにしている  
努力の内容をお知らせください。

## ビッグママ度別

週1以上N=82／月1以上N=96／それ以下N=180



「3～18歳の子を持つ母親」が、  
「正確で正しい情報を得る」ためにする努力は、  
専ら「複数の情報源にあたる」と、「情報の裏づけを取る」ことの2つ。

## ■ 複数の情報源にあたる

30代 専業主婦	聞いたことを、他の人にも聞いてみる	40代 専業主婦	いろんなサイトを検索したり、本を読んだりしている。
30代 パートバイト	多くのホームページ等で調べる	40代 専業主婦	できるだけ多くのものから情報収集している。
30代 会社員公務員	ネットで最低5件はみて正しい情報と比較する	40代 専業主婦	テレビで気になったことはパソコンで調べたりする。人にも聞いたりする
30代 専業主婦	1人の意見だけを聞くことなく、いろいろな人の話を聴くようにしています。	40代 会社員公務員	テレビなどの情報だけに踊らされるのではなく、できるだけ、幅広いひとからの情報を得るようにしています。
30代 パートバイト	いくつもの情報源を照らし合わせる	50代 その他	一つの情報源に偏ることなく、いろいろなメディアからの情報を参考にしている。
30代 専業主婦	一つに絞らず他の人やインターネットで調べてから判断する。	50代 インフルエンサー	人から聞いた事でも、自分なりに本、ネットで調べている
40代 その他	複数の媒体で内容を調べる。	50代 専業主婦	1つの情報を得て、その情報が、他の情報源からも同じかどうかをみることです
40代 パートバイト	目新しいことに関しては、テレビだと他の局でも同じ内容のことを紹介するので、正しい情報なのだと分かる。		
40代 専業主婦	なるべく複数の媒体で情報を得る		

## ■ 情報の裏づけをとる

30代 会社員公務員	情報源を調べる	40代 専業主婦	情報源を調べ上げる
30代 専業主婦	ひとつの添加物でも気になれば調べ、どんな害がある成分なのかを理解するようにしています。	40代 専業主婦	インターネットでその商品についてホームページなどで調べる
30代 会社員公務員	ネットで確かな情報を確認する	40代 会社員公務員	疑問に思ったことはネットで調べる
30代 会社員公務員	根拠をもって噂話にまどわされない。	40代 専業主婦	ただ単にうのみにするだけでなく、あとからその情報の裏付けとなる情報をネットで検索してみる。
30代 専業主婦	インターネットで納得いくまで調べる	50代 専業主婦	インターネットで検索して、知りたい情報について書かれたものを読んだりする
30代 専業主婦	気になったものはネットなどで徹底的に調べる	50代 専業主婦	情報が正しいか自分なりに確認することもある
40代 会社員公務員	記事に乗っていることをネットなどで詳しく調べる	50代 専業主婦	聞きかじったことを、実際に試してみたり、ネットで詳しい情報を調べたりすることもある。
40代 専業主婦	聞いた事をうのみにしないうちに必ずネットや書物で調べ納得のいったものだけを実行したりお友達にも教えています。		

## ■ 専門家や専門書

30代 専業主婦	教育の場に出向いている。	40代 パートバイト	人から聞いたことは、憶測でものを言っていることがあるのでなるべく専門家の意見の載っているものをさがす。
30代 専業主婦	なるべく信頼できるサイト(医療系のサイトなど)から情報を得るようにしている。	40代 パートバイト	分からないことがあったら、すぐその場で調べる(スマートフォンで)クセがある。もっと専門的なこと、詳細は必要なときは、図書館にいったり参考になる本を借りる
30代 専業主婦	子育て情報番組をみるようにしている	40代 パートバイト	直接会って聞くとときは質問する。テレビなどから知識を得るときは、専門家の話などをよく聞く
30代 会社員公務員	公式なものを参考にする	40代 専業主婦	専門学校の頃の本を引っ張り出して読んでみる。
30代 パートバイト	NPO法人に勤めているのでそこからの情報が多い		
40代 インフルエンサー	栄養士会に入っていて、毎月情報雑誌を講読している。		
40代 専業主婦	医師である夫にいろいろ聞いている		
40代 専業主婦	定期的に講演などに出かける		

16

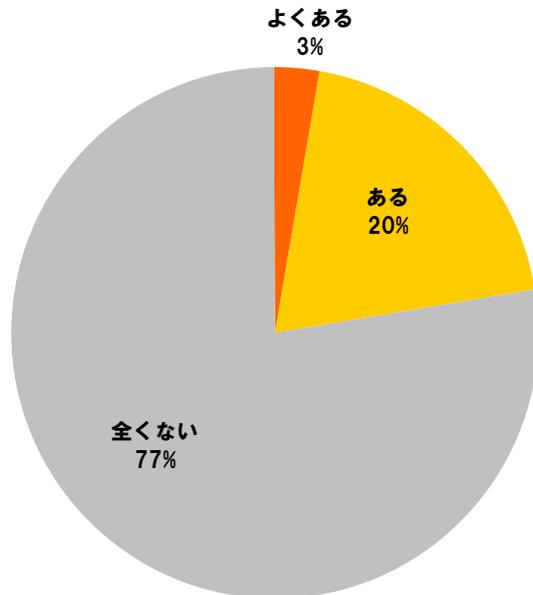
牛乳を用いた料理について

**母親が和食に牛乳を利用する目的は、主に「味」。  
ビッグママは「栄養」も意識。**

- 母親のうち、4人に1人は和食を作る際に牛乳を利用した経験がある。そのうちの半数以上が、これからも繰り返し作ってみたいと思う「牛乳を利用して作る和食」のメニューがある。《→P. 114、115》
- 母親が和食を作る際に牛乳を利用する目的は、専ら「味(コク、まろやかさ、ふっくら感)」をよくするため。それくわえてビッグママは、「栄養」を特徴的に強く意識している。「乳和食」における減塩効果はまだほとんど意識されていない。《→P. 131》
- 母親の4割は「自分と子供(家族)を結びつける牛乳を使う料理」に心当たりがあり、そのトップ3は、1. シチュー、2. グラタン、3. ホットケーキ。《→P. 134》
- 「自分と子供(家族)を結びつける牛乳を使う料理」については、母親と子供が一緒に調理を行うことが出来ることや、家族みんなが好む味の料理であることがよく特徴として挙げられる。《→P. 135、136》

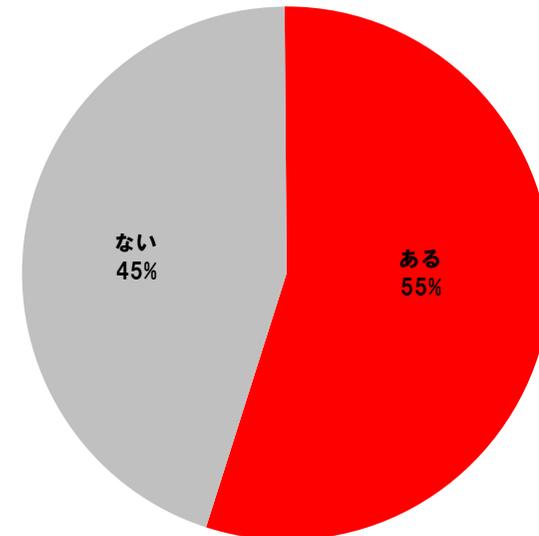
## 牛乳を活用した和食調理の経験

あなたはこれまでに、何らかの和食を作る際に、牛乳を利用したことがありますか。



N = 600

あなたがこれまでに、牛乳を利用して作った和食のなかで、これからも繰り返し作ってみたいと思うものはありますか。



N = 135

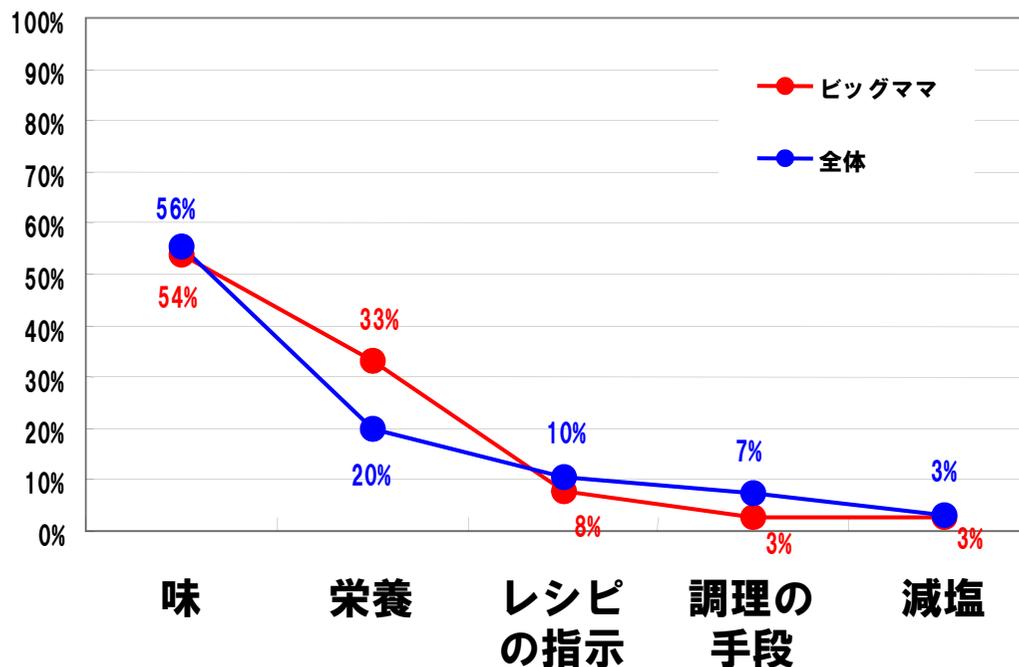
**Jミルクの生活者ターゲットである「3～18歳の子を持つ母親」のうち、4人に1人が、和食を作る際に牛乳を利用した経験がある。**

**そのうちの半数以上が、これからも繰り返し作ってみたいと思う牛乳を利用して作る和食のメニューがある。**

あなたが和食を作る際に、牛乳を利用したのは、どんな目的や考えからでしょうか。

ビッグママ（ビッグママ度=週1以上）／全体

ビッグママ(ビッグママ度=週1以上)N=39/全体N=135



**「3～18歳の子を持つ母親」が  
和食を作る際に牛乳を利用する目的は、専ら「味」をよくするため。**

**そのうち、ビッグママは、和食を作る際に牛乳を利用する目的として「栄養」を強く意識。  
(Jミルクが「乳和食」において強調している減塩効果はまだほとんど意識されていない。)**

## 牛乳を活用した和食調理の目的(自由回答)

### 味

- 30代 会社員公務員 まろやかになるから。
- 30代 専業主婦 コクを出す
- 30代 専業主婦 卵焼きに入れるとふわふわになるから
- 30代 パートバイト 味噌汁に少し入れるとまろやかになる
- 30代 専業主婦 肉豆腐まろやかにする
- 30代 パートバイト 卵焼きをまろやかで柔らかくするため。
- 30代 会社員公務員 味を、まろやかにしてコクを出す
- 30代 パートバイト 玉子焼きに入れるとふっくらすると聞いたので
- 30代 パートバイト 卵焼きに。ふわっとさせるため。牛乳を摂取しようと入れているわけではない
- 30代 専業主婦 まろやかになるのと昔から料理によって使用してるから
- 40代 パートバイト まろやかにしたくて
- 40代 無職家事手伝 魚を煮付けるときに牛乳を入れるとまろやかになるのではないかという考えから
- 40代 専業主婦 出し巻き卵を作るときに、牛乳を加えるとふんわり出来るし、栄養も増やせるから。
- 40代 会社員公務員 マイルドにする
- 40代 専業主婦 納豆オムレツや卵焼きを作る際に、ふっくらさせるため。
- 40代 パートバイト 菜の花を作るときに滑らかな味に変えたかった時
- 40代 専業主婦 味をまろやかにしたかったから。味噌と牛乳は意外に相性がいいからおいしくなると思ったから。
- 40代 専業主婦 味噌味の鍋料理の時に、味をまろやかにするために少し牛乳を入れたりします。
- 40代 専業主婦 味噌が強すぎたので味噌汁に入れてみた。
- 40代 パートバイト 卵焼きをもう少しまろやかな味でふわふわにしたいとおもったとき利用しました。
- 50代 会社員公務員 鮭とはくさいのクリーム煮は牛乳と味噌仕立てにしています。牛乳と味噌は合うので、なんちゃって西京味噌さわらにしたり鍋スープにプラスすりごまで美味しくしています。
- 50代 パートバイト 煮物にコクをだすため、味が濃くなってしまったときまろやかにしたいため
- 50代 その他 まろやかな味になるから
- 50代 専業主婦 卵焼きにふっくら柔らかさを求めて。
- 50代 パートバイト 卵焼きをふっくらと焼き上げるために

### 栄養

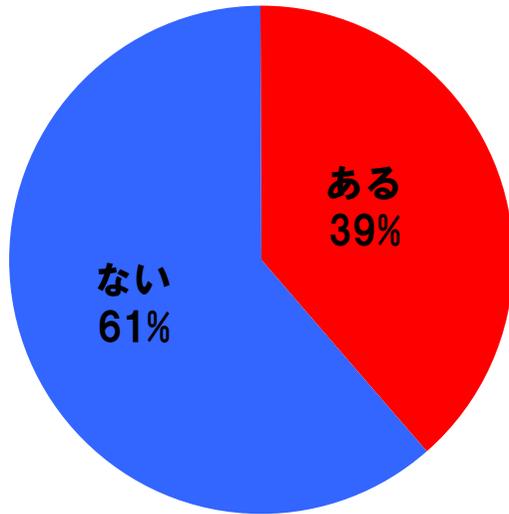
- 30代 専業主婦 カルシウムを取るため
- 30代 パートバイト 少しでもカルシウムが摂取できるかなと思って
- 30代 パートバイト カルシウム摂取のため
- 30代 専業主婦 カルシウムが取れるから
- 30代 専業主婦 カルシウムを摂るため。
- 30代 専業主婦 カルシウムの摂取
- 30代 会社員公務員 カルシウムが豊富
- 30代 パートバイト 栄養価をたかめるため
- 30代 会社員公務員 少しでもカルシウムや葉酸がとれる
- 40代 パートバイト カルシウムの補給。
- 40代 パートバイト カルシウムが取れるので。
- 40代 会社員公務員 少しでも体に良いものを取り入れたいので。
- 40代 専業主婦 カルシウムを取りたいから味をまろやかにしたい
- 40代 パートバイト カルシウムを子供に摂らせたいから。
- 40代 専業主婦 子供にカルシウムを取らせたいから
- 40代 専業主婦 味をまろやかにするためと、カルシウムを意識して。
- 40代 会社員公務員 安価で栄養があるから
- 50代 インフルエンサー 夫婦とも牛乳が好きだったが、ある時からそのまま牛乳を飲むとお腹を壊すようになった。それから、なるべく料理に利用してカルシウムを取るようになっている。

## 繰り返し造ってみたいと思う、牛乳を活用した和食レシピ(自由回答)

- |              |   |              |   |
|--------------|---|--------------|---|
| 30代 インフルエンサー | 抹茶ミルク＝牛乳を温めて抹茶を入れるかんたん和食レシピ   | 40代 専業主婦     | お味噌汁に必ず使います。だし汁の半量を牛乳にしています。カルシウムも取れますし牛乳のコクで塩分が抑えられ、和風ポタージュの様でかえって喜んでもらえています。豆乳鍋ならぬ牛乳鍋です。味噌味でもしょうゆ味でも塩味でもなんにでも合います。一般的なお鍋を食べた時にはカルシウムはなかなか取りづらい物なので牛乳鍋にすると楽にとる事が出来るからです。 |
| 30代 専業主婦     | 卵焼きにちょっと入れるとふわふわになるから。片栗粉と混ぜて鍋にひをかけて練ってきな粉まぶして食べる牛乳もちもおいしい。   | 40代 専業主婦     | 厚焼き玉子は、牛乳を加えるとふわふわして美味しいから  |
| 30代 専業主婦     | 玉子焼き味がやわらかくなるから。  | 40代 専業主婦     | 卵焼きや茶わん蒸しを作るとき、出汁を使う所を適量牛乳を混ぜる。そうすると、ふんわりするし、栄養もアップするので。  |
| 30代 その他      | 子供が牛乳嫌いなので、イチゴ大福に隠し味としてたべている。子供がとても笑顔でおいしいよとってくれたので、ほんとは牛乳よって教えてあげたらビックリして一緒に作りたいといったから                         | 40代 専業主婦     | ミルクがゆは子供も好きなので、食欲のないときには作りたい  |
| 30代 専業主婦     | 豆乳鍋的な感じで牛乳を使う鍋  | 40代 専業主婦     | 卵焼き だし汁を作らないで牛乳を入れるだけなので楽です。  |
| 30代 パートバイト   | 味噌汁・ほんの少し入れるだけでまろやかになる  | 40代 パートバイト   | 残り物のきんぴらに 小麦粉を入れて 牛乳をたし グラタン風にする  |
| 30代 専業主婦     | 肉じゃが。水の代わりに牛乳を使うと、砂糖がほとんどいらぬ。砂糖を使わないこと、牛乳でコクがでる、という2点が魅力だから   | 40代 専業主婦     | 味噌味の豚汁の隠し味に少量入れたところ、味が好評  |
| 30代 専業主婦     | 牛乳入り炊き込みご飯。ピラフを作る要領で材料をバターで炒め、洗い上げた米と混ぜてコンソメスープ、牛乳を加えて炊飯器で炊く。それを、焼きのりと青しそで巻いて食べる。                               | 40代 パートバイト   | 酒粕をいれた味噌汁を作ったが、子供に酒の風味がキツイようなので、牛乳をいれて、クリーミーにしてみたら、とても食べやすくなった。   |
| 30代 専業主婦     | 牛乳寒天をよく作ります。子供も私も大好きなので   | 50代 会社員公務員   | 鮭とはくさいのクリーム煮は牛乳と味噌仕立てにしています。牛乳と味噌は合うので、なんちゃって西京味噌さわらにしたり鍋スープにプラスすりごまで美味しくしています。   |
| 30代 専業主婦     | 鮭のホイル焼きチャンチャン焼き味鮭に酒と塩コショウし油をしいたホイルに載せ、味噌・みりん・牛乳を合わせたたれをかけ、キャベツ・玉ねぎ・茹でたじゃがいも・バターを添えてホイルで包み、水を浅く入れたフライパンで蒸し焼きにする。 | 50代 商工サービス自営 | 牛乳寒天がすごくおいしいので  |
| 40代 会社員公務員   | 鍋に入れている みんなが自然に食べられる  | 50代 パートバイト   | 煮物にコクをだすため、味が濃くなってしまったときまろやかにしたいため  |
| 40代 専業主婦     | 煎り卵・牛乳を入れるとソフトになりちりめんじゃこを入れると純和風のそぼろ卵牛乳おかずになる。卵焼きは毎日作ります。少量の牛乳とチーズを入れると洋食のようですがご飯にもあいます。                        | 50代 専業主婦     | 卵焼きにふっくら柔らかさを求めて。グザイが何であれ卵焼きには少しのミルクで柔らかさを追求。   |

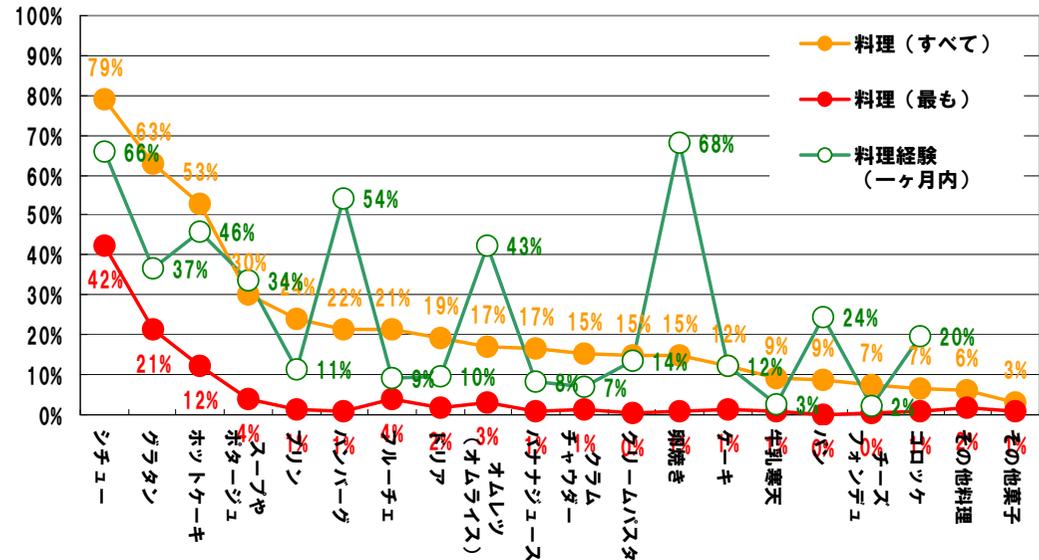
# 自分と子供(家族)を結びつける牛乳を使う料理

「自分と子供(家族)を結びつける牛乳を使う料理」といわれて、あなたには何か思いつく料理がありますか。



N = 600

「自分と子供(家族)を結びつける牛乳を使う料理」といわれて思いつく料理をお知らせください。この一ヶ月であなたが実際に自分で料理して子供/家族と食べたことのあるものをお知らせください。



N = 231

「3~18歳の子を持つ母親」のうち、4割が「自分と子供(家族)を結びつける牛乳を使う料理」に心当たりがある。

そんな「自分と子供(家族)を結びつける牛乳を使う料理」のトップ3は、

1. シチュー、
2. グラタン、
3. ホットケーキ

シチュー

30代 インフルエンサー	子どもがシチュー大好きで、いつも材料を切るところから手伝ってくれるから	40代 専業主婦	箱の裏に書いている水と牛乳の割合を水の部分をほとんど牛乳に代えて計量して調理している。
30代 専業主婦	牛乳をたっぷり使って作るシチューは栄養もたっぷりだし、野菜も沢山食べることができるので、育ち盛りの子供にはよいを思っているからです。	40代 専業主婦	子供も一緒に料理の準備ができて、楽しい
30代 専業主婦	水の代わりに全部入れるのが、自分の育った家の家庭の味だから。	40代 専業主婦	子供が牛乳嫌いだったので飲ませようとしてシチューに入れたらたくさん食べてくれた。
30代 専業主婦	サラダでは食べにくい野菜でも、牛乳で優しい味付けにして煮込んでやると嬉しそうに食べてくれるから	40代 専業主婦	下の子供がシチューが好きなのでよく注文されます。シチューなら野菜の味もまろやかになるので、ちょっと嫌いな位のものだと食べてくれて、本人も嬉しそうにしています。
30代 その他	身体も心もあつたまって、喧嘩しても笑顔で食べれるから	40代 パートバイト	牛乳をあまり好きではなかったこどもが好物になったので
30代 専業主婦	我が家やルーから手作りします。子供も大好きなので、一緒によくつくっているから。	40代 パートバイト	週に1、2回夜仕事をしてたので、シチューを作って、保温できるお鍋に入れて、出かけることが多かった。子どもたちは、ご飯にシチューをかけて食べていた。帰ってくると洗いが少なく大助かりだった。
30代 専業主婦	子供たちが作ることを楽しみにして、一緒に野菜をかわいくしてみたりふれあいの時になる。もちろん食べる時の喜びも大きい。	40代 会社員公務員	寒い時などに一緒に食べることで、気持ちも暖かくなる気がするから。
30代 パートバイト	寒い時にこれを食べると温まるし、安心感が湧く。	40代 専業主婦	病気明けて子供の食欲がない時に作ったら喜んでくれたから
30代 専業主婦	子どもがもとも大好きなメニューの一つですが、最近お料理のお手伝いをしたがつて、野菜を☆型やハート型にくりぬいたり、仕上げの牛乳を入れたり、としてくれます。すると、いつも以上に食べてくれるので、シチューは特別なメニューです。	40代 専業主婦	カルシウムをとってほしいが、子供が牛乳を飲みたがらないので、シチューだと食べてくれるから、よく作っている。
30代 専業主婦	子供が料理に興味をもって、初めて作るのを手伝ってくれたのがシチューだったから。	50代 会社員公務員	暖かい気持ちに慣れる
40代 専業主婦	二人の子供を育てましたが、二人とも野菜嫌いがひどく大変苦労しましたがシチューを活用したところ色々な食材を嫌がらずに食べさせる事が出来ました。今は大人の味付けですが食事のリクエストをしてくれます。野菜を多く取れて栄養のバランスが良く意外とヘルシーに作る事が出来るので今ではダイエットの強い味方になってきています。	50代 パートバイト	鍋風にして野菜たっぷりのシチューが評判いいので我が家のシチューは牛乳をかなりおおく使い、野菜もなるべくたくさん入れるので、栄養は取れると思っています。そのシチューを家族はみんな好んでよく食べてくれるので
40代 専業主婦	体調が悪くても食べれる	50代 その他	子どもから大人まで、味付けが好まれるのがミルクシチューだから
		50代 パートバイト	寒い日、暗くなってから帰宅した息子が「今日はシチュー」と聞いて喜ぶ顔が大好き

母親と子供と一緒に調理を行うことが出来ることや、家族みんなが好む味の料理であること。

グラタン		ホットケーキ	
30代 専業主婦	ママの作る料理で一番好きと言ってくれるから	30代 会社員公務員	子どもと一緒に作ります。とても喜びます。
30代 専業主婦	カルシウムが手軽に取れる	30代 パートバイト	子供が楽しそうに作り、沢山食べてくれた
30代 専業主婦	一緒に作れるから。あったまるので、子供が冬に食べたがる	30代 会社員公務員	手軽に子供と一緒に作ることが出来る料理だし、子供も好きで良く食べてくれるから
30代 専業主婦	好みが違う二人の娘が喜んで食べるメニューがグラタン。私も子どものころから大好きで、みんなで大皿から分けてフーフーしながら食べて喜んでいます	30代 会社員公務員	朝ごはんにもおやつにも喜んでたべる。
30代 商工サービス自営	グラタンはみんなが好きだけど、時間がかかるのでなかなか作らない。誰かの誕生日や、頑張った日など特別な時にしか作らないので、子供達も喜んでくれるし。	30代 専業主婦	ホットケーキなら子供と一緒に作ってデコレーションして食べられるから
40代 その他	いつもクリスマスシーズンに手作りホワイトソースをつくり、グラタンをつくるから。	30代 専業主婦	子供が好きな料理ですし、作るのも簡単で子供が手伝いやすくコミュニケーションがとれるので。
40代 専業主婦	家族が好きな料理だし、牛乳を手軽にとれるから。	30代 パートバイト	子供が率先して作ることができるので、休みの日の朝と一緒につくることができるので
40代 専業主婦	今まで市販のグラタンの素を使っていたが、手作りが子供に好評だったので、子供のリクエストもあり、登場回数が増えているため	30代 専業主婦	朝ごはんに何がいいか聞く前に「ホットケーキがいい」と自発的に、初めてリクエストしてきたメニューだから。
40代 専業主婦	ホワイトソースを手作りして作るグラタンを娘がとても喜んで、頑張って食べてくれるから。「お母さんの作るグラタンがおいしい！」と笑顔でほめてくれるから。	40代 専業主婦	子どもが進んで作ろうとするから
40代 専業主婦	私と長女は牛乳が苦手ですが、グラタンは食べれるので、牛乳を沢山使う料理で家族そろって食べれる料理。	40代 パートバイト	小さいころから一緒に作ったから
40代 専業主婦	子供が好きなので何かの記念日にリクエストされる。	40代 専業主婦	小さい頃から作る過程から食べるところまで一緒に楽しめるから。
40代 会社員公務員	牛乳嫌いの子どもが最も好んで食べてくれる料理だから	40代 パートバイト	子どもがいつ出しても喜んでくれるし、大きくなった今は卵を割ったり、牛乳と混ぜたりと一緒に作ってくれるようになったので。
40代 専業主婦	家族みんながグラタンが好きなので、グラタンを作ると家族が食事を楽しみにしてくれるから。	40代 専業主婦	初めてお手伝いをしたのがホットケーキだったので
40代 パートバイト	市販のグラタンの素は使いたくなかったので、自分で味を工夫して現在に至っている。とにかく子供が大好きな料理です。以前市販の素をもらったのでそれで作ってみたら「まずい」と言われ、グラタンが私(我が家)の味になったと思った。	40代 パートバイト	学校から帰ってきて、部屋にこもっていても、ホットケーキを焼き始めると、いいにおい~といいながら、台所にきて、みんなで食べる時間がとれるから
50代 専業主婦	大皿でつくり家族みんなで分け合って頂くから。	50代 専業主婦	休日の朝は、ホットケーキを牛乳を入れてつくと、子どもも喜んでいたので。
50代 専業主婦	子供の好物なので。		
50代 パートバイト	ホワイトソースからすべて手作りで、子供たちが喜んで食べてくれるから。		

母親と子供と一緒に調理を行うことが出来ることや、家族みんなが好む味の料理であること。

17

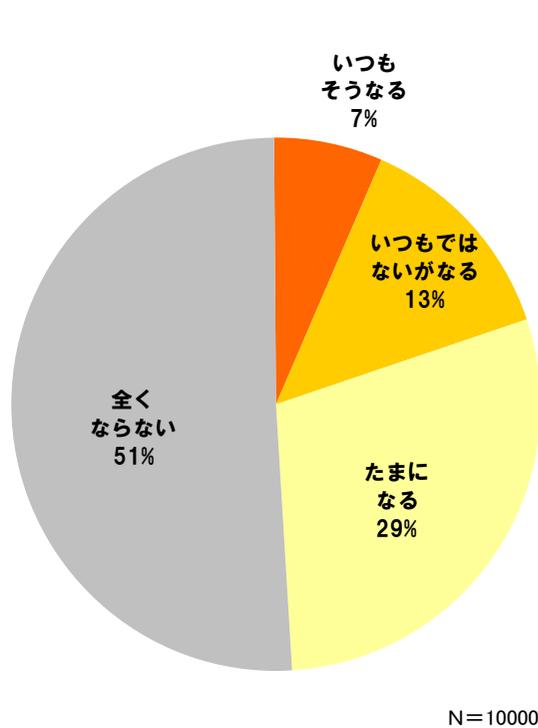
「乳糖不耐」の症状への自覚状況

**「乳糖不耐」にあたる自覚を持つ人は全体の約半数。  
自覚者は牛乳コップ2杯で、約9割がそうだと自覚。**

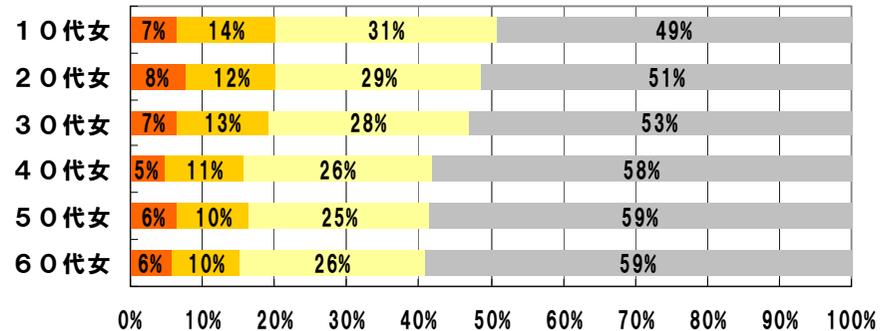
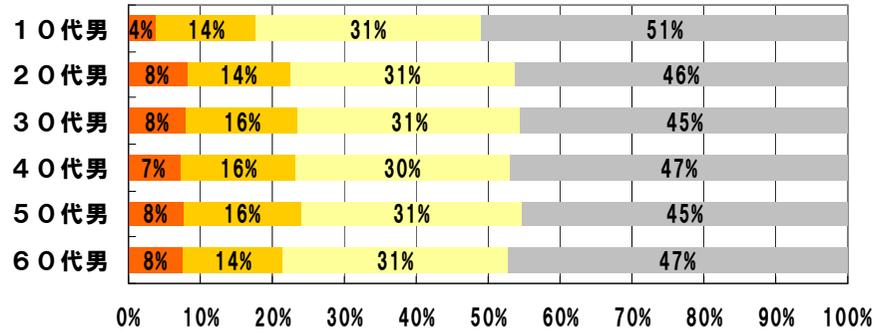
- 生活者一般で「乳糖不耐」の症状の自覚を持つ人は全体の約半数。女性よりも男性で、その自覚はやや高く、女性においては、若い人ほどその自覚がやや高い。《→P. 139》
- 生活者一般で「乳糖不耐」の症状の自覚を持つ人は、牛乳コップ2杯を飲むと約9割(牛乳コップ1杯だと約6割)がそうだと自覚。年代的に年上ほど少ない量の牛乳飲用でそうだと自覚している。《→P. 140》
- 「乳糖不耐」が起こりやすくなる状況のトップ3は、1. 冷たいまま飲用、2. 起床時・朝に飲用、3. 多量に飲用。《→P. 141》

# 乳糖不耐の出現比率

あなたご自身は、牛乳を飲んでお腹がゆるくなったり、ゴロゴロしたり、張ったりすることがどれくらいありますか。



■ いつもそうなる   
 ■ いつもではないがなる   
 ■ たまになる   
 ■ 全くならない



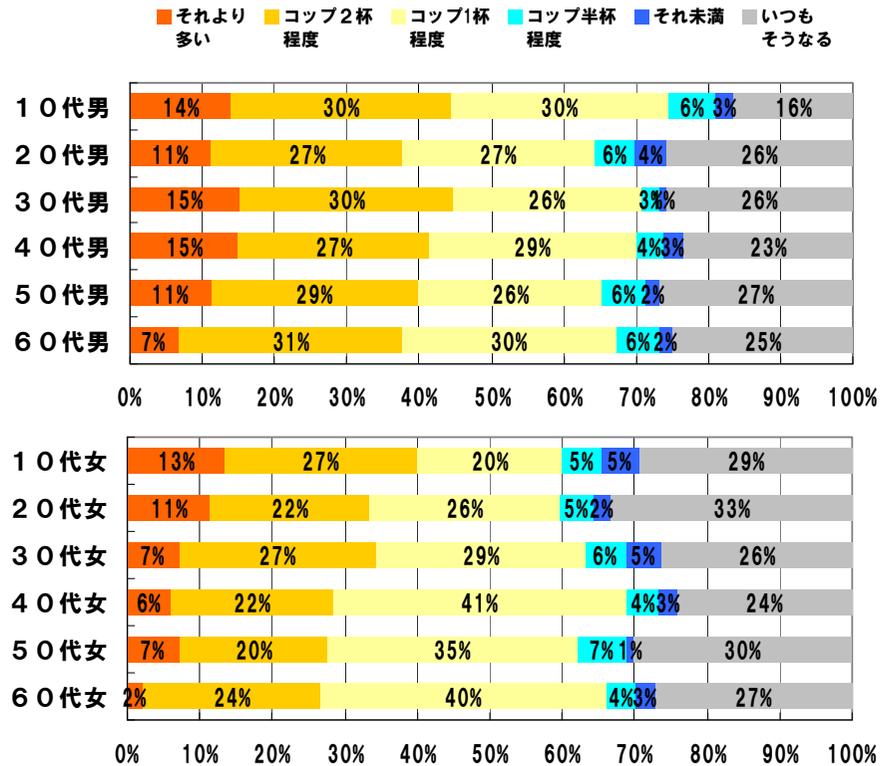
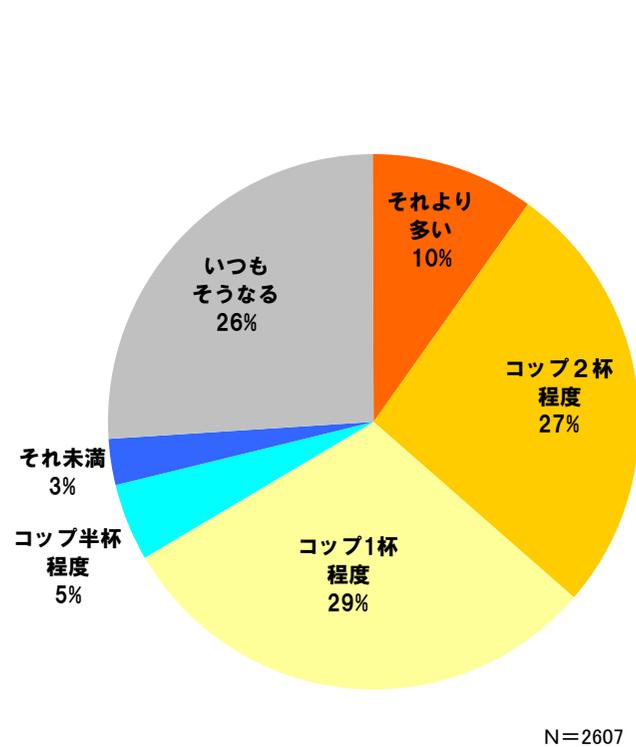
10代男N= 350 / 20代男N= 783 / 30代男N= 1028 / 40代男N= 942 / 50代男N= 906 / 60代男N= 989  
 10代女N= 334 / 20代女N= 757 / 30代女N= 1004 / 40代女N= 939 / 50代女N= 915 / 60代女N= 1053

**生活者一般において、牛乳を飲んでお腹がゆるくなったり、ゴロゴロしたり、張ったりする「乳糖不耐」の症状の自覚を持つ人の比率は全体の49%。**

**女性よりも男性において、その比率はやや高くなっていて、女性においては、若い人ほどその比率がやや高くなっている。**

# 乳糖不耐の量的目安

あなたが牛乳を飲んで、お腹がゆるくなったり、ゴロゴロしたり、張ったりするという牛乳の量的な目安をお知らせください。

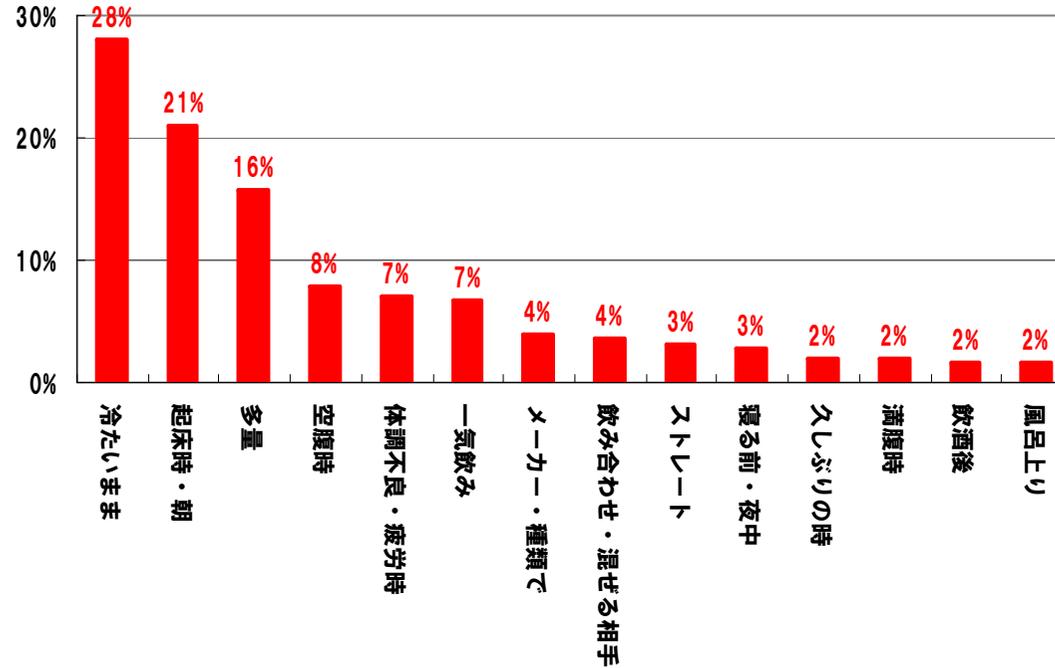


10代男N= 79 /20代男N= 249 /30代男N= 318 /40代男N= 294 /50代男N= 266 /60代男N= 300  
 10代女N= 75 /20代女N= 174 /30代女N= 247 /40代女N= 187 /50代女N= 196 /60代女N= 222

**生活者一般において、「乳糖不耐」の症状の自覚を持つ人は、牛乳コップ2杯を飲むと約9割(牛乳コップ1杯だと約6割)がそうなると自覚。(年代的には、年上ほど少ない量の牛乳飲用でそうなると自覚している。)**

## 乳糖不耐が起こりやすくなる状況

あなたが牛乳を飲んだときに、お腹がゆるくなったり、ゴロゴロしたり、張ったりしやすくなるという特定の状況や条件の中身についてお知らせください。



N=2607

「乳糖不耐」が起こりやすくなる状況のトップ3は、  
1. 冷たいまま飲用、2. 起床時・朝に飲用、3. 多量に飲用

18

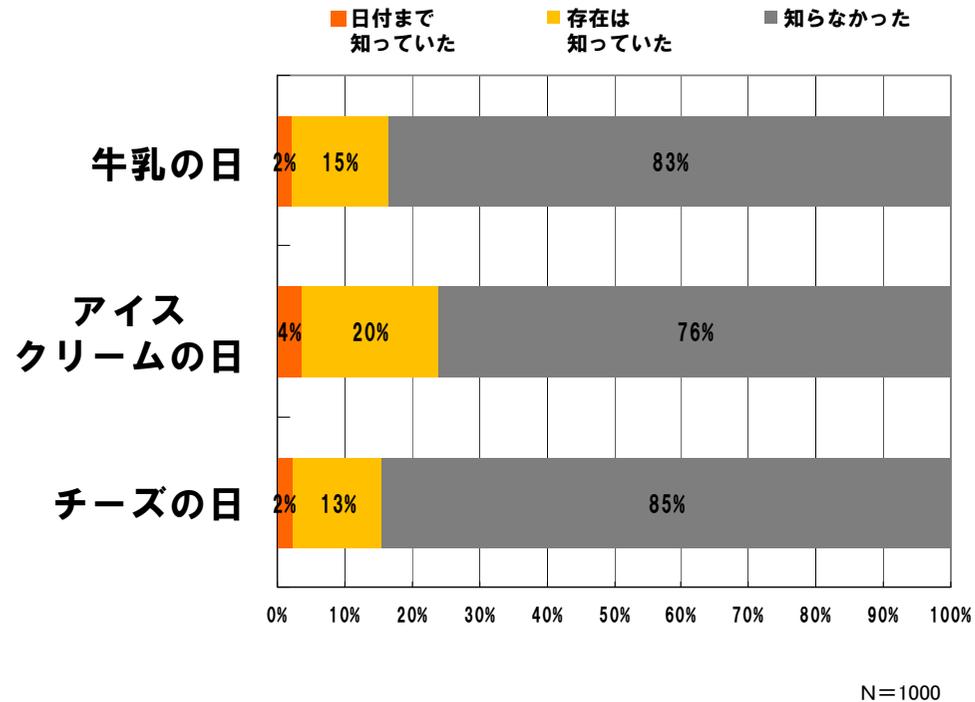
「牛乳の日」への認知状況

**「牛乳の日」の認知は、17%程度。  
「アイスクリームの日」には劣るが、「チーズの日」とは肩を並べる。**

- 生活者一般における「牛乳の日」の認知は、17%程度。「アイスクリームの日(24%)」より低く、「チーズの日(15%)」とはほぼ同程。《→P. 144》
- 「牛乳の日」の認知は、男性の方がやや認知が高い。また、男女共に年代による認知の差はあまりない。地域別にみると、沖縄地方だけ特徴的に認知が低くなっている他は、地域的な違いは見られない。《→P. 145》

## 「〇〇の日」の認知度

あなたご自身は、この調査以前に、下記の「〇〇の日」について、どれくらいご存知でしたか。

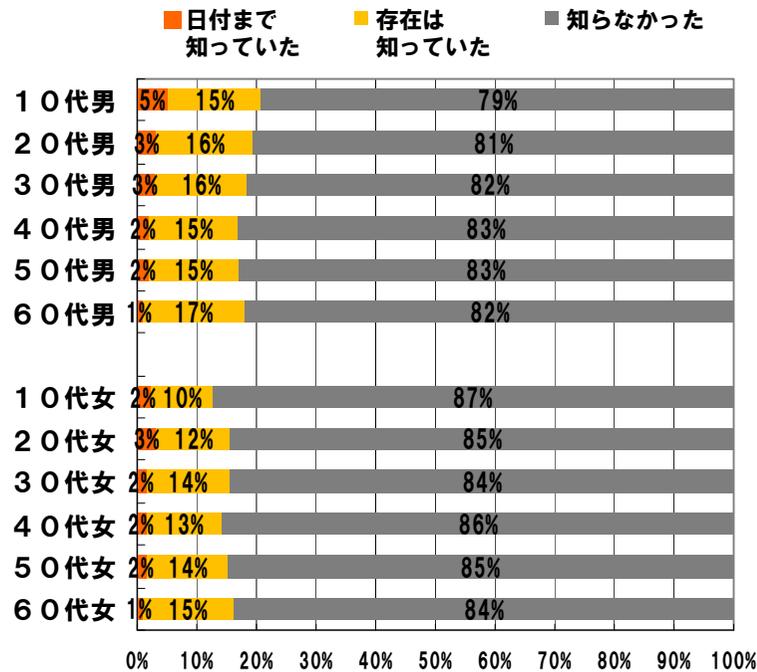


**生活者一般における「牛乳の日」の認知は、17%程度。  
「アイスクリームの日(24%)」より低い、「チーズの日(15%)」とは同程度の認知率。**

# 「牛乳の日」の認知度／年代別と地域別

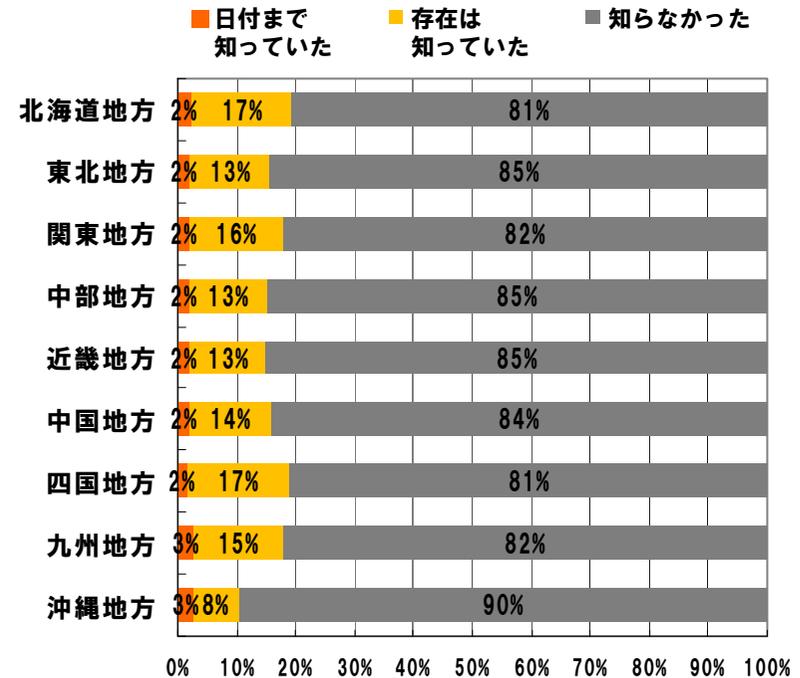
## 性年代別

10代男N= 350 /20代男N= 783 /30代男N= 1028  
 40代男N= 942 /50代男N= 906 /60代男N= 989  
 10代女N= 334 /20代女N= 757 /30代女N= 1004  
 40代女N= 939 /50代女N= 915 /60代女N= 1053



## 地域別

北海道地方N=431 /東北地方N= 708 /関東地方N= 3435  
 中部地方N= 1674 /近畿地方N= 1783 /中国地方N= 588  
 四国地方N= 279 /九州地方N= 1026 /沖縄地方N= 76



「牛乳の日」の認知は男女別に見ると、男性の方がやや認知が高い。  
 また、男女共に年代による認知の差はあまりない。  
 地域別にみると、沖縄地方だけ特徴的に認知が低い。

平成25年度生乳需要基盤強化対策事業  
独立行政法人農畜産業振興機構 後援